鳥取県幼保小接続ハンドブック

育ちと学びをつなぐ

「組織」をつなぐ
「人」をつなぐ
「教育」をつなぐ

平成３０年３月

鳥取県教育委員会

はじめに

鳥取県教育委員会では、遊びを幼児期にふさわしい学びと位置付け、めざす幼児の姿を「遊びきる子ども」とする「鳥取県幼児教育振興プログラム」を平成２５年３月に改訂しました。このプログラムにおいて、「小学校教育との連携推進」を柱の一つとし、幼児教育と小学校教育の円滑な接続のため、教職員の教育・保育の相互理解を図る取組を推進してきました。

本県において、接続カリキュラムの編成や幼児・児童・教職員の交流活動の実施等、幼稚園・保育所・認定こども園や小学校、地域の現状や課題等を踏まえた様々な特色ある取組が推進されており、園と小学校との連携は進んできた一方、平成２８年度の幼児教育調査では、小学校入学当初における学校生活への不適応（小１プロブレム）が県内の約１５％の小学校で発生している現状もあり、未然防止に向けたさらなる取組が必要となっています。

そこで、幼児教育から小学校教育への円滑な接続に向けて、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校の取組の参考となる平成２８年・２９年度実施の「鳥取県幼保小連携推進モデル事業」実施５市町村の実践例や、園と小学校の情報交換や協議による相互理解のための合同研修会等での研修例等を紹介した「鳥取県幼保小接続ハンドブック」を作成しました。

子どもたちが自ら豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる基礎を培うために、幼児教育と小学校教育を確実につなぎ、園と小学校が一体となった取組が今後一層求められる中、このハンドブックが、円滑な幼保小接続に向けた取組の参考として積極的に活用されることを心から願っています。

最後になりましたが、本ハンドブックの作成にあたり、御尽力、御協力いただきましたみなさまに、深く感謝申し上げます。

平成３０年３月

鳥取県教育委員会教育長　山　本　仁　志

目　　次

はじめに

第Ⅰ章　「鳥取県幼保小接続ハンドブック」の活用に向けて …… 1

1 幼児期に身に付けた力を小学校以降の学びにつなぐために …… 1
2 幼保小の連携・接続について …… 3
（1）鳥取県の現状 …… 3
（2）幼保小連携・接続の考え方 …… 3
（3）幼保小連携・接続の効果 …… 5
3「鳥取県幼保小接続ハンドブック」の構成と内容 …… 6
4「鳥取県幼保小接続ハンドブック」の活用 …… 7

第Ⅱ章　幼保小連携・接続に向けた取組のために …… 8

1 幼保小連携・接続のためのポイント …… 9
（1）組織をつなぐ …… 9
（2）人をつなぐ …… 11
（3）教育をつなぐ …… 13
2 接続期の子どもの姿をつなぐために …… 16
～「鳥取県幼保小連携カリキュラム」の10の視点について～

第Ⅲ章　鳥取県内の実践例 …… 19

実践1　倉吉市 …… 21
実践2　日野町 …… 27
実践3　若桜町 …… 33
実践4　鳥取市 …… 39
実践5　境港市 …… 45

第Ⅳ章　効果的な取組とするために …… 47

研修例1　入学前後の子どもの姿をもとに教育・保育を考える …… 47
研修例2　幼児期の教育と小学校教育の「資質・能力」のつながりを考える …… 49
研修例3　「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに子どもの姿のつながりを考える …… 51
鳥取県内の幼保小連携の取組 …… 53

資料編 …… 54

参考資料
参考資料1：幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、
保育所保育指針、小学校学習指導要領　抜粋 …… 55
参考資料2：資質・能力の三つの柱に沿った
幼児教育において育みたい資質・能力の整理イメージ …… 56
参考資料3：幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 …… 57
作成協力者 …… 59
「鳥取県幼保小連携推進モデル事業」実施市町村 …… 60
情報提供いただいた幼稚園・保育所・認定こども園・地域型保育事業所・小学校等 …… 61

注：本ハンドブックは、文部科学省の定める法令用語とは別に、通常鳥取県において使用している文言で統一して記載しています。

第Ⅰ章　「鳥取県幼保小接続ハンドブック」の活用に向けて

１　幼児期に身に付けた力を小学校以降の学びにつなぐために

幼児期は、知識を教えられ身に付けていく時期ではなく、**遊びながら学んでいく**時期です。子どもは、夢中になって遊びこむ中で、保育者や友達、地域の人々、自然やさまざまなもの・出来事に出会います。それらとの関わりを広げたり深めたりしていくことで、新しい世界に気付き、自分自身について振り返るようになっていきます。

子どもは、興味関心に基づいた**自発的な活動や具体的な体験を通して**多くのことを学びます。子どもの遊びには、成長や発達にとって重要な体験がたくさん含まれています。**遊びは幼児期にふさわしい学び**なのです。

このたび、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園、保育所保育指針、小学校学習指導要領等の改訂により、**教育全体を通して３つの資質・能力**（参照 P56）**を育む**ことが示され、子どもの育ちと学びをつなぐ教育の充実が求められています。

「資質・能力」の出発点は幼児教育であり、**幼児期は、学びの土台となる力を身に付ける時期**であると言えます。**小学校においては学びをゼロからスタートするのではなく、その力を引き継ぎ、幼児期に身に付けたことを生かしながら教科等の学びにつなぎ、子どもたちの資質・能力を伸ばすことが重要**です。

子どもの育ちと学びのつながり

園の砂場での遊びと小学校の算数の学習における姿を比べてみると、幼児期に身に付けた力が、小学校での「学びに向かう力」の基礎となっていることが分かります。

《園における学びの姿》

『遊びきる子ども』をめざした幼児期ならではの心動く直接的な体験は、子どもたちの「気付く」「考える」「集中する」「没頭する」「試行錯誤する」「協力する」「葛藤する」などの生きる力の基礎を培うものと考えます。

保育者は、幼児の自発的な活動である「遊び」の姿や「学び」を小学校に伝えるとともに、小学校での生活や学習内容等について理解し、つながりを意識して保育を行うことが重要です。

そのことが、子どもが小学校入学による環境の変化に対応し、自ら乗り越える力を付けることにつながります。

【健康】	【人間関係】	【環境】	【言葉】	【表現】
健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。	他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。	周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。	経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。	感じたことや考えたことなどを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

遊びを通しての総合的な指導
（幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領）

また、資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿として示された**「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」**（参照Ｐ57・58）は、保育者が指導を行う際に留意するものであると同時に、小学校教職員にとっても児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうようにするための教育活動の手がかりとなるものと考えます。

遊びを中心とした幼児期の教育と、教科等の学習を中心とする小学校教育では、教育内容や指導方法が異なっていますが、子どもの発達や学びはつながっています。幼児期の教育の特性である遊びを通しての総合的な指導が、義務教育及びその後の教育の基盤を培っています。

このことからも、幼保小連携・接続のさらなる充実に向けて取組を進めることが必要と考えます。**子どもの発達や学びの連続性を保障する**ため、幼児期の教育（幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園等における教育）と児童期の教育（小学校等における教育）が円滑に接続し、**体系的な教育が組織的に行われること**はとても重要です。

《小学校における学びの姿》

幼児期において「遊び」で培われる力が、小学校における『主体的な学び』の基礎となります。また、友達や保育者との安心感や信頼感といった温かい関係の中で育まれた協同性やコミュニケーション力等は、『対話的な学び』につながるものです。

そのため、児童が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことが重要です。そうすることが、小学校での「学びに向かう力」を育むことにつながります。さらに、小学校中学年、高学年の抽象的な学習に取り組む際、自らの力を発揮することにつながります。

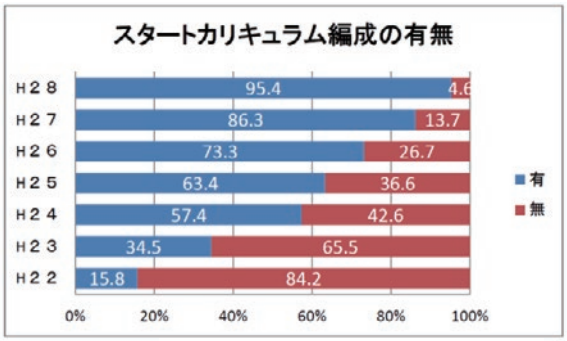
2　幼保小の連携・接続について

（1）鳥取県の現状

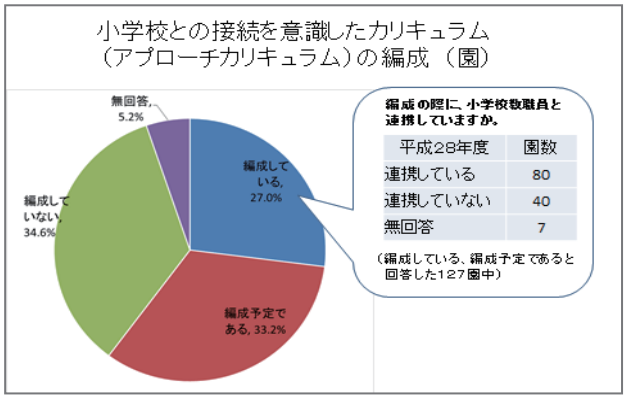
鳥取県における幼保小の接続カリキュラム（アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム）の編成率は、年々高くなっています。このことから、園と小学校の教職員が互いに協働して校区の子どもを育てるという意識が高くなってきていると言えます。

しかし、接続カリキュラムを編成していても、編成の際に、小学校教職員と連携している割合が6割程度であることから、互いの子どもの姿や教育・保育内容等について協議していない場合も多いことが分かります。また、そのカリキュラムと園や小学校の年間指導計画等とのつながりが見えにくい場合もあります。

カリキュラム編成等の協議を通じて、園と小学校の教職員がめざす子どもの姿を共有したり、共通実践を行ったりすることで、担任や連携推進担当者だけではなく、園・小学校全体の連携・接続としていくことが大切です。



＊学校教育実施状況調査



＊幼児教育調査（H28）

（2）幼保小連携・接続の考え方

幼保小連携・接続の取組は、教職員の交流・研修等の人的な連携から始まり、園児と児童の交流活動等を充実させながら、次第に両者の抱える教育上の課題を共有し、やがて、教育のつながりを確保する教育課程の編成・実施へと発展していくことが大切です。

連携とは

＊組織（園、小学校、市町村等）がつながることを通して、人（園児・児童・教職員・市町村担当者等）がつながること

《具体的な取組例》

・園児と児童の交流活動　・教職員の研修会　等

接続とは

＊教育課程・教育がつながること

《具体的な取組例》

・接続カリキュラムの編成・実施
・連携したことをもとに自園・自校の教育の改善・充実
・接続カリキュラムと教育課程とのつながりの確保　等

円滑な連携・接続のための取組のポイント

園

幼児期の教育における成果を小学校へ確実につなぐこと

・幼児期の教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や生活態度などの基礎を培う。
・小学校での生活や教科等の学習を見通し、子ども達の遊びの中の興味・関心の芽を広げる。

小学校

園での体験や学びを、小学校での学びに生かすこと

・幼児期の遊びや生活を通して育まれた資質や能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうようにする。
・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を図り、幼児期における遊びを通した総合的な学びから他教科等への学習に円滑に移行する。
・小学校低学年は、学びがゼロからスタートするのではなく、幼児教育で身に付けたことを生かしながら教科等の学びにつなぎ、子ども達の資質・能力を伸ばしていく時期であることを小学校教職員が共通理解して取組を推進する。

園　小学校

互いの教育内容を改善・充実させる取組へと進展していくこと

・園と小学校の教職員が互いの保育や学習場面を参観・体験し、教育内容や子どもの姿について協議する研修等を計画的に実施するとともに、その内容を充実させる。
・園児と児童の交流活動を保育・教育課程に位置付け、ねらいが明確で充実した互恵性のある活動としたり、教職員の合同研修会等を定期的に行ったりする。
・幼保小の互いの子どもの育ちや学びをつなげるための接続カリキュラムを編成する。

（３）幼保小連携・接続の効果

子ども

○自分や友達の良さに気付き、遊びや学びが広がる。
○他の園や小学校の友達や先生の知り合いが増え、安心して生活することにつながる。
○主体的に自信をもって遊びや生活、学習に取り組める。
○異年齢・異学年の子ども同士のつながりができ、あこがれや他者を思う気持ちが高まる。

保護者

○園・小学校双方の教育・保育内容や情報が伝わることで、安心感が生まれる。
○園と小学校の育てたい子どもの姿が明確で、共有されることにより、園・小学校への信頼感が増す。
○園と小学校の教職員が子どもの情報を共有していることにより、園や小学校に相談しやすくなる。

育ちと学びをつなぐ幼保小の連携・接続

園と小学校等の教職員

○子どもの発達段階・発達の過程をお互いに知ることで、子ども理解につながる。
○顔が見える連携を進めることで、気軽に連絡・相談し合える関係となる。
○お互いの指導法・支援方法等を共有でき、相互理解が進む。
○校区の子どもをみんなで育てるという意識が高まり、情報交換しながら共通実践することができる。

《教育・保育、授業の改善》

○互いの教育の目的・目標の連続性・一貫性をもつことで、カリキュラムがつながる。
○それぞれの発達段階をふまえた適切な教育・保育を充実させることができる。
○学びの連続性を知ることで、学びの視点を明確にした保育・教育が展開できる。
○学びの連続性を知ることで、幼児期に培った力を授業に生かすことができる。

３　「鳥取県幼保小接続ハンドブック」の構成と内容

このハンドブックは、**「つなぐ」**をキーワードに３つの柱で構成しています。
本書は、その具体的な実践事例等をもとに、今後の取組の指標となるように編集しており、今後、園と小学校の連携・接続のための取組の参考として活用することができます。

３つの「つなぐ」

子どもの育ちと学びをつなぐために

組織をつなぐ

・管理職同士のつながり（連絡協議会等）
・連携推進担当者同士のつながり
・年間連携（交流）計画を作成
・就学前後の引継ぎ・連絡会の実施
・園、学校、学級だより等の送付・掲示等
・幼保小の相互理解に向けた参観・研修等の実施

人をつなぐ

・園児と児童、園児同士の交流
　ねらいを明確にした交流
・教職員の相互理解
　保育参観・授業参観
　合同研修会
　保育体験・授業体験

教育をつなぐ

・めざす子どもの姿の共通理解
・互いの教育内容・保育内容を理解
・つけたい力等を協議し、共通実践
・接続カリキュラムの編成・実施・評価・改善

主な内容

幼保小連携・接続のためのポイント

＊組織をつなぐ　人をつなぐ　教育をつなぐ　の柱で、幼保小連携・接続の取組を紹介しています。自園・自校の状況を確認することができます。今後の取組の指標としても活用できます。
→　第Ⅱ章（Ｐ８～１８）

幼保小連携推進モデル事業実施市町村の取組

＊倉吉市、日野町、若桜町、鳥取市、境港市の特色を生かした幼保小の円滑な接続をめざす実践等を紹介しています。自園・自校の特色や課題に合わせて参考にすることができます。
→　第Ⅲ章（Ｐ１９～４６）

効果的な取組とするための研修例

＊幼保小合同研修会等の参考となる研修例を紹介しています。
→　第Ⅳ章（Ｐ４７～５２）

幼保小の円滑な接続に向けた取組の参考として活用することができます

4　「鳥取県幼保小接続ハンドブック」の活用

「鳥取県幼保小接続ハンドブック」は、園及び小学校等において以下のように活用することができます。

園

【活用場面】
- 職員研修
- 授業体験
- 小学校教員の保育体験
- ５歳児保護者懇談会

等

園全体、学年・年齢別・個人等の取組や研修に活用

園　小学校

【活用場面】
- **教職員合同研修会**
- **幼保小連絡会**
- **幼保小連携協議会**
- **接続カリキュラム編成委員会**

等

小学校

【活用場面】
- 職員研修
- 保育体験
- 保育者の学習体験
- 入学児保護者説明会

等

学校全体、学年、個人等の取組や研修に活用

【参考となる内容】
- ○連携・接続の具体的な取組
- ○接続カリキュラム（アプローチ・スタートカリキュラム）編成
- ○小学校区等のめざす子どもの姿、重点取組等の共通理解
- ○幼児期に身に付けた力と小学校以降の学びのつながり
- ○**尊重すべき違い（＊）**を踏まえた幼保小連携・接続の取組
- ○自園・自校における幼保小連携・接続の状況把握と今後の取組

（＊）「尊重すべき違い」とは

〈幼児期の教育〉		〈小学校教育〉
・環境を通しての教育	⇔	・教科等の学習
・興味や関心に沿った教育	⇔	・時間割に基づく生活
・先生や友達と言葉でやりとりをする中で考える	⇔	・書き言葉で考える（板書を見て学ぶ）
・直接的・具体的体験の中で学ぶ	⇔	・教科書を通して学ぶ
・一人一人のよさをとらえる個人内評価	⇔	・絶対評価・目標に準拠した観点別評価

「鳥取県幼児教育振興プログラム」（H24 年度改訂）P52

「１　幼保小連携・接続のためのポイント」の活用に向けて

「組織をつなぐ」という柱について**参考となる取組**を取り上げています。**「人をつなぐ」「教育をつなぐ」**という柱についても紹介しています。

鳥取県教育委員会が作成している**冊子を参考**にしていただくことができます。

のポイント

おいて取り組んでいる内容はどのようなもの
互恵性のある連携・接続とするには、どのよ
、取組を推進しましょう。

子どもの育ちと学びをつなぐために

組織をつなぐ　**人をつなぐ**　**教育をつなぐ**

項目をチェックする（□）こ
で、今後の取組の参考とする
ができます。

※鳥取県幼児教育振興プログラム（改訂版・平成 25 年３月）第Ⅳ章３参照

カ　リ：鳥取県幼保小連携カリキュラム
取　組：鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集
ハンド：鳥取県幼保小接続ハンドブック

□に自園・自校で取組が実施されているか**チェック（レ）**してみましょう。連携・交流している園・小学校と一緒にチェックするとより効果的です。

（１）組織をつなぐ

職同士のつながり（連絡協議会等）★

□定期的な協議会等の開催（年　　回）	取組Ｐ73 ハンドＰ21.23. 33.39
□日常的で、気軽な連絡・訪問	ハンドＰ23
□子どもの様子を参観する機会の設定	
□園・地域の学校（小中学校・高等学校等）との合同避難訓練	
□	
□市町村園長・校長幼保小合同研修会	取組Ｐ74 ハンドＰ21.33
□	
□	
□	

市町村幼保小合同研修会
園長・校長・関係教職員等が集まり、円滑な接続に向けた方向性や具体的な取組等について話し合っています。
市町村教育委員会と学校・園が一体となった取組です。

未実施の場合、今後の取組の指標となります。

「空欄」には、**自園・自校において実施している特色ある取組**を記載しましょう。

進担当者同士のつながり★

推進担当者の位置付け	ハンドＰ39
	ハンドＰ30
	ハンドＰ39
	ハンドＰ28.39
□接続カ	ハンドＰ28
□年間連	カリＰ50 取組Ｐ69 ハンドＰ10.25
	カリＰ46～49 ハンドＰ13.14 取組Ｐ

参考となる内容の**掲載ページ**です。
この場合、「鳥取県幼保小接続ハンドブック」Ｐ３９ページ

各園・小学校に連携担当者の写真を掲示
担当者の意識向上、いつでも相談できる安心感につながります。（ハンドＰ30）

右欄には、県内各園・各小学校で実践されている取組の写真や取組例、ポイント等について紹介しています。今後の取組の参考とすることができます。

「幼保小接続ハンドブック」のそばに・・・
「鳥取県幼児教育振興プログラム」（改訂版）
「鳥取県幼保小連携カリキュラム」
「鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集」
「園内研修用 DVD～園内研修の充実をめざして」

一緒に活用しましょう！！

1　幼保小連携・接続のためのポイント

現在、各園、小学校において取り組んでいる内容はどのようなものであるか、さらに円滑な接続をめざし、互恵性のある連携・接続とするには、どのような実践をしていけばよいのかを確認し、取組を推進しましょう。

項目をチェックする(□)ことで、今後の取組の参考とすることができます。

※鳥取県幼児教育振興プログラム（改訂版・平成 25 年 3 月）第Ⅳ章３参照

カ　リ：鳥取県幼保小連携カリキュラム
取　組：鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集
ハンド：鳥取県幼保小接続ハンドブック

（１）組織をつなぐ

★管理職同士のつながり（連絡協議会等）★

校区	□定期的な協議会等の開催（年　　回）	取組Ｐ73 ハンドＰ21. 23. 33. 39
	□日常的で、気軽な連絡・訪問	ハンドＰ23
	□子どもの様子を参観する機会の設定	
	□園・地域の学校（小中学校・高等学校等）との合同避難訓練	
	□	
市町村	□市町村園長・校長幼保小合同研修会	取組Ｐ74 ハンドＰ21. 33
	□	
その他 地域	□	
	□	

市町村幼保小合同研修会

園長・校長・関係教職員等が集まり、円滑な接続に向けた方向性や具体的な取組等について話し合っています。
市町村教育委員会と学校・園が一体となった取組です。

★連携推進担当者同士のつながり★

□連携推進担当者の位置付け	ハンドＰ39
□連携推進担当者の校区内への周知	ハンドＰ30
□校区の連携推進担当者の定期的な担当者会の実施	ハンドＰ39
□連携推進担当者会実施計画の作成	ハンドＰ28. 39
□接続カリキュラム編成委員会の実施	ハンドＰ28
□年間連携（交流）計画の作成	カリＰ50 取組Ｐ69 ハンドＰ10. 25
□接続カリキュラムの編成	カリＰ46～49 ハンドＰ13. 14 取組Ｐ68
□	

各園・小学校に連携担当者の写真を掲示

担当者の意識向上、いつでも相談できる安心感につながります。（ハンド P30）

★年間連携（交流）計画を作成★

□園と小学校がそれぞれ単独で作成	カリＰ50
□交流する園と小学校が一緒に作成	取組Ｐ69
□校区内の複数の園と小学校で協議して作成	ハンドＰ10.25
□年間連携（交流）計画の改善	
□	

★就学前後の引き継ぎ・連絡会の実施★

□参観・聞き取りの実施・協議（一人）	ハンドＰ24.39
□参観・聞き取りの実施・協議（複数）	
□就学後の子どもの様子に係る参観・情報交換	
□連絡会の定期的な開催（年　　回）	
□子どもの様子に係る電話による情報交換	
□	

★園、学校、学級だより等の送付・掲示等★　＊郵送、管理職持参等

□校区内の園、小学校への送付	取組Ｐ74
□校区内の園、小学校との交換	ハンドＰ30
□就学先の小学校、就学している園すべてに送付	
□連携・交流の内容を記載した園だより・小学校だより等のための掲示コーナー設置	
□地域内全戸に回覧・配布	
□園内・校内の教職員への回覧	
□ホームページへの掲載	
□	

★校区における幼保小の相互理解に向けた参観・研修等の実施★

□自由参観日（１日・１週間等）の設定	取組Ｐ73.74
□保育・授業等の相互参観の実施	ハンドＰ23.24.28.30.34.40
□保育・授業等の相互参観・研修の実施	
□保育・授業等の参観後の幼保小(中)合同研修会の実施	
□	

就学後フォローアップ

全就学先の小学校に子どもの様子をたずねている園があります。園における保育者の関わりについて振り返ることで、園の教育力向上につながります。また、小学校の担任等と効果的な支援のあり方等について共通理解することにより、小学校での生活や学習を保障する体制づくりとなっています。

掲示コーナーの設置

他園・小学校のおたよりを掲示するコーナーを設け、交流活動や互いの生活・学びの様子などを記したおたよりを全職員や保護者の目に触れる場所に掲示しています。

保小中交流活動計画　平成２８年度

	あさひ保育所	こしき保育所 ふたば保育所	八郷小学校	岸本小学校	岸本中学校
年間を通した交流			・外国語活動乗り入れ授業（岸本中教員と６年生）	・外国語活動乗り入れ授業（岸本中教員と６年生）	・外国語活動乗り入れ授業（八郷小・岸本小６年生）
４月					
５月					
６月					
７月	・七夕交流会（八郷小１年生） ・卒園児交流会（八郷小１年生）				
８月	保育体験（八郷小教員）				
９月					
10 月	・体育交流（岸本小５年生） ・マラソン大会（岸本小５年生）				

平成29年度　交流年間計画　　あさひ保育所・八郷小学校

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
あさひ保育所	5歳児保育内容	体操・ダンス・縄跳び　どろんこあそび・水あそび・プールあそび　かけっこ・縄跳び・鉄棒・のぼり棒・フープ・リレー・玉入れ・ダンス　とびばこ・マット											
		手遊び・歌あそび・集団あそび・わらべうたあそび・脳トレあそび・運動あそび（マラソン・体操・リズム運動等）											
		散歩（春の自然）<栽培>　苺収穫　さつまいも植え付け　あさがお・夏野菜（きゅうり・トマト・ナス・ピーマン等）　川あそび　散歩（秋の自然）　さつまいも収穫　雪あそび　お正月あそび											
		自己紹介　絵本・童話・図鑑　活動についての話し合い　かずあそび　郵便ごっこ　かるた　すごろく　線あそび											
		折り紙あそび　構成あそび　絵の具あそび　工作あそび　劇あそび　カレンダー製作　アルバム製作											
	関連行事	・入所式	・こいのぼり運動会 ・バス遠足 ・年長児交流(1回)	・年長児交流(2回) ・年長児交流(3回) ・参観日 ・ちまき作り	・プール開き ・七夕祭り ・水泳指導 ・夕涼み会・歯磨き指導 ・栄養指導	・プール大会	・運動会	・バス遠足 ・親子遠足 ・いも掘り ・マラソン大会 ・年長児交流(4回)	・バス遠足	・生活発表会 ・クリスマス会	・もちつき ・お店屋さんごっこ	・節分 ・入所説明会	・ひなまつりお茶会 ・お別れバス遠足 ・修了式
保小交流	子ども		・八郷小運動会	・マラソン大会	・1年生との交流会（1年） ・卒園児交流			・就学時検診（5年）	・学習発表会			・新1年生となかよくなる会（1年） ・授業体験（1年） ・交流給食（5年）	
	教職員	・参加日	・町教振総会 ・交流の打ち合わせ会	・マラソン大会 ・土曜授業 ・プール開き		・保育体験		・参加日 ・マラソン大会	・学習発表会 ・人権教育研修会	・生活発表会	・土曜授業	・入学説明会 ・命の教育参加日	・保小連絡会
八郷小学校	関連行事	・入学式 ・参加日	・あおぞら運動会	・マラソン大会 ・土曜授業 ・プール開き				・参加日 ・マラソン大会	・就学時健診 ・学習発表会		・土曜授業	・給食試食会 ・入学説明会 ・命の教育参加日	・6年生を送る会 ・卒業式 ・修了式
	1年	生活科（1年生との交流会）（年長児を招待して一緒に遊ぼう）										生活科（もうすぐ2年生）	
	5年	（総合的な学習の時間）園児とのかかわりを通して											入学式準備
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

中学校区→小学校区へつながる交流計画

中学校区の複数の小学校、園における交流計画を一覧にして示すことで、「同じ中学校で学ぶ子どもを校区の教職員みんなで育てる」意識が高まります。また、この計画をもとに、互恵性のある交流にするための交流計画を小学校区で作成しています。

子どもの育ちと学びをつなぐために

組織をつなぐ　**人をつなぐ**　教育をつなぐ

項目をチェックする（□）ことで、今後の取組の参考とすることができます。

※鳥取県幼児教育振興プログラム（改訂版・平成 25 年 3 月）第Ⅳ章３

カ　リ：鳥取県幼保小連携カリキュラム
取　組：鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集
ハンド：鳥取県幼保小接続ハンドブック

（２）人をつなぐ

【園児と児童、園児同士の交流】

◆幼稚園・保育所・認定こども園等◆

□散歩・園外保育等で小学校を訪問	取組Ｐ69、ハンドＰ53
□校庭・図書館・プール・トイレ等、小学校の施設を利用する機会を設定	
□小学校の休憩時間を活用して一緒に遊ぶ機会	取組Ｐ69. 73
□水遊び、秋みつけ、給食などの交流・体験活動	取組Ｐ70～72 ハンドＰ22. 29. 30. 35. 44. 53
□園の行事に児童等を招待（　　）	
□学校行事に参加・合同の行事の実施	取組Ｐ69. 74 ハンドＰ53
□体験入学に参加	カリＰ45
□学校見学に参加	カリＰ45、取組Ｐ70 ハンドＰ53
□里帰り交流会（卒園した園に訪問）等を設定	ハンドＰ53
□他園の園児との交流	ハンドＰ24. 53
□園と地域の学校（小中学校・高等学校等）との合同避難訓練	
□	

◆小学校等◆

□休憩時間を活用して園児と一緒に遊ぶ機会	取組Ｐ69. 73
□水遊び、秋みつけ、給食などの交流・体験活動	取組Ｐ70～72 ハンドＰ22. 29. 30. 35. 44. 53
□生活科の町たんけん等で園を訪問	
□総合的な学習で訪問・交流（　　）	ハンドＰ22. 29. 30. 53
□委員会・クラブ活動で交流（読み聞かせ等）	ハンドＰ53
□学校行事への招待・合同の行事の実施	取組Ｐ69. 74 ハンドＰ53
□園行事への参加（　　）	
□体験入学・学校見学で交流	カリＰ45、取組Ｐ70 ハンドＰ53
□里帰り交流会等に参加	ハンドＰ53
□園と地域の学校（小中学校・高等学校等）との合同避難訓練	
□	

年長児交流で小学校遊具を使用

交流場所を小学校に設定しています。

年長児交流会

小学校区の４園が当番園を輪番で決め、毎年交流しています。

２歳児交流会

３歳児になると同じ園で生活することを想定し、子どもたちの交流会を年間計画に位置付けています。

小学校の給食体験

年長児と１年生との交流活動に給食時間も組み入れています。

【教職員の相互理解】

◆幼稚園・保育所・認定こども園等◆

小学校の授業参観	□学校公開日・参観日等で参観 □参観後の意見交換会・協議に参加 □授業研究会に参加	ハンドP40
小学校の授業体験	□小学校の授業体験 □小学校の授業体験後に意見交換・協議 □小学校に出前授業	取組P69. 73 ハンドP13. 24
幼保小（中）合同研修会	□校区で幼保小（中）合同研修会 □接続カリキュラム編成のための協議 □育みたい資質・能力についての協議 □「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」についての協議	取組P73 ハンドP23. 24. 40. 28. 33. 39. 35. 36 カリP17～20 ハンドP47～52
園児と児童の交流活動に係る連携	□事前の合同打合せ・事前の下見（互いのねらい等の確認） □交流指導案等の作成・協議 □活動中に子どもの育ちや学びについて情報交換 □事後の合同振り返り	取組P70～72 ハンドP22. 26. 30
園児同士の交流活動に係る連携	□交流内容等についての協議・計画案作成 □交流指導案等の作成・協議 □交流場所等の事前の下見等	ハンドP11. 24. 53.
その他	□	

◆小学校等◆

園の保育参観	□保育参観日等で参観 □保育参観後に意見交換会・協議 □保育研究会に参加	
園の保育体験	□保育体験 □保育体験後に意見交換・協議 □園に出前授業	取組P73 ハンド 13. 23. 24. 30. 34. 40. 53
幼保小（中）合同研修会	□校区で幼保小合同研修会 □接続カリキュラム編成のための協議 □育みたい資質・能力についての協議 □「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」についての協議	取組P73 ハンドP23. 24. 40. 28. 33. 39. 35. 36 ハンドP16～18 第Ⅳ章
園児と児童の交流活動に係る連携	□事前の合同打合せ・事前の下見 □交流指導案等の作成 □事後の合同振り返りの会	取組P70～72 ハンドP22. 26. 30
その他	□	

１日小学校授業体験

保育者が朝の活動から下校まで１年生の授業を体験します。また、小学校長と学校経営や重点的取組等について協議することで、保育者の教育・保育に関する視点が広がります。

ここがポイント！

その①

保育体験・授業体験

事前の打合せ・事後の振り返り・協議を大切にしましょう。

その②

「視点」を明確にして、体験することが大切です。

《視点例》

保育体験
- 保育者の関わり
- 幼児期の学びとは何か
- 小学校につながる姿とは

授業体験
- 教師の関わり
- 小学校での学びとは何か
- 園で培った育ちや学びはどこに生かされるか

子どもの育ちと学びをつなぐために

組織をつなぐ　人をつなぐ　**教育をつなぐ**

項目をチェックする（□）ことで、今後の取組の参考とすることができます。

※鳥取県幼児教振興プログラム（改訂版・平成 25 年 3 月）第Ⅳ章３参照

（３）教育をつなぐ

カ　リ：鳥取県幼保小連携カリキュラム
取　組：鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集
ハンド：鳥取県幼保小接続ハンドブック

●めざす子どもの姿の共通理解●

□各園・小学校の子どもの実態把握	取組Ｐ68 ハンドＰ16～18 ハンド第Ⅲ章
□園・小学校の教職員等で校区の子どもの実態把握のための協議	
□校区のめざす子どもの姿を協議・共通理解	
□「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに、校区の子どもの姿を協議	
□	

ここがポイント！　その①

子どもの実態把握

それぞれのよさ・課題の確認
お互いの課題等の共有
↓
校区の子どもを育むという視点で、**めざす子ども像を確認**することから始めましょう。

●互いの教育内容・保育内容を理解●

□行事・参観・交流活動等を通して、教育内容等を理解	ハンド第Ⅲ章 カリＰ10～18 ハンドＰ16～18
□互いの教育方針・保育方針等について理解	
□子どもの興味・関心や発達段階等について共通理解	
□子どもの生活・生活時程の共通理解	
□教育課程、保育課程等の交換	
□園：「小学校学習指導要領」の内容把握と活用 小学校：「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の内容把握と活用	
□	

重点的に育てたい力を明確にすることが大切です。

幼児期の教育について事前学習

小学校教員の保育体験の際、「幼稚園教育要領」と「ようちえんってなあに」（文部科学省）をコピーして全職員に配布。幼児期の教育について学びを深めてから保育体験を実施しています。

アプローチカリキュラム

園での子どもの育ちや学びを小学校につなぐために編成するカリキュラム。小学校という新しい環境に適応したり乗り越えたりしていく基礎となる力が養われる経験をすべての園児にさせていきましょう。小学校生活の準備、小学校への適応指導という意味ではありません。

- □「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに編成
- □小学校に期待をもち、自信をもつことにつながる遊び・体験
- □小学生との交流活動などを考慮
- □より自主的・主体的な遊びを意識
- □意図的に組み入れた協同的な遊び・体験
- □文字や数等に興味・関心をもつ環境の構成
- □校区のめざす子どもの姿の位置付け・小学校とのつながり
- □５歳児の年間指導計画とのつながり
- □地域・園・小学校の特色を生かした活動
- □保護者への説明

●接続カリキュラムの編成●

□校（園）内組織を立ち上げて協議・編成	ハンド第Ⅲ章 取組Ｐ68 ハンドＰ15 カリＰ48.49
□自園・自校の全教職員による協議・共通理解	
□接続カリキュラム編成のための園と小学校教職員等の協議・研修	
□校区のめざす子どもの姿を明確にし、カリキュラムへ記載	
□校区で共通実践する項目の決定・カリキュラムへ記載	
□	

●接続カリキュラムの実施・評価・改善●

□接続カリキュラムと年間指導計画等とのつながりの確認・見直し・改善 小学校：生活科を中心に他教科との関連、他学年とのつながり 園：年長児の年間指導計画、期案、月案等とのつながり、4歳児・3歳児等の年間指導計画とのつながり	ハンド第Ⅲ章 ハンドＰ15 カリＰ48.49
□全教職員による共通理解・改善	
□実践事例の作成	カリＰ45 ハンドＰ26 取組Ｐ71.72
□接続カリキュラム検討会の実施	ハンドＰ39
□	

行政担当者・園・小学校教職員等によるカリキュラム作成委員会

ここがポイント！　その②

めざす子どもの姿　育てたい力

↑

育てたい子どもの姿や育てたい力等、方向性を明らかにすることで、校区一体となった共通実践の実現につながります。

ここがポイント！　その③

カリキュラムの中に位置付け

・交流連携計画
・環境構成や授業内容の工夫
・援助、支援や指導の工夫・配慮、家庭との連携　　等

↓

実践事例を作成することにより、子どもの育ちや学びの読み取り等、合同研修でも活用できます。

園全体・小学校全体で共通理解し、実践できるカリキュラムにしましょう。

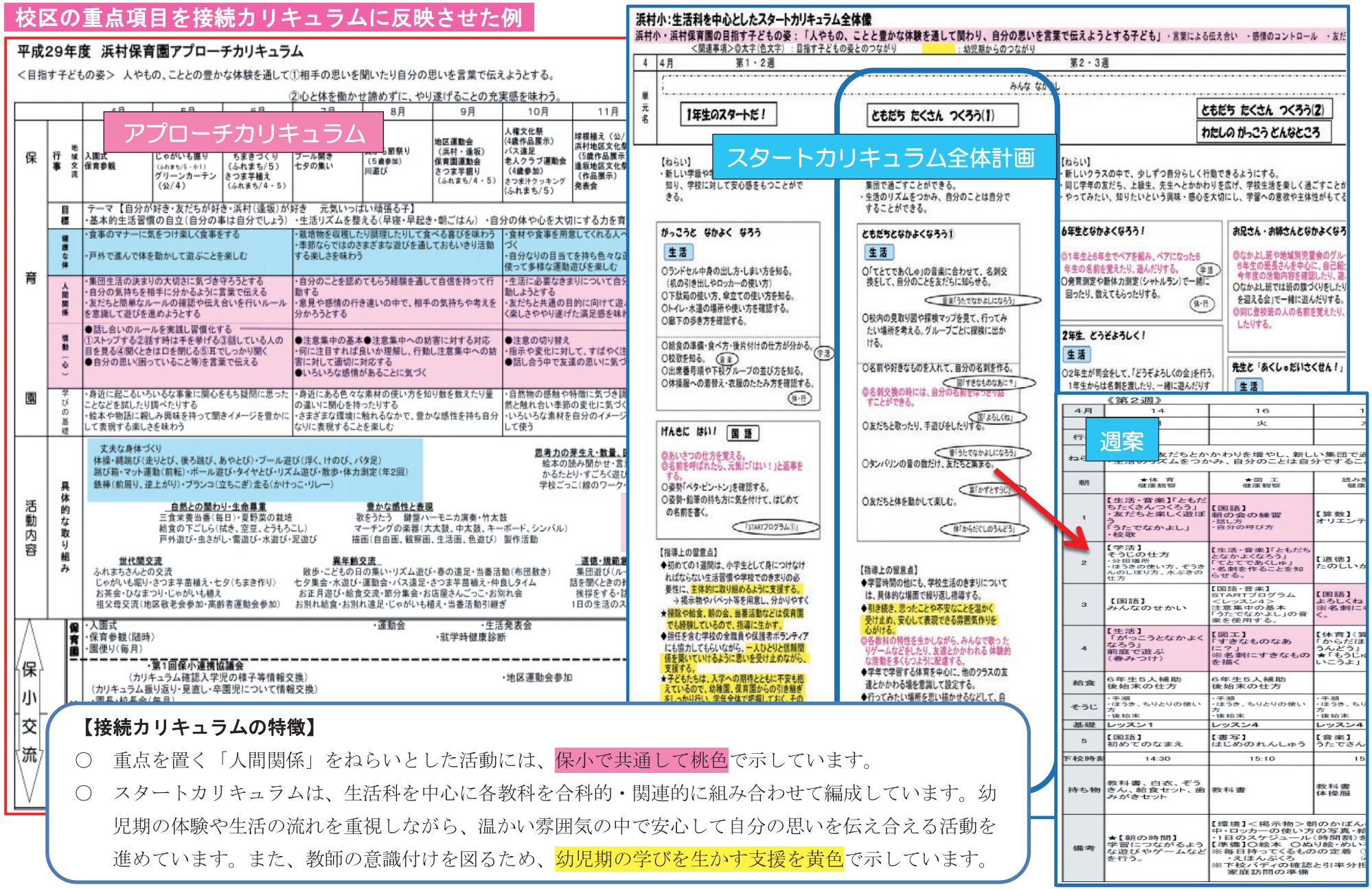
スタートカリキュラム

- □「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をふまえた指導の工夫
- □生活科を中心とした合科的・関連的な指導
- □短時間学習などを含めた時間割の工夫
- □園で経験した遊び・体験活動を活用
- □園での環境構成（視覚支援等）を活用した学びやすい環境作り
- □教職員や友達と関わる活動、出会いの楽しさを感じる活動の工夫
- □校区のめざす子どもの姿の位置付け・園とのつながり
- □１年生の年間指導計画とのつながり
- □地域・園・小学校の特色を生かした活動
- □保護者への説明

幼児期に体験してきた遊び的要素と小学校生活の中心をなす教科学習の両方を組み合わせたカリキュラム。

各教科等の特質に応じた学びにつなげていくことを意識して編成しましょう。

校区の重点項目を接続カリキュラムに反映させた例



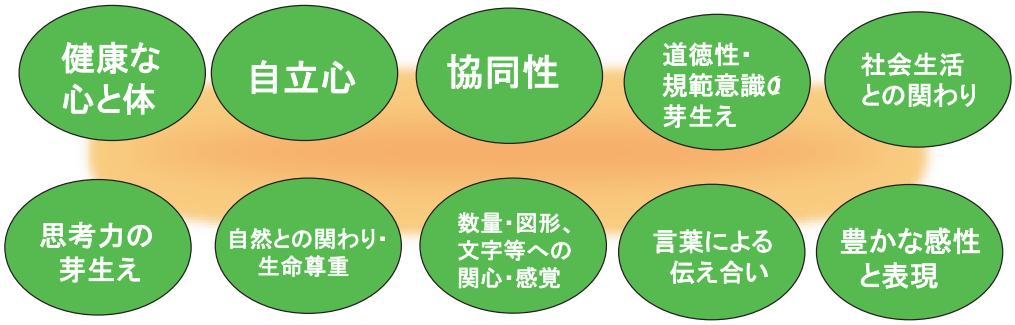
２　接続期の子どもの姿をつなぐために
～「鳥取県幼保小連携カリキュラム」の１０の視点について～

鳥取県教育委員会では、平成２６年３月に作成した「鳥取県幼保小連携カリキュラム」において各年齢のめざす姿を知・徳・体の３つの観点と１０の視点で示し、「遊びきる子ども」を育む取組を推進してきました。

平成２９年３月３１日に改訂・告示の「幼稚園教育要領」等で幼保小の円滑な接続を図るための手がかりとして示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(P57・58) とのより一層の整合性を図るため、「鳥取県幼保小連携カリキュラム」の『接続期』を部分改訂しました。

「鳥取県幼保小連携カリキュラム」

≪幼児期の終わりまでに育ってほしい姿≫



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を捉えるための具体的な視点として、
部分改訂版「鳥取県幼保小連携カリキュラム」（接続期）を活用することができます。

（＊部分改訂版「鳥取県幼保小連携カリキュラム」（接続期）は次ページに掲載）

鳥取県幼保小連携カリキュラム（接続期）
《改訂のポイント》

- 「社会生活との関わり」についての内容を新たに追加
- 「自然との関わり・生命尊重」の内容を充実
- 「学習規律」の項目を削除

視点	5歳児後半（10月～3月）	1年生前半（4月～7月）
自己発揮 ～みて、きいて～	地域の方等との触れ合いをとおして、自分が役に立つ喜びを感じる。	自分の気持ちを伝え、いろいろな友達と進んでかかわろうとするなど意欲と自信をもって生活する。
きまり ～たのしいね～	地域の公園等を大切に利用しようとする。	身の回りにある公共施設等を大切にし、安全に気を付けて正しく利用しようとする。
探究心 ～どうしてかな～	遊びや生活に必要な情報を絵本や図鑑等を使って調べたり、伝え合ったりする。	不思議に思ったこと、疑問に思ったことを尋ねたり、進んで調べたりする。
	生命の不思議さや尊さに気付き、動植物を大切にしようとする。	自然の不思議さに気付くとともに、遊びを楽しくする工夫を考えたり試したりしようとする。

◆青字記載・・・追加・充実した内容

部分改訂版「鳥取県幼保小連携カリキュラム」（接続期）

鳥取県のめざす幼児の姿

遊びきる子ども

観点	視点		接　続　期（ 5歳児後半から小学校1年生夏休み前まで ）	
			10月 → 11月 → 12月 →	1月 → 2月 → 3月 →
生活（健康な体づくり）	健康 ～げんきいっぱい～	食育	・食事のマナーに気を付け、友達や保育者と一緒に楽しく食事をする。 ・食べ物と健康の関係を知り、進んで食べようとする。 ・栽培物を収穫したり調理したりして食べる喜びを味わう。 ・食材や食事を用意してくれる人へ感謝し、命の大切さに気付く。	・給食時間内に残さず食べる。
		運動	・戸外等で、進んで心と体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・季節ならではのさまざまな遊びを通して、思いきり活動する楽しさを味わう。 ・友達と積極的に体を動かす運動に取り組み、競い合ったり、ルールを作ってみんなで遊んだりすることを楽しむ。 ・自分なりのめあてをもち、全身を使って多様な運動遊びを楽しむ。 ・用具の特長を生かして、いろいろな運動遊びを楽しむ。	
		安全	・ルールの必要性や危険なことに気付いて、意識して行動しようとする。	・危険な遊び方や場所に気付き、自分で判断して安全に行動しようとする。
	生活習慣 ～みにつけよう～		・早寝・早起き・朝ご飯などの基本的生活習慣を身に付ける。 ・身近に使うものを大切に扱ったり、身の回りの整理や片付けを進んでしたりする。 ・園生活の流れを予測したり、見通しをもって行動したりしようとする。 ・健康な生活や病気の予防に関心をもち、意識して行動する。	・時間を意識しながら生活に見通しをもち、場や状況に応じた行動をとる。 ・生活に必要なあいさつや正しい言葉遣いを進んでしようとする。
人とのかかわり（豊かな人間性づくり）	自己発揮 ～みて、きいて～		・自分のことを認めてもらう経験を通して自信をもって行動する。 ・友達と十分かかわり、自分の力を発揮し、遊びを進めていく達成感を味わう。 ・友達の考えを聞いたり、自分の考えや発見などを話したりして、伝えるうれしさを感じる。	・自分のやりたい遊びに夢中になる。 ・クラスや同年齢の友達とみんなで活動する楽しさがわかり、友達との連帯感を感じながら自分の力を発揮する。 ・地域の方等との触れ合いをとおして、自分が役に立つ喜びを感じる。
	協同性 ～いっしょにやろうよ～		・自分の考えと相手の考えの違いに気付き、折り合いをつけて遊びを進めようとする。 ・友達と役割を分担し、互いに考えを出し合い協力して遊びや生活を進める。 ・グループの友達と共通の目的に向けて遊ぶなかで、一緒に進めていく楽しさややり遂げた満足感を味わう。	・自分の感じたことや考えたことを友達にわかるように伝えるとともに、友達の話も聞き、受け止める。
	きまり ～たのしいね～		・自分たちできまりを作ったり、遊びを考えたりしてみんなで楽しむ。 ・地域の公園等を大切に利用しようとする。	・今は何をすべきかなどを自分なりに判断し、状況に応じた行動をする。 ・友達と一緒に考えたルールを守りながら、自分たちで遊びを進める。
興味・関心（学びの基礎づくり）	意欲 ～おもしろそうだな～		・戸外等での遊びに意欲的に取り組み、友達と一緒に遊びを発展させる。 ・身近な動植物や自然現象に興味や関心をもち、遊びのなかに取り入れようとする。	・小学校との交流などを通して、就学への期待を膨らませ意欲的に生活する。
	探究心 ～どうしてかな～		・自然物を使ってさまざまな遊びに取り組み、その感触や特徴などに気付いたり調べたりする。 ・積極的に園外に出かけ自然物で遊んだり、身近な自然と触れ合ったりしながら、季節の移り変わりに気付く。 ・生命の不思議さや尊さに気付き、動植物を大切にしようとする。	・身近な環境に自らかかわり、考えたり試したり工夫したりして遊ぶ。 ・失敗してもあきらめないで遊びを広げたり深めたりする。 ・遊びや生活に必要な情報を絵本や図鑑等を使って調べたり、伝え合ったりする。
	表現 ～つたえたいな しりたいな～		・絵本や物語に親しみ興味をもって聞き、イメージを豊かにして表現する楽しさを味わう。 ・友達といろいろな歌を歌ったり楽器を使ったりして曲の感じやリズムの変化を楽しむ。 ・日常生活のなかで、数や文字に関心をもち、生活に取り入れる。	・いろいろな材料を自分のイメージに合わせて見立て、工夫して使う。 ・思ったことや感じたことを絵や言葉などで表現する。

「鳥取県幼保小連携ハンドブック」『接続期』の改訂に係る考え方

＊１０の姿に向けた取組を推進するための具体的な視点としてカリキュラムを活用する。
＊１０の姿との整合性を図る。

○全面改訂は行わない。「一部改訂」とする。
○「オ　社会生活との関わり」についての内容を新たに追加
○「キ　自然との関わり・生命尊重」の内容を充実、
○「学習規律」の項目を削除

接　続　期（ 5歳児後半から小学校1年生夏休み前まで ）

4月 → 5月 →	6月 → 7月 →
・給食に慣れ、友達や先生と楽しく食事をする。 ・食べ物に関心をもち、好き嫌いせず何でも食べようとする。 ・給食の身支度を整え、友達と協力して配膳や後片付けをする。 ・基本的な食事のマナーを守る。	・時間内に残さず食べる。（20～25分程度） ・食べ物や、給食に携わっている多くの人に感謝の気持ちをもつ。
・友達と楽しく体を動かす。（体育、休憩時間） ・遊具や用具の使い方やきまりを知り、守ろうとする。	・友達と競い合ったり、力を合わせたりして、基本的な動きや多様な動きを身に付ける。 ・遊具や用具の特長を生かして、いろいろな運動遊びを楽しむ。
・安全に過ごすためのきまりがわかり、安全に気を付けて生活しようとする。 （教室での過ごし方、廊下歩行の仕方、遊具の使い方など） ・交通ルールやマナーを守って安全に通学する。 （通学路の歩き方、横断歩道の渡り方など）	・危ない場所や行動について、自分で判断して安全に過ごそうとする。 ・地震や火災発生、不審者侵入などの際の安全な避難の仕方を知る。
・早寝・早起き・朝ご飯などの基本的生活習慣を身に付ける。 ・衣服の着脱や自分の持ち物の整理整頓をする。 （下足箱・ロッカー・机の引き出し） ・トイレや手洗い場を正しく使う。 ・チャイムや時間割表に合わせて行動する。 ・家族と一緒に次の日の準備をし、忘れ物をしないで登校する。 ・明るく元気のよいあいさつや返事をする。 ・「です」「ます」を使った丁寧な言葉遣いをしようとする。 ・尋ねられたことに答えたり、困ったことを伝えたりする。	・学習と休み時間を切り替え、チャイムや時計を意識して見通しをもって生活する。 ・当番活動や係活動など自分のやるべきことを最後まで行う。 （担任以外の教職員）
・自分の感じていることや思っていることを先生や友達に伝える。 ・友達や先生の話を最後まで聞こうとする。 ・学習や生活のなかで自分のしたいことを見つけ、集中して取り組む。	・学習や生活を振り返り、楽しかったことや頑張ったことに気付き、自信をもつ。 ・自分の伝えたいことを最後まで話す。 ・自分の気持ちを伝え、いろいろな友達と進んでかかわろうとするなど意欲と自信をもって生活する。
・友達や先生に親しみをもって接し、一緒に学習や生活を楽しむ。 ・いろいろな友達と協力して、当番活動や係活動などの仕事に取り組む。	・周りの友達と仲良く助け合い、楽しい学校生活を送る。 ・相手の気持ちを考え、思いやりをもって接しようとする。 ・友達の考えを知り、折り合いをつけて生活する。
・学校生活のきまりを守り、みんなで使う物や場所を大切にする。	・身の回りにある公共施設等を大切にし、安全に気を付けて正しく利用しようとする。 善悪の判断を自分で行い、よいと思うことを進んで行う。 ・学校生活を楽しくするためのルールを相談してつくる。 ・
・学校の学習や生活を楽しむ。 ・いろいろなことに「やりたい」という気持ちをもって取り組む。 ・自然現象や学校の動植物に進んでかかわり、興味・関心をもつ。	・「わかった」「できた」という喜びを感じ、進んで生活や学習をしようとする。 ・身の回りの自然や事象に触れるなかで、驚きや発見などの喜びを感じる。
・生活や学習のなかで、いろいろな方法を考えたり工夫したりすることを楽しむ。 ・新しいことや苦手なことにも挑戦しようとする。	・困難なことや自分の課題にもあきらめずに挑戦し、乗り越えようとする。 ・不思議に思ったこと、疑問に思ったことを尋ねたり、進んで調べたりする。 ・自然の不思議さに気付くとともに、遊びを楽しくする工夫を考えたり試したりしようとする。
・声の大きさや速さ、姿勢や口形などに注意して、相手に伝わるように話す。 ・絵本や物語に興味をもち、挿絵や言葉、文章などから想像する楽しさを味わう。 （読み聞かせを聞く、自分で読む） ・歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりして表現活動を楽しむ。 ・楽しく絵を描いたり、作りたいものを作ったりする。	・学習したことを生活のなかで使おうとする。 ・友達や先生に自分の考えを話したり、絵や文字でかいたりする。

第Ⅲ章　鳥取県内の実践例

鳥取県では、平成 28・29 年度において、円滑な接続をめざし、接続カリキュラムの編成等の効果的な取組を推進する市町村をモデル的に支援する「幼保小連携推進モデル事業」を実施しました。県内各モデル市町において、地域の実態等に合わせ、創意工夫した実践が展開され、成果があらわれています。その実践について紹介します。

〈実践１〉

倉吉市（H28・29）

P21~26

全小学校・全園の取組

小学校区による
特色ある共通実践

園・小学校の交流活動の
深化・充実

一人一人の子どもの
良さを伸ばす連携・接続

〈実践２〉

日野町（H28・29）

P27~32

持続可能で
具体的なカリキュラム

０歳から 15 歳までの
育ちを見通し、一貫した教育

〈実践３〉

若桜町（H29）

P33~38

町の重点課題にそった実践

身に付けさせたい力の明確化

既存の指導計画を生かした接続カリキュラム

〈実践４〉

鳥取市（H28・29）

P39~44

互恵性のある教職員研修

分かりやすく視覚化した接続カリキュラム

幼児期に培った力を生かす実践

〈実践５〉

境港市（H28）

P45~46

体力づくりに焦点化した実践

園で身に付けた力を小学校の教科学習につなぐ実践

子どもの興味・関心を大切にした体育学習

〈実践１〉　倉　吉　市

倉吉市では公私立や園種、校種の枠を越え、市内全ての園と小学校が一緒になって倉吉市幼児教育研究会（平成２１年度から園長と小学校長で組織）を立ち上げ、情報交換し円滑な接続をめざしています。

組　織　を　つ　な　ぐ

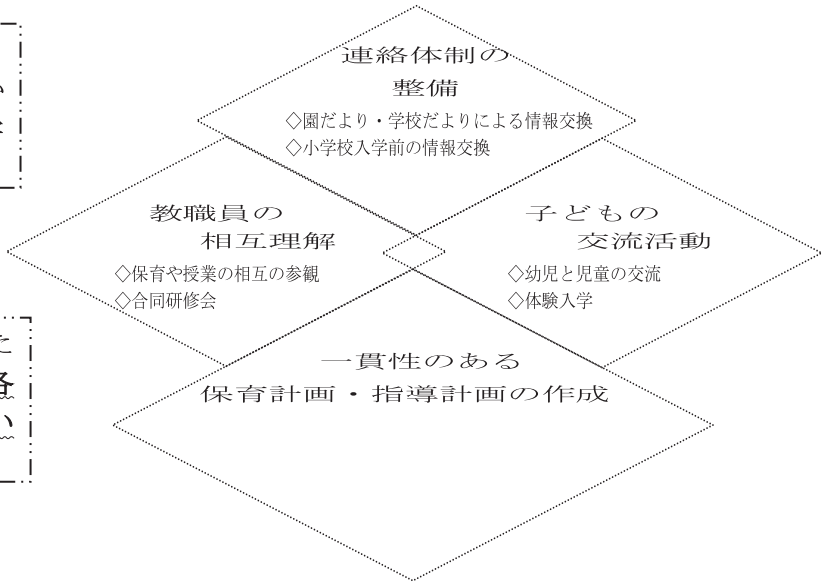
＜倉吉市の子ども達の就学の状況＞
園や学校の規模にかかわらず、１つの園から多数の小学校に入学したり１つの小学校に多数の園から入学したりします。

⇩

豊富な体験によって幼児期に身に付けた学びの基礎が、**どの小学校に就学しても各教科の本格的な学びの力につながっていく**ことが大切であると考えています。

⇩

倉吉市幼児教育研究会



～全ての園と小学校が連携できる体制づくり～

○幼保小の円滑な接続に向けて、「倉吉のめざす子どもの姿」を作成
○倉吉市の全小学校、公・私立保育園、幼保連携型認定こども園が連携できる体制
○「年間連携推進計画」や「交流実施計画」等は倉吉市で様式を統一した上で、校区の実態や課題に合わせて作成・実践

互いの学びにつながる交流とするため、各小学校区が工夫した実践をしています。

倉吉市幼児教育研究会

西郷小学校区	西郷保　ババール園　キンダーガーデン　倉吉東こども園　西郷小
河北小学校区	上井保　ひかり保　あゆみ保　鳥取短期大学附属こども園　河北小
明倫小学校区	倉吉西保　ひまわり保　聖テレジアこども園　明倫小
成徳小学校区	倉吉愛児園　めぐみ保　倉吉幼稚園　成徳小
上灘小学校区	どんぐり保　うつぶき保　上灘小
小鴨小学校区	小鴨保　西倉吉保　小鴨小
上小鴨小学校区	上小鴨保　上小鴨小
北谷小学校区	北谷保　北谷小
高城小学校区	高城保　高城小
社小学校区	社保　向山保　みのり保　社小
灘手小学校区	灘手保　灘手小
上北条小学校区	上北条保　上北条小
関金小学校区	関金保　関金小

倉吉市連携推進体制
公立保育園・私立保育園
私立幼保連携型認定こども園・公立小

人　を　つ　な　ぐ

◇園児と児童の交流

子どもの発達を把握し、園児や児童が主体的に活動できるように、交流のねらいを明確にしています。また、学びの連続性を意識した活動内容にするために、事前の話合いを大切にしています。交流実施計画の様式には、「考察」の欄を設けて交流後の話合いを位置付け、その後の遊びや学習への発展及び次年度に生かすようにしています。

○互恵性を大切にした交流活動（上北条小学校区）

平成２９年度　交流実施計画　「小学校で運動遊び交流をしよう」

１　日　時　　平成２９年１１月９日（木）　　８時５０分　～　９時５０分
２　場　所　　上北条小学校校庭（雨の場合：体育館）
３　参加者　　上北条小学校５年生　２４名、上北条保育園年長児　１１名
４　ねらい

年長児	５年生
○小学校にどんな遊具があるかを知り、５年生と一緒に運動遊びをすることで、入学への期待を持つ。 ○小学生と楽しく運動遊びをすることを通して、広いグランド（体育館）で力いっぱい体を動かすことを楽しむ。	○校庭の遊具の遊び方を園児にわかりやすく紹介する。 ○園児と楽しく運動遊びをすることを通して、つながりを深めていく。

５　評価
年長児　校庭の遊具の遊び方を知り、５年生と一緒に運動遊びを楽しんでいる。（行動・発言）
５年生　園児に校庭の遊具の遊び方をわかりやすく伝え、一緒に運動遊びを楽しんでいる。（行動・発言）

６　活動の流れ（雨の日：体育館）

時間	活動	年長児に対する配慮・支援等	５年生に対する配慮・支援等
8:50	１、あいさつをする。		
	２、準備運動（エビカニクス）をする。	○保育園で踊っているエビカニクスを準備運動として取り入れることで、緊張をほぐし意欲的に参加できるようにする。	○一緒に楽しくできるように事前に曲を聞いておく。
8:55	３、運動遊びの説明をする（５年生）。	○どんな運動遊びをどこでするのか、わかりやすくするために地図を使って説明する。	○準備した地図を使って、ゆっくりていねいに話すように伝える。
9:05	４、体育館で遊ぶ。 ○レーザービーム ・長縄に引っかからないように、跳んだりしゃがんだりする。	○引っかかってこけてしまうことがあることを事前に伝えておく。	○園児の思いを聞きながら、声かけをしたり手をつないだりする。
9:15	○かんたんサスケ ・体育館を使ったアスレチックコースをまわる。（１周目はルートに従って進むが、２周目は好きな所に行って遊ぶ） ①　フラフープを並べてケンケンパをする。	○保育園で取り組んでいるマット運動やなわとびを取り入れることで、自信を持って遊ぶことができるようにする。 ○ペアの５年生に自分の思いを伝えながら、一緒に遊びを楽しめるように、必要に応じて声かけをする。	○園児の思いや願いを聞いたり確認したりしながら一緒に遊ぶ。 ○園児が不安そうなときは、一緒にしてみたり、違う遊びのところに誘ったりするように声かけをする。

園で継続して取り組んでいる遊びを取り入れ、満足感や達成感を味わうことができるようにしています。

児童が主体的に園児と関わりを持つことができるよう、園や小学校の教職員はなるべく見守る配慮をしています。

事前の話合いの様子

子どもたち同士がたくさん関わったり、自信を持って活動したりする交流になるよう協議しています。

年長児の得意な動き・音楽を使った準備運動

～事前・事後の話合いを通して～

○園児にとってどんなことがつまずきにつながるかなど、発達や幼児期の学びについて保育者から学んだ。
○ねらいや内容を十分に検討したことにより、子どもたちが主体的に活動することができた。
○保育者が全体の場で話すと、園児は安心した表情になった。保育者と小学校教員の役割分担に工夫が必要だと分かった。

◇教職員の相互理解

保育参加（参観）や授業参加（参観）、合同研修会等を行い、子どもの発達や学びの連続性について協議することを通して、教職員の相互理解を深めています。各小学校区で地域の実態や子どもの興味・関心を生かした実践が展開されています。

○遊びと学びのつながりを考える（関金小学校区）

年長児や１年生の姿から、園児の遊びの中での気付きや、遊びと学習活動のつながりについて考えています。

保育参加を通して、保育者の声かけや個に応じた指導など、園と小学校の指導方法の共通点や相違点に気付いたり、円滑な接続のための方策等を考えたりしています。

○全教職員の連携（成徳小学校区・上灘小学校区）

中学校区の園と小学校の教職員ができるだけ参加できるように、研修会の時間を午睡の時間とするなど工夫して開催。担当の年齢や学年で、どのような連携ができるのかを考える機会としています。

・小学校、保育園・認定こども園のカリキュラムについて、互いに理解を深め、連携を充実していくことが大切だと感じた。
・年長児だけではなく、０歳からのすべての園児を対象にした交流を実施したい。学校周辺を散歩するなど、できることから行っていきたい。

～参加者の感想より～

○気軽に相談できる教職員の関係づくり（社小学校区・灘手小学校区）

毎月の園長･校長の情報交換会を「社カフェ」と名付け実施。会を重ねるごとに仲間意識が高まっています。カフェでおしゃべりするように、それぞれの取組について気軽に聞き合うことのできる関係になっています。

保育園の調理員さんに作り方を教えてもらいながら調理をし、小学校での栽培活動等を知る機会になりました。
また、職員同士が仲良くなるきっかけにもなりました。

～参加者の感想より～

小学校で栽培した野菜を使ったおやつ作り

○校区の園児がつながり、友達や遊びが広がる（西郷小学校区）

近隣園の就学前の５歳児を対象として交流を実施。普段は接する機会が少ない子ども同士が触れ合い、友達の輪が広がることにより、小学校入学への期待が高まります。

○自尊感情を高める（小鴨小学校区）

保育者が小学校１年生に読み聞かせをします。就学した子どもたちに励ましの声をかけたり、成長した姿を認めたりして、自尊感情を高めることをねらっています。

読み聞かせという活動を通して、人とのつながりを大切にし、自分も人も大切にできる子どもを育むことをめざしています。

○園・学校・家庭が連携して１５歳までの育ちを支える（河北小学校区）

保育園、認定こども園、小学校、中学校が同日に「ノーメディアデー」を設定。発達段階に合わせて、メディアとの関わり方などについて保護者に知らせていきました。基本的生活習慣の確立と合わせ、継続した取組になるよう連携して進めています。

○園での育ちと学びを生かす（上小鴨小学校区）

園の研究会に小学校教員が参加し、一緒に研修しました。保育映像で遊びの様子を振り返り、子どもの興味・関心をとらえること、つぶやきや行動から読み取れる思いや願いに気付き、園や小学校の活動に生かしていくことを協議しています。

○互いの専門性を生かして子どもを育む（北谷小学校区）

小学校の養護教諭や司書教諭が出前授業を行うことを通して園児の就学への期待が高まりました。また、保育士の読み聞かせの技を学ぶなど、互いの専門性や取組を生かした教育・保育の充実を図っています。

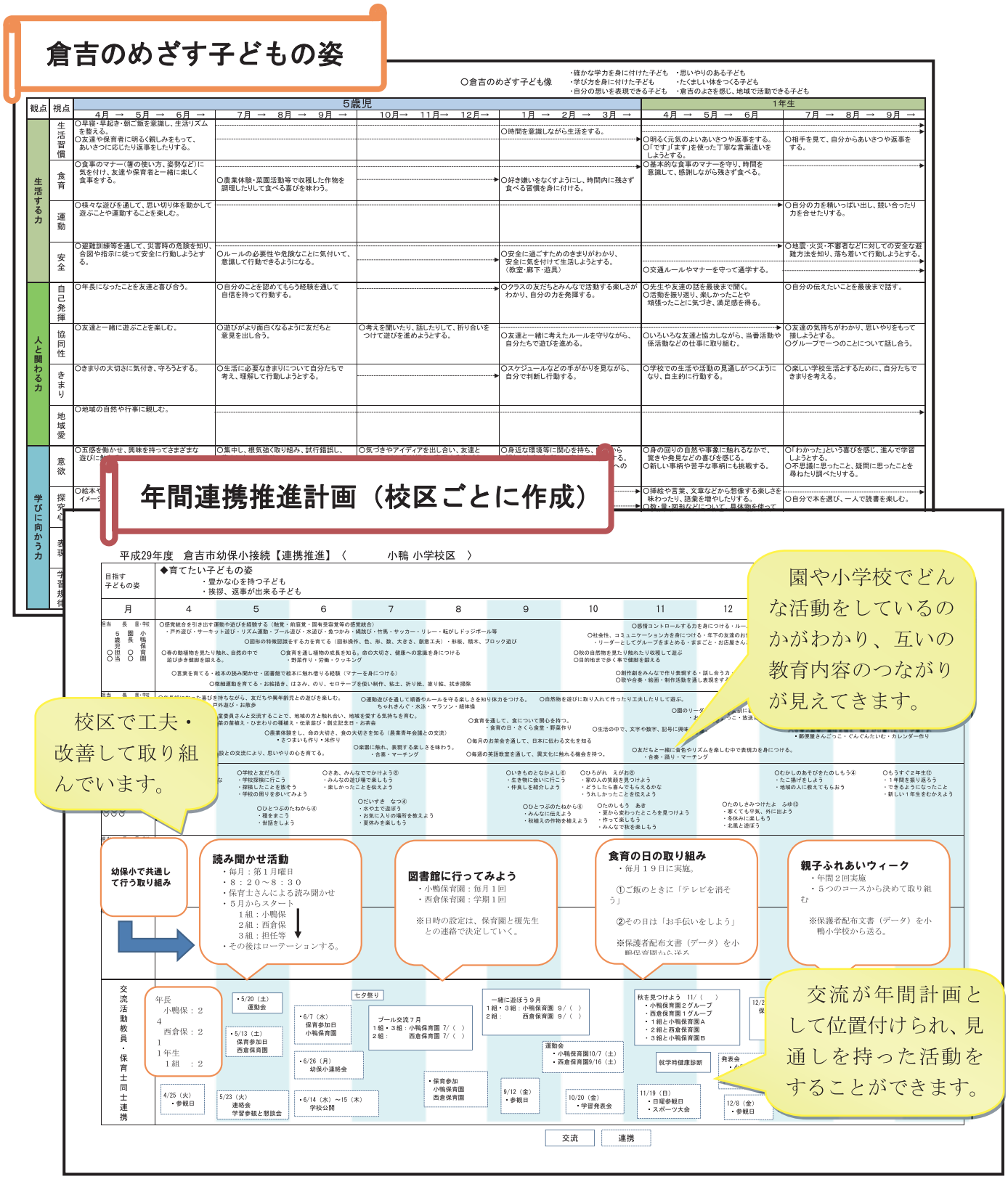
○地域と共に子どもを育む（高城小学校区）

毎月、校区の児童センターを含めて連絡会を行っています。地域全体でめざす子どもの姿を共有し、様々な立場で子どもを育てていくことができます。連絡会での丁寧な情報交換は、就学に向けての引継ぎにもつながっています。

倉吉のめざす子どもの姿をふまえて
各校区の取組が充実

教　育　を　つ　な　ぐ

幼児期の教育と小学校教育の連続性・一貫性を保障する保育・教育の在り方を考えるために、子どもの成長する姿を**「生活する力」「人と関わる力」「学びに向かう力」**のキーワードでつなぎ、５歳児と１年生の前期の接続期に関して倉吉市としての**「めざす子どもの姿」**を作成しました。



学びのつながりを意識した実践（明倫小学校区）

交流前　園での遊びの経過

園外保育（打吹公園）

調べてみよう。

・カタツムリがいたよ。
・もっと見たいな。
・ポケット図鑑に載っていたよ。
・捕まえたいな。
・飼ってみたい。

自然への親しみ

カタツムリを持ってきたよ

みんなで飼おう！

・家の庭に居たよ。みんなに見せてあげる。
・うわあ、殻から出てきた。
・殻がカタツムリのお家みたいだね。
・中に入っちゃったよ。
・もっと見たいな。
・飼いたいけど世話ができるかな。
・世話をしないと死んじゃうよね。

生き物もみんなともだちだね

こんな歌知っているかなあ。

（手のひらを太陽に）
・歌詞にたくさん生き物が出てくるよ。
・みんなで歌おう。
・生き物にも命があるよね。

明倫小学校（１年生）との交流活動について知る

・お兄さんお姉さんに会えるのがたのしみだなあ。
・どんな生き物がいるのかなあ。

期待感

自己紹介をしよう

・大きな声で名前を言うよ。
・ペアの人と仲良くするよ。
・先生の話をしっかり聞くよ。

あこがれ

生き物について知ろう

・色々な生き物を調べたい。
・図鑑を持ってきたよ。
・絵本にも載っていたよ。
・みんなで紙に書いてみよう。
・土の中に住んでいると思うよ。
・エサは何かな？

交流前　小学校での学習の経過

学校探検（校内）（生活）

学校探検（校外）（生活）

自然への親しみ

お気に入りの場所を見つけよう！

・川を見つけたよ。どんな生きものがいるのかな。
・生き物がいっぱいいるよ。（ザリガニ、カエルなど）
・つかまえたいなあ。
・森（五倫の森）があるよ。
・何して遊ぼうかなあ。
・小学校の周りりにはおもしろい場所があるよ。

次は、何して遊びたい？

・生き物をたくさん見つけたいなあ。
・生き物をつかまえて教室で飼いたいなあ。

・年長さんと一緒に遊びたいなあ。

「生き物と仲良し交流」の計画を立てよう（生活）

年長さんとしたいことは何かな。

・ぼくたちのお気に入りの場所に連れて行ってあげる。
・一緒にカエルをつかまえたい。
・たくさん生き物を見つけるよ。
・ザリガニの持ち方を教えてあげる。
・仲良くなりたいなあ。

自立心

聖テレジアこども園の交流活動について話し合う（生活）

・用意するものは、バケツや網だよ。
・ペアの友達の名前を覚えよう。
・わたしの好きな場所を紹介しよう。
・ペアの友達に優しく教えるよ。
・自分勝手な行動はしないようにするよ。
・喜んでくれるかな。仲良くなりたいな。

期待感

有用感

交流当日の様子

園児、児童それぞれが夢中になって生き物をつかまえ、その喜びを伝え合う姿が見られるなど、期待と安心感を持って交流活動をすることができました。振り返りの時間には、園児は生き生きした表情で楽しかったこと、児童は園児への接し方等について考え、話し合うことができました。

交流後　園での遊びの発展

生き物になって遊ぼう

・ザリガニがいたよ。
・カエルやカタツムリもいたよ。
・こうやって動いていたよ。
・土にもぐっていたよ。
・水に中にもいた。

どんな動きをしているのかなあ。

紙粘土で生き物を作ってみよう

・見つけた生き物を作ってみたい。

紙にかいてみよう

・どの生き物をかこうかなあ。

表現

交流楽しかったよね。見つけた生き物をかいたり作ったりしてみよう。

生き物を飼ってみよう

・ばら組のみんなと飼ってみたい。
・生きものの世話がしてみたいな。

どんな家を作ったらいいのかなあ。

生命尊重

交流後　小学校での遊びの発展

お気に入りの場所を紹介しよう（国語）

表現

発見したことやおもしろかったことをお話しよう。
お気に入りの場所を文字で書いてみよう。

今度は倉吉西保育園とひまわり保育園との交流会について話し合おう（生活）

思考力

・聖テレジアこども園との交流会は楽しかったなあ。
・もっとたくさん遊びたいなあ。
・自分ばかりが楽しんでいたから、園の友達にもっと譲るよ。
・いっぱいお話したいなあ。
・生き物がいる場所やつかまえ方をよく分かるように教えてあげる。

【担当者より】

倉吉市は、倉吉市幼児教育研究会を核として、幼児教育から小学校教育への接続期の教育の在り方について協議し、取組を進めてきました。この２年間で、園や小学校の教職員が、子どもの姿について語り合うなど、特に校区ごとの連携や交流活動が充実・発展しました。

今後は、互いの教育内容の理解やつながりのある教育課程編成等の取組により、学びの連続性を意識したそれぞれの保育・教育の質の向上をめざしていきたいと考えています。

〈実践２〉　日　野　町

日野町では、全国に先駆けて平成１７年に、黒坂小学校と黒坂保育所（当時）とが連携して「学びの基礎を育むプログラム」を策定し、保小連携の礎がつくられました。これは、小学校、保育所それぞれの教職員が、当時の１年生の課題解決のためには、保育所と小学校との連携の充実が必要との強い思いから始まった取組です。

その後、平成２３年４月には、幼児期の育ちを小学校へより滑らかにつなぐための体制づくりとして、保育所の所管を町長部局（担当：健康福祉課）から教育委員会部局へ移管しました。それと時期を合わせて、「日野町子ども１５年プラン」を制定し、一人一人の子どもの育ちを大切にしながら、０歳から１５歳までの一貫した教育（保小中一貫教育）に取り組んできました。

組　織　を　つ　な　ぐ

（１）「日野町教育大綱」「日野町教育振興基本計画」への位置付け

現在、保小連携については、保小中一貫教育の取組の１つとして、「日野町教育大綱」及び「日野町教育振興基本計画」に位置付け、日野町として事業を推進しています。

「日野町教育大綱」（抜粋）

２．次代を担う人づくり

～「生きる力」を育む保育、学校教育の推進～

○人間尊重の精神と生命を大切にする教育の推進

○豊かな人間性・社会性を育み、社会の進展に対応できる教育の推進

・自他を大切にする心　　・日野町に誇りを持ち、日野町を愛する心

・主体的に考え、行動し、他者と協働して解決する力

・高度情報化社会、グローバル化する社会を主体的に生きる力

○保小中一貫教育の推進

・自ら学ぶ力　　・ともに育つ力　　・たくましく生きる力

・小中一貫カリキュラムの検討、実施

○保育士、教員の資質の向上

「日野町教育振興基本計画」（抜粋）

【目標２】次代を担う人づくり　『子ども１５年プラン（第Ⅱ期）』

～「生きる力」を育む保育、学校教育の推進【保小中一貫教育】～

基本的な生活習慣や忍耐力、思いやりや協調性を身につけ、自分や周りの人やふるさとを愛する心を持つ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成に向けて、家庭や地域と連携を深めながら、保小中一貫教育において、確かな学力の定着、豊かな心の育成、健やかな体づくり、日野町の良さを伝える教育の推進をめざします。

《取組方策２－４　人間尊重の精神と生命を大切にする教育の推進》

《取組方策２－５　豊かな人間性・社会性を育み、社会の進展に対応できる教育の推進》

《取組方策２－６　保小中連携の推進》

《取組方策２－７　保育士、教員の資質の向上》

（２）日野町学びの基礎を育むプログラム

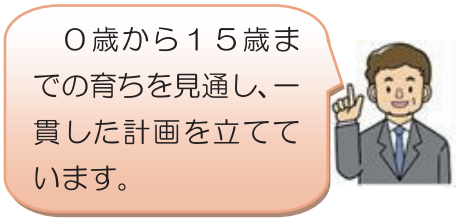
「日野町教育振興基本計画」の《取組方策２－５》には、黒坂小学校と黒坂保育所で策定された「学びの基礎を育むプログラム」を改定した「日野町学びの基礎を育むプログラム」を実践することを掲げており、このプログラムは「日野町保小連携推進計画（保小連携プログラム）」の基盤となっています。

「日野町学びの基礎を育むプログラム」（抜粋）

保育所、小学校、中学校と一貫した取組を保護者と連携しながら実践し、学びの基礎となる基本的な生活習慣の定着、コミュニケーション力、自尊感情、セルフコントロール力を育てます。

１　基本的な生活習慣の定着	・心身ともに健康な生活を送るためのもととなる生活習慣 ・特に食事、睡眠、整理・整頓、あいさつ・返事を視点とする。
２　コミュニケーション力	・他者の話を聞き、気持ちを理解し、情報を収集したり発信したりする力 ・特に「聞く、話す、関わる」の３つを視点とする。
３　自尊感情	・自分を否定するのではなく肯定的に認め、自分らしさに自信を持ち、自分を価値あるものとして思えるようになること ・特に意欲・自己実現、自己肯定感を視点とする。
４　セルフコントロール力	・自分の感情や欲望をコントロールする力 ・特に自己抑制、根気強さを視点とする。

（３）日野町保小中一貫教育推進委員会での取組



前掲した保小中一貫教育を推進していくために、保育所、学校、教育委員会事務局で、保小中一貫教育推進委員会を組織しています。そこに、５つの部会と４つ程度の連絡会を設け、事業を推進しています。

保小連携については、保小・小小連携推進部会が中心となって事業を推進しており、平成２９年度には、「日野町保小連携推進計画（保小連携プログラム）」を、部会で協議を重ね改定しました。

平成２９年度　保小・小小連携推進部会活動計画

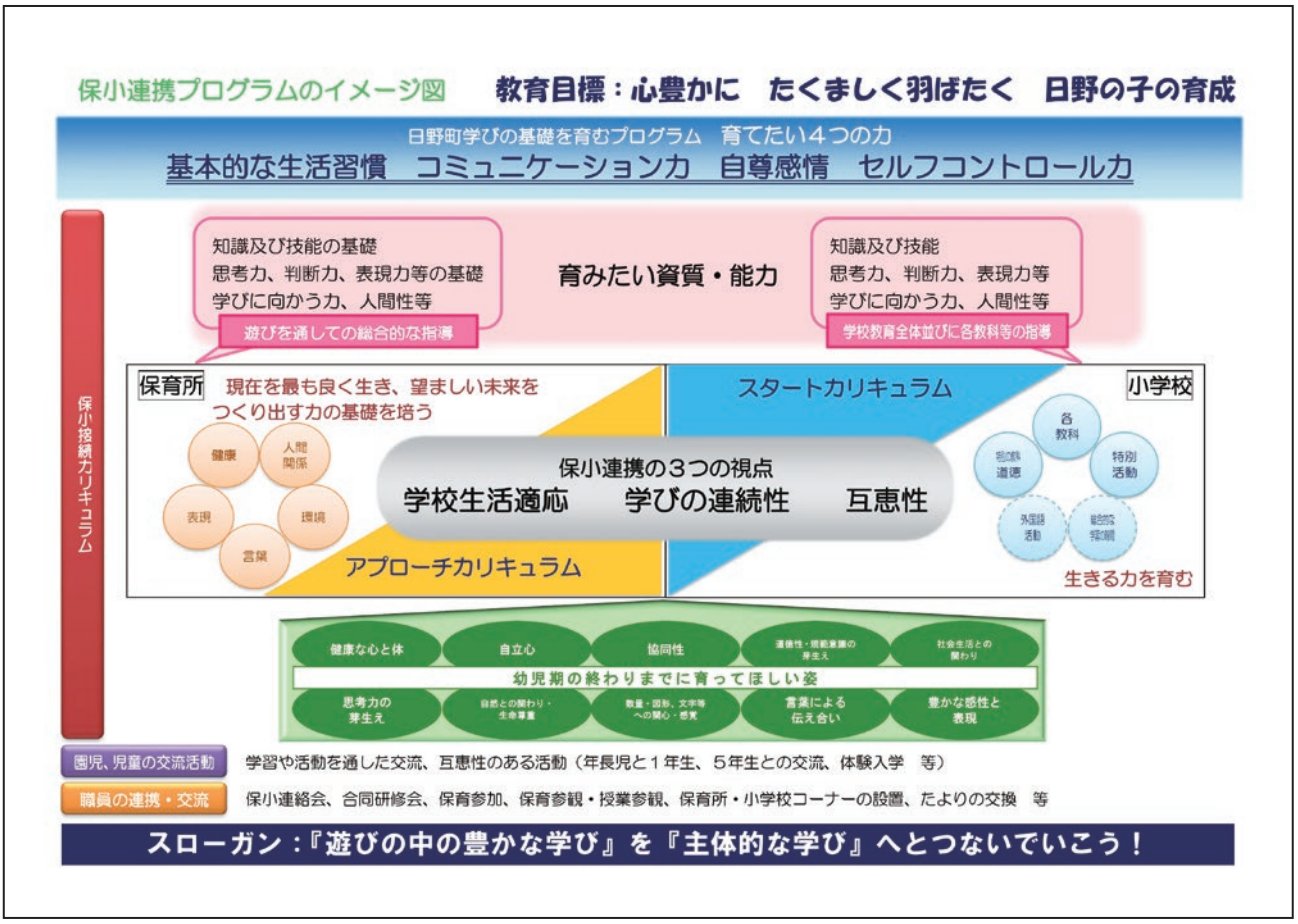
１　本年度の取組

	取組内容	教育振興基本計画 取組方策・内容	年度末到達目標（値）
(1)	保小交流会、保小連絡会、保育参加の実施と改善	２－６（４）	目的を明確にし、年３回（各小３回、保６回）実施
(2)	小小連携事業（交流会等）の実施及び改善	２－６（５）	各校の実態を考慮して内容を検討し、各学年で実施
(3)	小小合同授業研究会の実施	２－７ （１）（２）	年２回実施 9/29、10/20
(4)	保小接続カリキュラムの活用と見直し	２－６（４）	実践記録を追加するなど改訂版の発行 （２月末）

人　を　つ　な　ぐ

（１）日野町保小連携推進計画（保小連携プログラム）

日野町保小連携推進計画には、**「保小接続カリキュラム」「園児、児童の交流活動」「職員の連携・交流」**の３つを連携の方法として示しました。



（２）園児、児童の交流活動

交流活動により、園児にとっては、小学校生活を知り、期待を寄せたり自分の近い将来を見通したりできるようになることが期待されます。一方、児童にとっては、園児に伝わるような言葉使いやかかわりを工夫するなどの活動を通して、思いやりの心を育んだり、自分の成長に気付いたりすることが期待されます。

園児と児童が一緒に活動し、双方にとって意義のある交流活動となるようにするとともに、継続的に取り組み、交流が深まるようにすることが大切です。そのために、相互のねらいに対応した活動となるよう指導計画を作成したり、教材研究を深めたりするなど、事前事後の打合せの充実を図っています。

また、園児、児童の長期的な発達の見通しや指導については、担当者、担当学年だけではなく、全職員で共通理解を図りながら取り組んでいます。

《年長児と小学校５年生の交流活動》

実施時期	２学期
ねらい	年長児：５年生と交流する中で、小学校生活の雰囲気を知り、５年生への憧れや就学への期待感を高める。 ５年生：年長児と交流することにより、相手意識をもって異年齢の友だちと接し親しくなる。年少者とふれあうよさ・大切さに気づき、学校生活・家庭生活に生かす。
活動内容	・学習成果の発表　・ゲーム
評　価	年長児：ペアになった５年生との会話や活動を楽しみ、小学生への親しみや憧れを感じ、就学への期待感を高めている。 ５年生：年長児の思いを聞きながら相手意識を持ってかかわり、安全に、お互い心地よい活動になるように交流している。
保育課程への位置づけ	小学校生活への希望を持ち、卒園、入学に向けての意欲を高める。
教育課程への位置づけ	学級活動「保育園児と交流しよう」（１）－ウ
接続カリキュラムとの関連	年長児：活動への参加（学びの連続性・互恵性）
職員の連携・交流との関連	小学校、保育所がそれぞれの交流のねらいに即して、普段の生活の様子を情報交換し合い、お互いのつながりが深まるように事前の打合せを行う。

（３）職員の連携・交流

保育士と教職員が連携、交流を図り、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の共有、園児、児童の実態、教育内容や指導方法について相互理解を深めることにより、円滑な接続に向けた指導方法等の改善ができます。また、義務教育修了までの長期的な視点から、園児、児童の発達の段階に応じてそれぞれの機関が果たすべき役割について再認識できます。

園児、児童の発達や学びの連続性を確保するためには、相互の教育内容や指導方法の違いと共通点、園児や児童の実態について理解を深めることが必要です。そのために、保育士と教職員の意見交換、合同の研究会や研修会、保育参観や授業参観、保育参加等、相互理解の機会を設けています。

顔の見える関係づくり

ひのっこ保育所コーナー

～各所、校に保小連携の掲示スペース～

保育参加

小学校教職員の保育所訪問研修

～保育所での活動と幼児理解～

キーパーソンを中心とした連携から、全教職員がつながる連携へ発展しています。

教　育　を　つ　な　ぐ

（1）保小接続カリキュラム（アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム）

保小接続カリキュラムを作成することにより、幼児期の教育と小学校教育とのつながりが明確になります。具体的な活動として、年長児の時期には、小学校への入学を念頭に、話を聞いたり、行動したり、きまりを守ったりすることができるように指導を重ねるとともに、保育所の生活の中で協同して遊ぶ経験を多く取り入れるようにしています。一方、小学校では、保育所で遊びや生活を通じて学んだことを生かす活動を仕組んでいます。また、低学年では具体的な体験を重視した活動を取り入れたり、生活科を中心とした合科的な指導を行ったりしています。

さらに、保小接続カリキュラムを踏まえ、幼児期の教育と小学校教育とが円滑に接続できるよう、保育所、小学校において、**保育課程・教育課程全体の編成や指導方法を工夫**しています。

（2）保小連携の３つの視点

「遊びの中の豊かな学び」を「主体的な学び」へとつなぐために、３つの視点を設定し、保小接続カリキュラムを作成しています。

○**学校生活適応**…生活習慣・運動・健康・体力、活動の広がりへ
○**学びの連続性**…遊びの中の豊かな学びから主体的な学び、確かな学力へ
○**互恵性**…人との関わり、協同性の育ち、豊かな人間性の育成

（3）アプローチカリキュラム

就学前のこの時期に大切なのは、幼児期に育みたい資質・能力と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえ、一人一人にその力が育っているかを確かめながら、学校教育へと円滑につないでいくことです。

＜アプローチカリキュラム実施の留意点＞

① 小学校で学習することを前倒しで実施するのではなく、「やりたい」「伝えたい」という気持ちから、小学校で学習するような内容について「知りたい」「使いたい」という気持ちが高まるように指導を工夫する。
② 「遊びきる」活動を充実させることを通して、セルフコントロール力を養う。
③ 内容、工夫や配慮及び実践時の園児の様子について、保護者に伝える。

保育所の学びが小学校教育の各教科の内容へゆるやかにつながり、誰が担任しても学習展開できる持続可能な内容が記されています。

（4）スタートカリキュラム

入学当初のこの時期に大切なことは、遊びの中から獲得した豊かな学びを小学校での主体的な学びへと連続させることです。

＜スタートカリキュラム実施の留意点＞

① 保育所での経験や学びを生かして、楽しさや喜びを味わうことができるように計画・実践して、次第に学校生活や学習に適応していくように工夫する。
② 指導の効果を高めるために、合科的・関連的な指導ができるように編成する。
③ 体験的な活動を多く取り入れ、環境や経験から学ぶひのっこ保育所での学び方を生かす。
④ 予定、工夫や配慮及び実践時の児童の様子について、保護者に伝える。

保小接続カリキュラムの具体例

アプローチカリキュラム

1月

活動名	ねらい	活動量	動かし方	主な内容	環境・機械	連携に向けた保育士の援助（3つの視点との関連）	関連する行事
自分の身を守ろう	・色々な活動や体験を通して、危険なことから身を守り、安全な行動がとれる。健 ・自分でよいことと悪いことを判断し、危険のないよう行動する。志	アエ	1,4	・安全カルタを楽しむ。 ・火災の時の避難の仕方を練習する。	・交通安全カルタを カルタ置き場に設置する。	・必要に応じてクラス全体で考え、安全意識を高め自分の身を守るとともに、まわりの安全をも考えて行動できるようにしていく。A C	火災避難訓練
寒さに負けない丈夫な体をつくろう	・寒さに負けず積極的に体を動かし、体力・運動能力を高める。健 体 ・自分の体に関心を持ち、健康な生活に必要な習慣や態度を身につける。健	ア	1	・戸外遊びや、マラソンを楽しむ。 ・手洗いうがいの練習をする。	・遊戯室や園庭にラインを準備する。 ・「早寝、早起き、朝ご飯、はき物そろえ」の大切さについて話をする。 ・冬の感染症について通知する。	・体を動かす遊びを工夫し楽しさを味わえるような時間設定をする。B ・生活習慣を整え、生活リズムの大切さを分かりやすく伝えていきながら、進んで行う姿はほめてクラス全体に伝えていく。A ・ねらいによるうがいの方法の違いを理解できるように、その都度知らせていく。A	
友だちと一緒に正月あそびを楽しもう	・友達の中で自分の思いを主張したり、認め合ったりしながら遊びや活動を発展させる。志 健 ・正月遊びを十分に楽しむ中で、用具を大切にしたり決まりの大切さに気づき守ろうとしたりする。志	クエ	234	・遊びや活動の中で感想を発表したり相談したり話し合ったりする。 ・正月遊びを楽しむ。	・感想を発表したり、相談したり話し合ったりする場を設定する。 ・大縄跳び、羽織 ・カルタ、すごろく、こま、けん玉等正月の遊び道具を準備する。	・一人一人が思いを出し合い、良さを認め合って遊びや活動が進められるよう、必要に応じて助言したりヒントを出したりする。A B ・率先して遊ぶとともに、冬休み中に正月遊びを体験した子供の姿も引き出し、他の子どもへの刺激にしていく。B C	大縄跳び披露 紙芝居発表会（保人会） カルタ取り会
地域の人と一緒に楽しもう	・地域の様々な人と関わり親しみを持つ。関	オ	2,3	・高校生との交流を楽しんだり、地域の人から餅つきのやり方を教わったりする。		・子どもの気持ちに共感しつつ、喜びや悲しみを感じる場面やその表現に注意を払い、思いやりの気持ちを育てていく。A	餅つき大会
文字・数・量図形を使ったあそびを楽しもう	・毎日の生活の中で文字・数量・図形等への関心を深め、それらを使った遊びや生活を楽しもう。関 健	カク	1	・時計を見ながら時間を意識して生活する。 ・形作り・パズル	・時計の模型や数とひらがなの標本等をいつでも見られるところに設置する。	・一人一人の理解に応じ、必要な読み方や意味を分かりやすく伝えていく。B	数字の歌
冬の自然を感じ行事を楽しもう	・冬の自然や季節の行事への関心を深め、冬らしさを感じ取る。関	キ	3	・以上児による カルタ取り会や餅つき会、七草粥等の行事を楽しむ。 ・冬らしい事象を見つけることを楽しむ。	・様々な機会に、季節や行事に対する話題を提示する。 ・散歩や戸外遊びの時間を確保する。	・話の中に伝統行事の話題を取り入れ、関心を持たせるようにする。B ・戸外遊び等で自然の変化に気付かせていく。B C ・見つけた時の喜び、触った感触、集めた楽しさ、調べた発見等、その日その場のタイミングを逃さず取り入れていく。B	たきび、お正月、雑等 季節の歌 カルタ取り会 餅つき会 七草粥
言葉や文字で伝えよう	・言葉や文字で伝える楽しさを味わう。関 ・考えや思いを言葉でやり取りする。志 関	ケ	2,3	・したことや感じたことを話して伝え合ったり、文字に書いて伝えたりすることを楽しむ。	・ひらがな標本や表、カード等を用意し、いつでも見られるように設置しておく。 ・活動の後や終わりの会等で思いを伝え合う場を設定する。	・話題や考えを整理して、相手に分かるように話すにはどうすればよいかを一緒に考え、必要に応じ適切な言葉を補っていく。A B	紙芝居・絵本作り、紹介
絵本を楽しもう	・絵本を見たり聞いたりして想像する楽しさを味わう。関 健	ケ	2,3	・お話会や可書・保育士による読み聞かせを楽しむ。	・読み聞かせを受けた本を室内や園内に掲示し、何度も手に取れるコーナーを設置する。	・話の内容を吟味して、興味を持って物語の世界が楽しめるようにしていく。B	お話会
歌って踊って楽しもう	・歌を歌ったり好きな曲を聴いたりして音楽の楽しさを味わう。関 健	コ	3	・歌やダンスの会で音楽の楽しさや体を使った表現を楽しむ。		・一緒に歌ったり踊ったりするとともに、聞いた曲や聞かせたい曲を食事の合間に流すなど等し、音楽に親しむ機会を多く設ける。B C	歌の会 ダンスの会
作って楽しもう	・色々な素材を用い、試したり工夫して作ったりすることを楽しむ。関 健	コ	3	・お正月休みにしたことの絵をかいて楽しむ。	・色紙や画用紙の切れ端、様々なペン等を手にとれるように準備しておく。	・道具の使い方、片付け方等、必要に応じて知らせていく。A B	

☆保育内容の５領域　【健康…健　人間関係…人　環境…環　言葉…言　表現…表】
☆幼児期の終わりまでに育ってほしい姿【健康な心と体…ア　自立心…イ　協同性…ウ　道徳性・規範意識の芽生え…エ　社会生活との関わり…オ　思考力の芽生え…カ　自然との関わり・生命尊重…キ　数量等への関心・感覚…ク　言葉による伝え合い…ケ　豊かな感性と表現…コ】
☆日野町の基礎を育むプログラム（育てたい４つの力）【基本的な生活習慣…１　コミュニケーション力…２　自尊感情…３　セルフコントロール力…４】
☆保小連携３つの視点　【学校生活適応…A　学びの連続性…B　互恵性…C】

スタートカリキュラム

時間	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
8:20～9:30 うきうきタイム		あいさつ、健康観察、１日の予定、朝の準備（くつぶこ、ロッカー、机）、学習に入る前の心の準備（チャイム、トイレ）　イ１A ねらい：担任と心を通わせながらも落ち着かせ、学級で安心感を持って学習に向かえるようにする。			
		いちねんせいになったよ　イ１A(生1) ・はじめと終わりのあいさつ ・名前を言う ・静かに待つ ・体操服の着替え方	うたでなかよしになろうコ２C（音1/3） ・歌・手遊び歌 みんなのせかいケ１B(国2/3) ・読み聞かせ	うたでなかよしになろうコ２C（音1/3） ・歌・手遊び歌 はきはきあいさつケ１B(国2/3) ・あいさつ ・なぞなぞ ・読み聞かせ	うたでなかよしになろうコ２C（音1/3） ・歌・手遊び歌・校歌 ほんがたくさんケ２B(国2/3) ・ことばあそび ・読み聞かせ
9:35～12:30 ２～４校時 体験を含み弾力的な扱いをする	入学式（行事１） ６年生とあそぼうオ２３A C(学2/3) いちねんせいになったよオ１４A (生5年)	身体測定ア１A C（行事1）	せんせいあのねコ３A C(国1) ・すきなものなあに ・すきなものを教えてあげる (絵を見せながら発表) ・てるてる坊主作り	うたでなかよしになろうコ２C（音1/3） ・歌・手遊び歌 みんなのせかいケ１２B(国2/3) ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方、発表の仕方	なかよくなりたいな（よろしくね・いちねんせいになったよ）ケ２A C（国1/3 生2/3） ・名前を書いてみよう ・自己紹介の練習
		うたでなかよしになろうコ２C（音2/3） ・歌・手遊び歌 みんなのせかいケ１B（国1/3） ・あいさつ ・いすの座り方 ・返事 ・教科書、筆箱の使い方	どっちがおおいかなク１B(算1) ・算数セットの使い方 ・ゲーム	みんなであそぼうアウ１４B C(体1) ・体育館の使い方 ・鬼ごっこ ・ころがしドッジボール	みんなであそぼうアウ１４B C(体1) ・体育館の使い方 ・鬼ごっこ ・タイヤ飛び
		いちねんせいになったよオ１４A (生1/2) ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴箱、傘立ての使い方の確認 ・登下校のルール たのしいきゅうしょくイウ１A C(学3) ・上級生の準備を見学 ・歯磨きの仕方・休憩時間の過ごし方の確認	しせいともちかたク３B(書2/3) ・運筆練習 たのしいきゅうしょくイウ１A C(学3) ・給食の準備・食べ方・片付け（手伝いあり）	しせいともちかたク３B(書2/3) ・鉛筆の持ち方 ・字をかく姿勢 ・運筆練習 たのしいきゅうしょくイウ１A C(学3) ・給食の準備・食べ方・片付け（手伝いあり）	いちねんせいになったよオ１４A (生2/3) たのしいきゅうしょくイウ１A C(学3) ・給食の準備・食べ方・片付け（手伝いあり）
13:30～14:45 掃除 ５校時 帰りの準備 終わりの会		そうじのしかたをかんがえようイウ４A (学1/2) いちねんせいになったよケ３A (生1/2) ・絵本の読み聞かせ 帰りの準備・終わりの会	いちねんせいになったよオ１４A (生1) ・掃除の仕方を見学 ・トイレ、水道の使い方 ・ロッカーや机の中の整頓等 帰りの準備・終わりの会	帰りの準備・おわりの会 交通安全教室エ４A（行事１） 集団下校	そうじのしかたをかんがえようイウ４A（学1/2） ・教室掃除の仕方 いちねんせいになったよオ１４A (生1/2) 帰りの準備・終わりの会
大切にしたいこと	○楽しみながら小学校生活に慣れるような活動を行う。 ・保育所の頃の活動に関連づけて、うきうきタイムを設定する。 （歌や遊び、ことば遊び、本の読み聞かせなど時間帯で取り組む。）				

☆幼児期の終わりまでに育ってほしい姿【健康な心と体…ア　自立心…イ　協同性…ウ　道徳性・規範意識の芽生え…エ　社会生活との関わり…オ　思考力の芽生え…カ　自然との関わり・生命尊重…キ　数量等への関心・感覚…ク　言葉による伝え合い…ケ　豊かな感性と表現…コ】
☆日野町の基礎を育むプログラム（育てたい４つの力）【基本的な生活習慣…１　コミュニケーション力…２　自尊感情…３　セルフコントロール力…４】
☆保小連携３つの視点　【学校生活適応…A　学びの連続性…B　互恵性…C】

これらのカリキュラムは、日野町ＨＰの保小中一貫教育のページに掲載しています。

http://www.town.hino.tottori.jp/2420.htm

保小連携推進計画にもとづく実践

『遊びの中の豊かな学び』から『主体的な学び』へ

【担当者より】

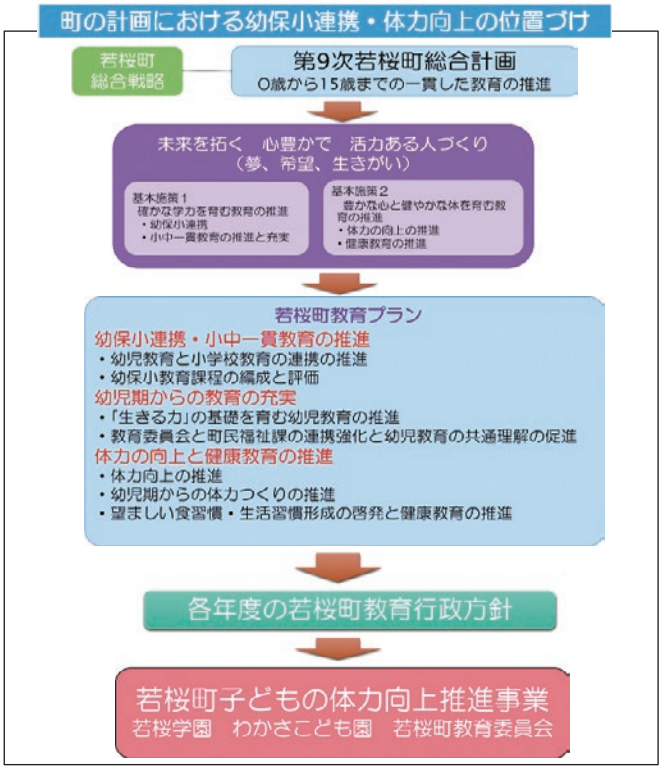
「学びの基礎を育むプログラム」は、保小連携の充実こそが、一人一人の子どものよさを伸ばし、確実に力をつけていくための土台であるという、平成１７年当時の現場の教職員の強い思いを出発点として作成されました。その後、町として組織を立ち上げ、推進計画のもと、軌道に乗った推進体制が確立しました。

そして、この推進体制を息づいたものにしていくのが、一人一人の教職員です。所長、校長のリーダーシップのもと、子どもの確かな成長に資する実践を積み上げていきたいと思います。

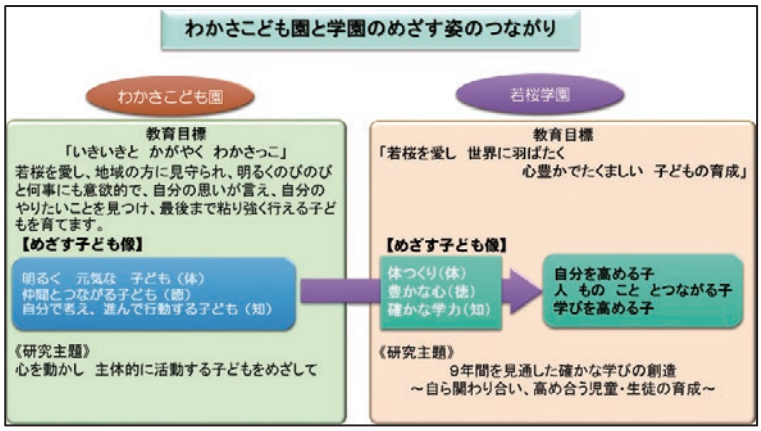
〈実践３〉　若　桜　町

０歳から１５歳までの一貫した教育の推進を図るため、幼保小連携について町の各計画に位置付けるとともに、連携組織（連絡会、一貫教育協議会）を中心に体力向上に重点をおいて幼保小連携の取組を展開しています。

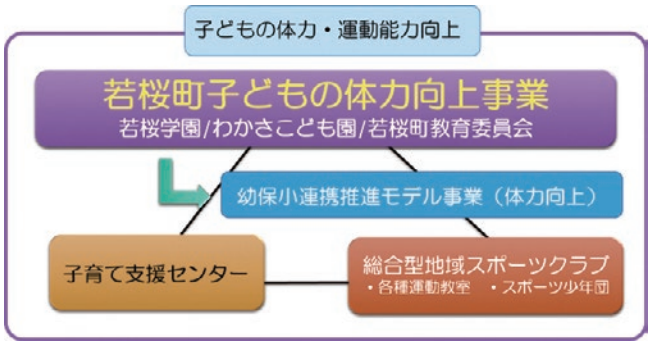
組　織　を　つ　な　ぐ



町の総合戦略・総合計画に基づき、体力向上に重点をおいた取組を町全体で展開しています。



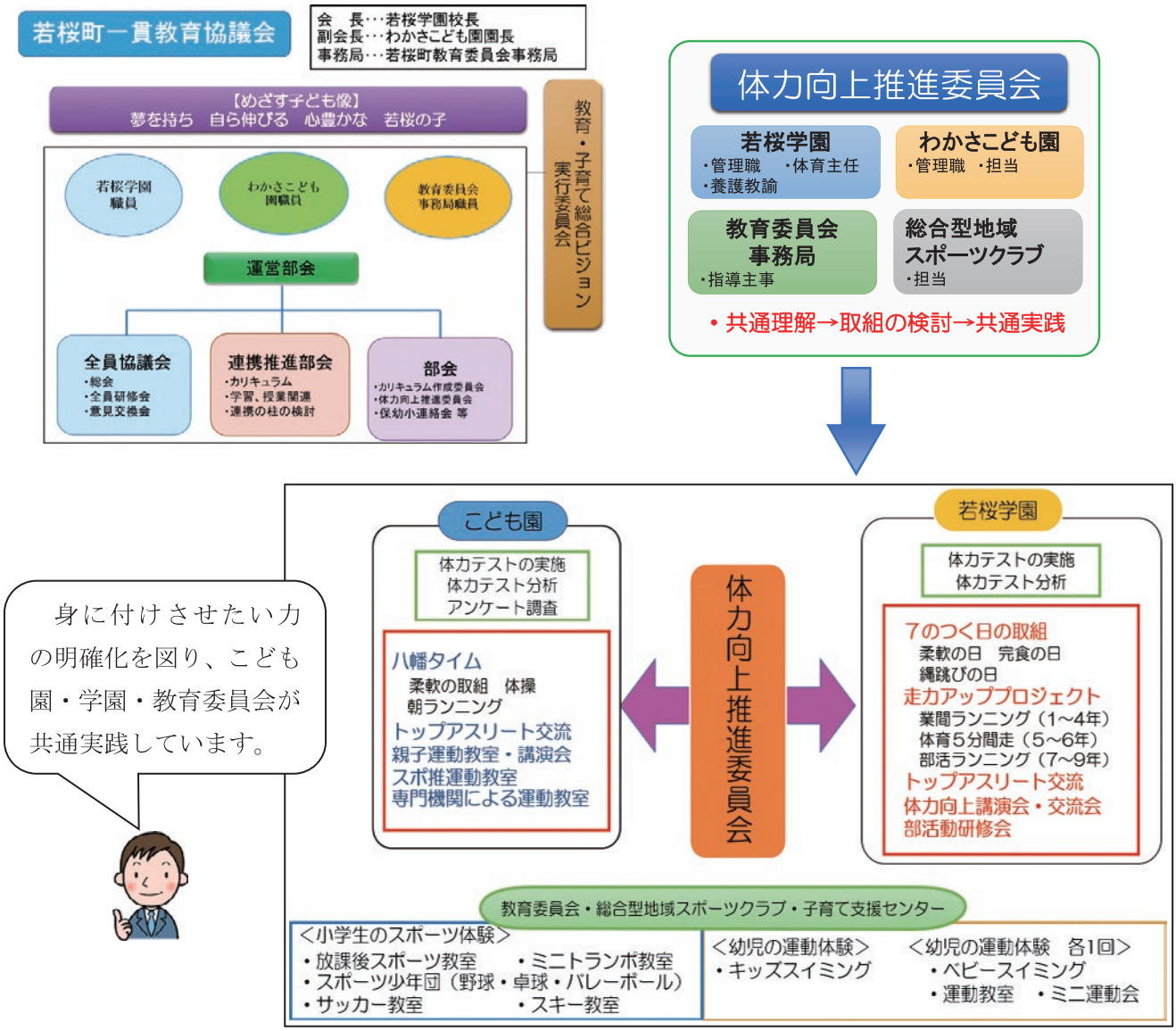
教育目標や「めざす子ども像」についても共通理解を図り、つながりを持たせて、同じ方向で実践できるようにしています。



「若桜町子どもの体力向上事業」を中心に、総合型地域スポーツクラブや子育て支援センター等と連携して、幼児期からの体力向上の取組を推進しています。

人　を　つ　な　ぐ

各組織で共通理解を図り、連携した取組を進めています。また、一貫教育協議会において「めざす子ども像」を設定し、その実現に向けて計画を立て、実践しています。



小学校教諭の保育体験研修

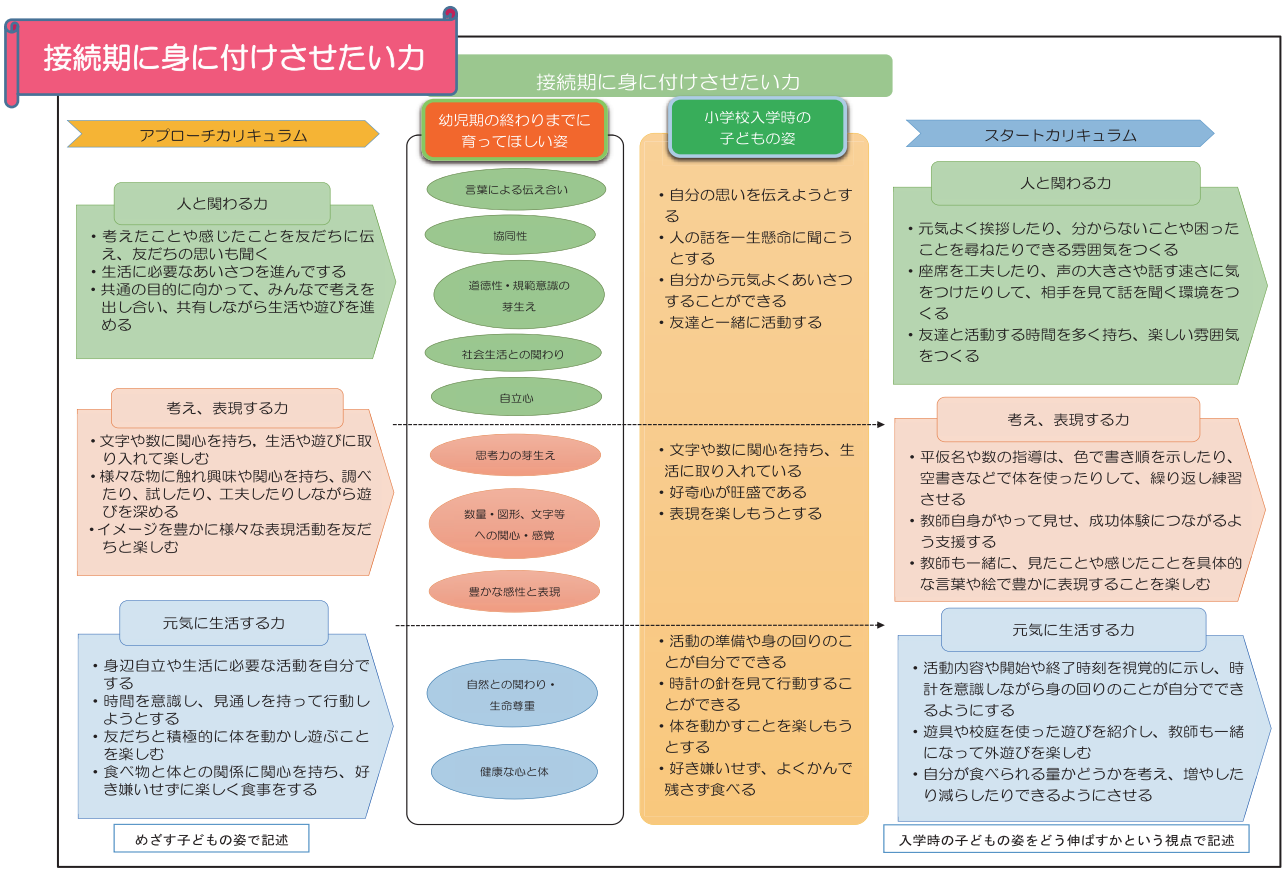
一貫教育協議会全員研修会

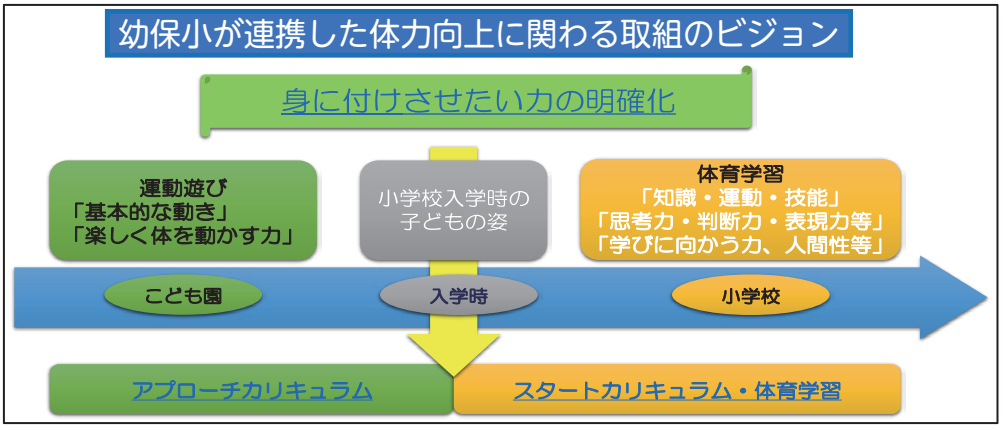
年長児と１年生の交流

学園、こども園共通の柔軟の取組

教　育　を　つ　な　ぐ

接続期における身に付けさせたい力を明確にするとともに、その力がどの場面で育てられるのかを年間指導計画等に示しています。





接続期に身に付けさせたい力【体力向上】

接続期に身に付けさせたい力（体力向上）

アプローチカリキュラム

運動遊びで身に付けさせたい（経験させたい）力

【基本的な動き】《いろいろな運動遊びを経験する》

〔知識・運動・技能〕

① バランスをとる
- バランスをとりながら回ったり立ったり座ったりする
- 素早く立ったり座ったりする

② 体を移動する
- いろいろな方向に歩いたり走ったり、跳んだりする
- 少し長い距離を走る

③ 用具を使って遊ぶ
- 縄跳びで連続跳びをする
- 投げ上げたボールを取る
- しっかりとボールを握り、遠くに向かって投げる
- ボールを蹴りながら走る

④ 力試し
- 人を押す、引く等で力を出したり緩めたりする

⑤ 固定遊具を使って遊ぶ
- バランスをとりながら平均台を渡る
- のぼり棒を上ったり下りたりする

⑥ マットで遊ぶ
- マットで回ったり、転がったりする

⑦ 鉄棒を使って遊ぶ
- 鉄棒に跳び上がったり跳び下りたり、ぶら下がったりする
- 手や腹で支持したり、揺れたりする

⑧ 跳び箱を使って遊ぶ
- 跳び箱に乗ったり、飛び降りたり、またぎ越したりする

⑨ いろいろな方向に走る
- 後ろに走ったり、ジグザグに走ったりする

⑩ 様々にジャンプする
- ケンパー跳び遊びをする
- 箱やゴムの上をいろいろな方向にジャンプする

⑪ 水の中で遊ぶ
- 水の中を移動したり、潜ったり浮いたりする

⑫ 易しいゲーム
- 簡単なサッカー遊びや陣を取ったりするゲームをする

⑬ 鬼ごっこ
- 鬼遊びで、走ったり追いかけたりする

⑭ いろいろなものになりきって動く
- 忍者などいろいろなものになりきって動く

⑮ 軽快なリズムに乗って踊る
- リズムに合わせて踊る

⑯ 自然との関わりの深い遊び
- 自然の中での遊びを楽しむ（川遊び、雪遊び、スキー等）

【楽しく体を動かす】

〔思考力・判断力・表現力等〕〔学びに向かう力、人間力等〕

⑰ 体を動かして遊ぶことが好き
⑱ 決まりを守って遊ぶ
⑲ 友達と仲良く遊ぶ
⑳ 進んで運動遊びを楽しむ
㉑ いろいろな遊び方を考えて遊ぶ

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- 言葉による伝え合い
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わ
- 自立心
- 思考力の芽生え
- 数量・図形、文字等への関心・感覚
- 豊かな感性と表現
- 自然との関わり・生命尊重
- 健康な心と体

小学校入学時の子どもの姿

【基本的な動きの獲得】
- 多様な動きを通して、体のバランスをとる動き体を移動する動き用具を操作する動きがより滑らかにできる。

【楽しく体を動かす】
- 自発的に体を動かす遊びを楽しむ
- 友達と一緒に遊び方やルールを考え、決まりを守って遊ぶ

スタートカリキュラム・体育学習

体育学習で身に付けたい力

【知識・運動・技能】

〔体つくりの運動遊び〕
- バランスをとる運動遊び
  回る　寝転ぶ　起きる　座る　立つ
- 体を移動する運動遊び
  這う　歩く　走る　跳ぶ　はねる　一定の早さでのかけ足
- 用具を操作する運動遊び
  つかむ　持つ　降ろす　回す　転がす　くぐる　運ぶ
  投げる　捕る　跳ぶ　用具に乗る
- 力試しの運動遊び
  人を押す　引く　運ぶ　支える

〔機械・器具を使っての運動遊び〕
- 固定遊具を使った運動遊び
  登り下り　懸垂移行　渡り歩き
- マットを使った運動遊び
  いろいろな方向への転がり　手で支える体の保持・回転
- 鉄棒を使った運動遊び
  支持してのゆれ　上がり下り　ぶら下がり　易しい回転
- 跳び箱を使った運動遊び
  跳び乗り　跳び下り　またぎ乗り　またぎ降り

〔走・跳の運動遊び〕
- 走の運動遊び
  いろいろな方向に走る　低い障害物を越える
- 跳の運動遊び
  前方や上方に跳ぶ　連続して跳ぶ

〔水遊び〕
- 水の中を移動する運動遊び
  いろいろな姿勢で歩く　自由に方向や速さを変えて走る
- もぐる・浮く運動遊び
  息を止める　吐く　もぐる　浮く

〔ゲーム〕
- ボールゲーム
  簡単なボール操作と攻め、守りで易しいゲーム
- 鬼遊び
  逃げる　追いかける　陣を取り合う

〔表現リズム遊び〕
- 表現遊び
  身近な題材の特徴をとらえ全身で踊る
- リズム遊び
  軽快なリズムに乗って踊る

【思考力・判断力・表現力等】
- 運動遊びの仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える

【学び向かう力、人間性等】
- 運動遊びに進んで取り組み、きまりを守って仲良く安全に気をつけて運動する。

接続期に身に付けさせたい力【体力向上】と体育科年計とのつながり

アプローチカリキュラムで身に付けさせたい力とスタート時の第１学年体育科年間指導計画とのつながり

若桜町教育委員会

アプローチカリキュラム

基本的な動き

⑦鉄棒を使って遊ぶ
・鉄棒に跳び上がったり跳び下りたり、ぶら下がったりする

楽しく体を動かす

⑰体を動かして遊ぶことがすき
⑱決まりを守って遊ぶ
⑲友だちと仲良く遊ぶ
⑳進んで運動遊びを楽しむ
㉑いろいろな遊び方を考えて遊ぶ

平成29年度　第1学年　体育科　年間指導計画（4月）

月	単元・題名・時間数	ねらい	学習活動・内容	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・知識・理解
4・5	**（機械・器具を使っての運動遊び）てつぼうあそび④**	○友だちと仲良く鉄棒遊びをする。	（オリエンテーション） ①学習のねらいと進め方を知る。 ②器具・用具等の使い方について知る。 ③きまり、学習の場、安全面について知る。 ④「やってみよう」を行う。 ⑤学習のまとめの仕方を知る。 （2時） ①「やってみよう」を行う。 ②活動①の鉄棒遊びを行う。 ③できるようになった鉄棒遊びを友達と見せ合う。 ④本時のまとめをする。 （3・4時） ①活動②の鉄棒遊びを行う。 ②できるようになった鉄棒遊びを友達と見せ合う。 ③本時（単元）のまとめをする。	○鉄棒で、積極的に遊ぼうとする。 ○順番を守って遊ぶ。 ○遊具や遊具の周りの安全を確かめて遊ぶ。 ○自分	○鉄棒での遊び方がわかり、遊び方の工夫ができる。	○鉄棒を使って、手や腹、膝で支持したり、ぶら下がったり、揺れたり、跳び上がりや跳び下りをしたり、易しい回転な

体育科第１学年の年間指導計画とのつながりを踏まえて接続期に身に付けさせたい力（体力向上）を設定しています。

アプローチカリキュラムへの位置付け

	９月→１２月　　接続期　（５才児後半～小学１年生）	１月→３月
人と関わる力	・自分の考えと相手の考えの違いに気付き、折り合いをつけて遊びを進めようとする。 ・友だちと言葉のやりとりを十分にし、思いを伝え合う。 ・体験したり、感じたりした事を様々な言葉で表現することを楽しむ。 ・友だちとの関わりの中で相手の気持ちに気付き、受け入れる。 **・遊びの進め方を友だちと話し合い、協力したり決まりを守ったりして遊びに取り組む。**	・自分の感じた事や考えた事を友だちに分かるように伝えるとともに友だちの話も聞き、受け止める。 ・言葉で伝え合う喜びや仲間と気持ちがつながり合う喜びを味わう。 ・考えた事や感じた事を相手に分かるように話す。また、相手の話の内容を理解し注意して聞く。 ・失敗してもあきらめないで遊びを広げたり深めたりする。 ・クラスやグループの中で役割を持ち目的を持って遊びや生活を進める。 **・自分たちで決めたルールに従って、友だちと楽しむ。**
考え、表現する力	・遊びに必要な物を適切な材料を考えて使い、工夫して作ったり飾ったりすることを楽しむ。 ・自然物を使って様々な遊びに取り組み、その感触や特徴などに気付いたり、調べたりする。 ・絵本や物語などに親しみ興味を持って聞き、想像を広げて楽しむ。 **・いろいろな運動遊びに進んで取り組む。**	・材料や用具を目的に合わせて選び、のびのびと表現し作品を大切に扱うと友だちの表現にも関心を持つ。 ・感じた事、想像したこと、体験した事等を言葉や動き、作品を通して表現する。 ・思った事や感じた事を絵や言葉などで表現する。 ・色々な材料を自分のイメージに合わせて見立て、工夫して使う。 ・身近な環境に自ら関わり考えたり、試したり工夫したりして遊ぶ。 ・日常生活で数量、図形、文字、時間などに関心を持ち生活や遊びの中で使ってみて楽しむ。 **・友だちと運動遊びの行い方がより楽しくなるよう工夫する。**
元気に生活する力	**・戸外で、進んで体を動かして遊ぶことを楽しむ。** **・友だちと積極的に体を動かす遊びに取り組み、競い合ったりルールを作ってみんなで遊んだりすることを楽しむ。** **・自分なりの目当てを持ち、全身を使って多様な運動遊びを楽しむ。** ・園生活の流れを予測し、見通しを持って行動しようとする。 **・ルールの必要性や危険なことに気付いて、意識して行動しようとする。** ・食べ物と健康の関係を知り、進んで食べようとする。 ・栽培物を収穫したり調理して食べる喜びを味わう。	**・寒さに負けず十分に体を動かし、色々な運動遊びに取り組む。** **・用具の特長を生かして色々な運動遊びを楽しむ。** **・危険な遊び方や場所に気付き、自分で判断して安全に行動しようとする。** ・時間を意識しながら生活に見通しを持ち、場や状況に応じた行動をとる。 ・小学校交流などを通して就学への期待を膨らませ、意欲的に生活をする。 ・生活に必要な挨拶や正しい言葉使いを進んでしようとする。 ・食材や食事を用意してくれる人へ感謝し、命の大切さに気付く。 ・給食時間内に残さず食べる。

重点指導項目等を年間指導計画に位置付け、他の活動との関連を図るなど、今ある指導計画を生かしたカリキュラム・マネジメントを行っています。

年間指導計画への位置付け

わかさこども園

H29 5歳児年間指導計画　　（太字…体力向上に関わるもの）

期	1期（4～5月）	2期（6～8月）	3期（9～12月）	4期（1～3月）
目標	年長うれしいな 進級の喜びと、年長としての自覚を持つ	元気いっぱい頑張る 自分の目当てを持ち、他名スター医、挑戦したりする	みんなと遊びを広げよう 共通の目的に向かって友だちと力や心を合わせていく	自信を持って 自分の力を発揮し、主体的に自分達の遊びや生活を進める
幼児の経験する内容の道筋	新しい生活に慣れる ・身の回りの物の始末をする ・園生活の流れを知る **好きな遊びを見つけて遊ぶ⑪⑳** **・戸外遊び（固定遊具）①②⑦⑤** ・コーナー遊び（描く・作る） **・運動遊びを楽しむ⑨⑩⑬** 春の自然を感じる ・お花見をする ・散歩に出かける ・草花で遊ぶ はたけ作り じゃがいも植え 夏野菜・さつまいも苗植え 田植え たまねぎ・じゃがいも 夏野菜収穫	暑さに負けず元気に過ごそう ・健康習慣を身につける まつり太鼓 夕涼み会⑰⑳ ・必要なものの準備をする ・みんなで太鼓や**踊りをする⑮** **友達と一緒に遊ぶ⑪⑱⑲⑳** **・プール・水遊び⑪** **・室内外での集団遊び⑫⑬** 夏の自然や動植物に親しみを持つ ・砂・泥・水でダイナミックに遊ぶ ・生き物に興味や関心を持ち、調べたりする **・川遊びをする（泳ぐ）⑪⑰⑱⑳** 稲刈り	**運動遊びをしよう** **①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑭⑱⑲⑳㉑** **・戸外で体を動かして、いろいろなことにチャレンジする** **・みんなで協力して必要なものの準備や競技の練習をする** 運動会 遊びを友達と一緒に工夫し進める ・ごっこ遊びや**ルールのある遊びを楽しむ⑫⑬⑱㉑** ・異年齢児との関わりを持つ **・思いや感じたことを様々な方法で表現する⑦㉑** 秋を楽しもう ・自然物を使って遊ぶ。操作する。描く。表現する。 収穫祭 ・米・野菜でクッキングを楽しむ 秋野菜植え・さつまいも収穫 タマネギ植え 秋野菜の収穫 畑の冬支度をする	寒さに負けず元気に過ごそう ・手洗い・うがいの励行　・生活リズムの確立 お正月遊びをしよう （カルタ・こま・たこなど） 発表会をしよう ・共通の目的に向かって取り組む ・自信を持って自分の役割を果たす ・必要なものを自分たちで準備する ・友だちと心を合わせて表現することを楽しむ **冬の遊びを楽しむ⑲⑳㉑** **・雪遊び　そり遠足など⑯** 春の訪れを感じる 楽しかったこども園 ・卒園の思い出帳作りをする ・お別れ会　・体験入学
運動教室	**ボディーイメージをつける①** **基本的な動き①②** （早く動く ゆっくり動く 前後左右などの動き） **⑪⑳**	**走力向上②⑨** **器具を使った運動（鉄棒…逆さ感覚）⑦** **投げる力　跳ぶ力③⑩** **⑰⑲⑳**	**リズムで跳ぶ②⑩** **手と足がバラバラの動き→縄跳び③** **マット運動…倒立（手で支える・逆さになる）⑥** **⑱⑲㉑**	**跳び箱…支えて跳ぶ⑧** **総合的な運動①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑭** **⑱⑳㉑**
運動教室			**トップアスリート交流** **・サッカー遊び⑫⑱⑲㉑** **投げ投げランドで遊ぼう⑪⑲⑳** **・遠くまで投げる③**	
水泳教室	**水慣れ・水遊び・輪くぐり⑪⑰⑳**	**顔つけ・浮く・もぐる⑪⑰⑱⑳**	**けのび・バタ足⑪⑱⑳**	**ール⑪⑳**
八幡タイム	**八幡タイム（ランニング・体操・**			
環境構成及び援助	・年長になった喜びや実感がもてるように、子どもたちと共に生活の場を作っていくことを大切にしていく ・一人一人の心の動きや活動を見守り、安心して生活できるようにする ・自分たちで進んで自由に遊べるコーナーを設定し、時間も十分にとる ・自分の思いや感じたことを出し合える場を設定する ・身近な自然に親しみ、調べたり、遊びに取り入れて楽しむ場を設定する	・夏ならではの遊びが十分に行えるように、場の設定や子どもの健康に配慮していく ・夕涼み会に向けて、自らが取り組む活動を多くするとともに、一人一人が頑張って力を出せるような時間や場を設定する ・子ども一人一人の気持ちを十分に受け止め、仲立ちしていく中で友だちとの関わりが持てるようにしていく ・工夫したり試したりできるように、材料や準備、掲示の方法や場の環境を工夫する ・子どもの感性や発送を意慾や好奇心につなぐ	・力一杯体を動かし、い ・運動会に向けて、共 ・活動意慾の高まりと 切さに気づかせる ・身近な素材や自然を く姿を大切に見守り、 ・自分たちで遊びに必 も聞き、考えたり、工夫	
行事	入園式　自由参観日　家庭訪問 **親子遠足**　花祭り	参観日　歯科検診及び指導　七夕まつり **水泳教室**　笹まき作り　**夕涼み会**　社会見学	祖父 りんご狩り　参	
	身体測定　交通安全指導　災害避難訓練　誕生会（毎月実施）　園外保育（4～11月			
連携交流	若桜学園との交流（1年生　9年など　8年生職場体験）　老人施設との交流（あすなろ　ドリーミー）　未就園児との交流			

５歳児の年間指導計画の中の運動遊びや体力向上に係る内容について、色付けすることで、共通実践する内容が全教職員に伝わりやすくなります。

わかさこども園の取組

運動遊び

運動教室

トップアスリート交流

親子運動教室

八幡タイム

若桜学園の取組

業間ランニング

柔軟の日

課題であった柔軟性が高まり、運動好きの子どもが増えている等の成果があります。

トップアスリート教室

体力向上講演会

【担当者より】

一貫教育協議会を中心に、若桜学園とわかさこども園そして教育委員会が同じ方向に向かって取り組めるようになりました。

特に、体力向上については、接続期に身に付けさせたい力を年間指導計画やアプローチカリキュラムに位置付けたことで具体的なイメージをもつことができ、取組が充実してきました。体力向上以外の項目についてもカリキュラムへの位置付けを工夫するとともに、一層の保育・教育の充実を図るため、連携して取り組んでいきます。

〈実践４〉　鳥　取　市

鳥取市では、「子どもの学びと育ちをつなぐ」をテーマに、モデル地域である醇風小学校区（醇風小学校、鳥取第二幼稚園・おひさま保育園、みたから保育園、むつみ保育園）が相互理解を基盤とした幼保小の連携を推進してきました。

組　織　を　つ　な　ぐ

幼保小連携協議会（隔月開催）

情報交換や実践についての総括

＜メンバー＞

校長、各園長

各会には、園と小学校の教職員が参加。校区で共有した就学前後に校区で育てたい子どもの姿をもとに、共通実践や交流活動、カリキュラム編成等について協議。

相互理解を支える醇風小学校区の組織

幼保小連絡会（年３回）

児童・園児に関する情報交換

- １、２年生と４、５歳児の様子
- 交流活動等について
- 就学に向けての引き継ぎ

＜メンバー＞

１・２年生担任、教頭

４・５歳児担任、副園長

幼保小連携推進委員会

接続カリキュラム編成・接続期の実践の共有

- 幼保小の教職員が、学びのつながりを意識しながら、接続カリキュラムを一緒に編成

＜メンバー＞

小学校１年担任

各園代表１名

鳥取市教育員会

Ｈ28年度　醇風小学校区幼保小連携推進に向けて

H28.6.15

１　醇風小学校区幼保小連携の1年間の取組・内容

（１）醇風小学校区幼保小連携協議会（園長・校長）５回（4月・6月（臨時）・7月・１１月・2月）

○情報交換（今年度の園児・児童の実態、園・学校の取組、西中校区の取組、その他）

○幼保小連携推進モデル事業について(6月)

○今年度の共通取組（園・学校の活動、保護者対応）

○今年度の共通取組評価・次年度共通取組

(2)醇風小校区幼保小連絡会(副園長･教頭･保育士･教諭)3回

①6月　○各園の年中・年長（支援を要する園児）の状況把握と１年生の状況の情報交換　＜外部機関も出席＞

○今年度の園児と児童の交流について等

②12月　○各園と小１・２年生情報交換、年間指導計画の見直し

(スタートカリキュラムとアプローチカリキュラム)・・・カリキュラムの作成・見直しについては別途計画

③2月　○新１年生の状況把握、支援を要する新1年・年中園児の状況等

(3)教職員等の合同研修会)･･･7月28日、1月18日

○3園での保育体験(1年目…全職員、2年目…転任職員と担当者)

２　年間計画、担当園･校

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
連携協議会(４月・６月・２月)	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小
連携協議会(７月)	認定こども園	認定こども園	認定こども園	認定こども園	認定こども園	認定こども園
連携協議会(１１月)	みたから保育園	むつみ保育園	みたから保育園	むつみ保育園	みたから保育園	むつみ保育園
連絡会（６月） ・年中・年長・1年の情報交換	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小
連絡会（１２月） ・小１・２年生情報交換、年間指導計画の見直し （スタートカリキュラムとアプローチカリキュラム）	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小
連絡会（２月） ・新1年生の状況把握	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小	醇風小
合同研修会（７月、１月）	醇風小		醇風小		醇風小	
教員保育体験（7月）全教員、転入教員と交互に実施	3園（全教員）	認定こども園（転入職員）	3園（全教員）	認定こども園（転入職員）	3園（全教員）	認定こども園（転入職員）

３　その他

○親子読書推進・・・年代に応じた本のリスト配布（醇風小より3園へ）

年度当初に開催予定や担当園・校を示すことで、各組織が開催の見通しや議題の整理、準備を行うことができます。また、定期的に複数回にわたり会を実施したことで、顔見知りの関係ができ、情報交換だけでなく、気軽に相談できる関係ができました。

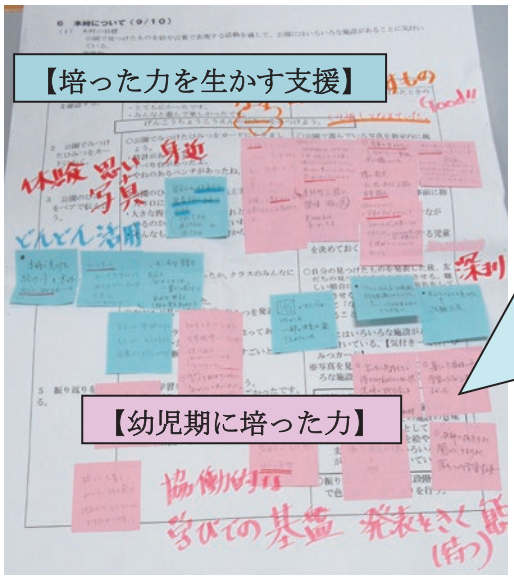
人　を　つ　な　ぐ

相互理解を推進する研修

幼保小合同授業研究会

生活科の授業実践・研究会のテーマ
「幼児期に培った力を生かし、
主体的に学ぶための生活科の授業づくり」

１年生の子どもたちは、**幼児期に培った自分の思いを表現する力、集中して物事に取り組む力、自分の課題として取り組む主体性を発揮**して授業に取り組んでいます。



幼児期に培った力が子どもたちの学びをどう支えているか、また、その力をさらに伸ばしていくために必要な支援や環境の構成について協議。幼保小のそれぞれの教育の理解や学びの連続性について理解を深める研修となる。

研究会では、幼児期に培った力が生かされている様子を桃色の付箋に、さらに生かすための支援や環境の構成を水色の付箋に書き、**拡大指導案に貼りながら協議**しました。

保育体験研修会

子どもたちと一緒に遊ぶ中で、**幼児期の遊びの果たす役割や子どもたちの主体性を育む環境の構成や援助の在り方について学ぶ。**２年間で小学校全教職員が夏季休業中に参加。

鳥取第二幼稚園・
おひさま保育園

保育体験後に幼保小の教職員で協議

子どもが自分たちの活動と思えるように、保育者は、活動をつなげながら子どもの気持ちを高めています。**道具や材料、環境設定に、こうして遊んでほしいという保育者の思いやねらいを反映**させています。（園長の説明）

年長の子どもたちは先生の話を聞き、時計を見ながら、自分で判断していて驚きました。１年生の姿に近づいていると感じました。（小学校教職員）

教育をつなぐ　相互理解を深めるカリキュラム

アプローチカリキュラム

接続カリキュラムは、校区の子どもたちの実態から園と小学校が共通の方向性を示すものとして、**就学前後に校区で育てたい子どもの姿**を示しています。

接続カリキュラム

（教育目標）
『生きる力があふれる子ども』の育成　～あかるく・やさしく・たくましく～

（　鳥取第二幼稚園おひさま保育園　）

接続カリキュラム

（保育方針）
・生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、健康でしなやかな心と体を育てる
・いろいろな遊びや活動を通し、人とのかかわりを深めながらともに支えう仲間づくりをする

（　みたから保育園　）

接続カリキュラム

（保育方針）
仲間とともに生き生きと活動し、心豊かでたくましい子どもを育成する

（　むつみ保育園　）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実態	・明るくひとなつこく様々な事に興味がある。 ・積極的に体を動かして遊び、少し難しいことにも挑戦して粘り強くやり遂げようとする力が育ってきている。 ・遊びの中で工夫したり試したりすることができにくい。 ・自分の思いや考えを言葉で表現したり自己主張をしたりすることはできるが、相手の思いに寄り添いながら話したり聞いたりするなど、やりとりが上手くいかないことがある。 ・夜型になり睡眠が不十分だったり、朝ごはんを食べていなかったりして、生活リズムが整っていない子どもがいる。						・いろいろなことに興味を持ち、挑戦しようとする。 ・自分の思いを上手に伝えたり、相手の気持ちを受け止めたりできないときがある。 ・自分で考えて活動したり、粘り強く最後まで取り組んだりすることに消極的である。			
育てたい子どもの姿	1　集団の中での約束やきまりがわかり、見通しを持って、行動したり生活したりすることができる。 2　友だちと積極的に運動遊びに取り組み、競い合ったり、みんなで簡単なルールを作ったりして遊ぶことを楽しむことができる。 3　自分の感じたことを友だちにわかるように伝え、友だちの思いを受け入れる。 4　共通の目的を持ち、友だちと役割分担をして、互いに考えや意見を出し合い協力して遊びや生活を進める。 5　考えたり工夫したりして遊び、困難に感じることがあっても諦めないで取り組む。						1　新しい集団の中でのきまりを理解し、見通しを持って活動する。 2　友だちと進んで関わろうとし、教師や友達との生活を楽しむ。 3　自分の気持ちを伝えたり友達の思いを受け止めたりしながら、人間関係を広げる。 4　互いに考えや意見を出し合い、協力して活動する。 5　興味・関心を大切にし、困難なことがあっても諦めずに最後まで取り			
定着させたい力および活動・遊び【健康な体づくり】食育・運動・安全・生活習慣	①食事、着脱、排泄など、生活に必要な活動を自分でする。 ②積極的に運動遊びに取り組み、競い合ったりルールを作って遊んだりする中で、体力をつける。 ③ルールの必要性や危険なことに気づき、安全に行動しようとする。 【サッカー、跳び箱、リレー、縄跳び、おにごっこ　】			①生活の流れを予測して、準備や片づけをする。 ②自分なりの目標を持ち、挑戦したり、繰り返し取り組んだりする。 ③よいことや悪いことがわかり、きまりを守ろうとする。 【グループ対抗しっぽ取り、ドッジボール、チャレンジ大会】			【体】①　安全に過ごすための生活のきまりを理解して、気をつけて生活しようとする。 ②　時計を意識して見通しを持って生活する。 ③　自分の目標を持ち、いろいろな運動に挑戦したり、繰り返し取り組んだりする。 【　時間割、モーニングRUN、給食、集団下校　】			
定着させたい力および活動・遊び【豊かな人間性づくり】自己発揮・協同性・きまり	①友だちと積極的にかかわり、相手の気持ちを考える。 ②自分の経験したことや困っていることを相手にわかるように話す。 ③友だちと共通の目的を持ち、ルールを守りながら遊びを楽しむ。 【お店屋さんごっこ、エコ遊び、給食当番、とんとん隊、伝言ゲーム、異年齢交流】			①自分の感じたことや考えたことを伝え、友だちの思いも受け入れて折り合いをつけて遊ぶ。 ②異年齢の友だちの様子に気づき、声をかけたり優しくしたりする。 ③友だちと役割分担をし、互いに考えを出し合いながら、遊びや生活を進める。 【ゆうびんごっこ、あいさつ当番、ゴミ集め】			【徳】①　自分の気持ちを伝え、いろいろな友だちと進んで関わろうとする。 ②　友だちの考えを知り、折り合いをつけて生活する。 ③　学校生活のきまりを守り、みんなで使う物や場所を大切にする。 【　清掃活動、当番活動、縦割り活動、休憩　】			
定着させたい力および活動・遊び【学びの基礎づくり】意欲・探究心・表現	①五感を使った遊びを通して、感じたり考えたり工夫して遊びを発展させようとする。 ②日常生活の中で、数や文字に関心を持ち、生活に取り入れる。 ③生活や遊びを通して、感じたことや考えたことなどを自由に描いたり、作ったり、演じたりして遊ぶ。 【草花、どんぐりなど自然物を使った遊び、劇遊び、楽器遊び】			①最後まで関心を持って聞き、理解して落ち着いて行動する。 ②いろいろな材料を使い、考えたり試したりし工夫して遊ぶ。 ③小学校へ期待を持ち、意欲的に生活する。 【トランプ、すごろく・かるた作り、なぞなぞ、しりとり】			【知】①　学習に必要なきまりを知り、守る。（学習規律） ②「わかった」「できた」という喜びを感じ、進んで生活や学習をしようとする。 ③　生活や学習のなかで、いろいろな方法を考えたり工夫したりすることを楽しむ。 【　探検、観察、栽培活動、読書、係活動　】			
児童と園児の交流	・なかよくなろう集会		・おもちゃまつり		むかしのあそびまつり					
職員の連携			・幼保小連絡会		・幼保小連絡会	・新1年生の情報交換	・学習参観（小学校）		・幼保小連絡会	・教員保育体験 ・保育公開
家庭連携	・良い面や成長している姿を伝える（個別懇談） ・保護者の期待や不安に寄り添う（クラス茶話会） ・集団の中での育ちを伝える（保育参観）						・学年、学級懇談　・家庭訪問　・学校、学年行事　・個別懇談 ・学年、学級通信　・連絡ノート　・授業参観			
環境構成・留意点	・自分なりの目標を持って取り組み、力を発揮して遊ぶことができるように、運動遊びに必要な遊具を準備したり場を確保したりする。 ・相手の思いを聞いて受け入れながら遊ぶ姿を言葉に出して認め、自信を持ってかかわっていけるようにする。 ・秋の自然物を使い遊びに取り入れて楽しめるよう様々な材料を用意したり、遊びのアイデアを一緒に考えながら遊べる時間を確保したりする。 ・不思議に感じた事や身 ことができるよう図鑑や			・遊び道具や素材など、自分で選んで遊び出せるように準備しておき、自由に使ったり、友だちと誘い合って遊んだりできるようにしておく。 ・活動の始まりと終わりや、生活の流れが意識できるよう、事前にスケジュールを伝え、見通しを持って過ごせるような言葉かけをする。 ・友だち同士のかかわりの中で困った事や失敗することも経験しながら自分たちで考えたり話し合ったりできるように促し、解決する力			・学習活動が理解しやすいように、具体物を使う。 ・モジュール学習を取り入れる。 ・新しい集団になれるために、ゲームを通して友達との関わりを増やす。 ・生活の中でトラブルが生じたときに、自分の気持ちを伝えることができ			

就学前後に校区で育てたい子どもの姿をもとに、**各園が園の保育・教育目標等に照らし合わせながら、定着させたい力やそれを育む活動や環境の構成等を検討し、編成**しています。

スタートカリキュラム

園での経験等を知っておくことで、子どもの思いや願い、体験を踏まえた学習や活動を仕組むことができます。

育てたい力　園　（学校教育目標）地域にほこりをもち、志高く前へ進む醇風の子　（醇風小学校　）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実態	・明るくひとなつこく様々な事に興味がある。 ・積極的に体を動かして遊び、少し難しいことにも挑戦して粘り強くやり遂げようとする が育ってきている。 ・遊びの中で工夫したり試したりすることができにくい。 ・自分の思いや考えを言葉で表現したり自己主張をしたりすることはできるが、相手の思 いに寄り添いながら話したり聞いたりするなど、やりとりが上手くいかないことがある。 ・夜型になり睡眠が不十分だったり、朝ごはんを食べていなかったりして、生活リズム 整っていない子どもがいる。			・いろいろなことに興味を持ち、挑戦しようとする。 ・自分の思いを上手に伝えたり、相手の気持ちを受け止めたりできないときがある。 ・自分で考えて活動したり、粘り強く最後まで取り組んだりすることに消極的である。			
育てたい子どもの姿	1　集団の中での約束やきまりがわかり、見通しを持って、行動したり生活した ができる。 2　友だちと積極的に運動遊びに取り組み、競い合ったり、みんなで簡単なルールを作 たりして遊ぶことを楽しむことができる。 3　自分の感じたことを友だちにわかるように伝え、友だちの思いを受け入れる。 4　共通の目的を持ち、友だちと役割分担をして、互いに考えや意見を出し合い協力して 遊びや生活を進める。 5　考えたり工夫したりして遊び、困難に感じることがあっても諦めないで取り組む。			1　新しい集団の中でのきまりを理解し、見通しを持って活動する。 2　友だちと進んで関わろうとし、教師や友達との生活を楽しむ。 3　自分の気持ちを伝えたり友達の思いを受け止めたりしながら、人間関係を広げる。 4　互いに考えや意見を出し合い、協力して活動する。 5　興味・関心を大切にし、困難なことがあっても諦めずに最後まで取り組む。			
お定着させたい力・活動および遊び【健康な体づくり】食育・運動・安全・生活習慣	①生活の流れを予測して、準備や片づけをする。 ②自分なりの目標を持ち、挑戦したり、繰り返し取り組んだりする。 ③よいことや悪いことがわかり、きまりを守ろうとする。 【グループ対抗しっぽ取り、ドッジボール、チャレンジ大会】			【体】①　安全に過ごすための生活のきまりを理解して、気をつけて生活しようとする。 ②　時計を意識して見通しを持って生活する。 ③　自分の目標を持ち、いろいろな運動に挑戦したり、繰り返し取り組んだりする。 【　時間割、モーニングRUN、給食、集団下校　】			
【豊かな人間性づくり】自己発揮・協同性・きまり	①最後まで関心を持って聞き、理解して落ち着いて行動する。 ②いろいろな材料を使い、考えたり試したりし工夫して遊ぶ。 ③小学校へ期待を持ち、意欲的に生活する。 【トランプ、すごろく・かるた作り、なぞなぞ、しりとり】+F6			【徳】①　自分の気持ちを伝え、いろいろな友だちと進んで関わろうとする。 ②　友だちの考えを知り、折り合いをつけて生活する。 ③　学校生活のきまりを守り、みんなで使う物や場所を大切にする。 【　清掃活動、当番活動、縦割り活動、休憩　】			
【学びの基礎づく	①最後まで関心を持って聞き、理解して落ち着いて行動する。 ②いろいろな材料を使い、考えたり試したりし工夫して遊ぶ。			【知】①　学習に必要なきまりを知り、守る。（学習規律） ②「わかった」「できた」という喜びを感じ、進んで生活や学習をしようとする。 ③　生活や学習のなかで、いろいろな方法を考えたり工夫したりすることを楽しむ。 【　探検、観察、栽培活動、読書、係活動　】			
生							
育ちを伝える							
				学習参観	幼保小連絡会	教員保育体験 保育公開	
				・学年、学級懇談	・家庭訪問	・学校、学年行事	・個別懇談
				授業参観			
				本物を使う。			
				や歌、ゲームなどを通して友達との関わり			
				自分の気持ちを伝えることができるように			
				とができるように、教室内に写真、シー			

第１週　平成２９年４月１０日～１４日

	10	11	12	13	14		
	（月）	（火）	（水）	（木）	（金）	（土）	（日）
今週のねらい	一年生になったことを喜び学校生活に必要な約束（よいことのきまり、醇風五心など）を知り、安心して学校に通うことができる。						
行事	入学式	町区別児童会	発育測定	ハーナウ市との交流会			
朝		①朝の準備 ②朝読書・自由帳 ③朝の会 ・さんぽなど、子ども達が慣れ親し 歌う。 ・紙芝居や絵本の読み聞かせをす ・じゃんけんゲームなどのアイスブ					
1		国語・生活 ①あいさつ、返事 ・おはようございます 学活 ②朝の準備確認	①ランドセルの置き方 ②体操服着替え	①出すものの確認 ②引き出しの置き方 ③あいさつ ④算数 ・算数ボックスの確認			
2		①手の洗い方 手洗い場の使い方 ②下足場 かかとの使い方	○発育測定	○生活・音楽 ・メッセージ ・ふるさと ⇩			
3		学活「給食の仕方」 ・白衣の着方 ・当番の仕方		○ハーナウ市との交流会			
4		○給食準備 ・模造紙に手順を示す。 ・準備時間の確保→時間を段々短くする。 ・食べ終わった児童への視覚的支援（給 を食べる→歯磨き→読書）					
5		①帰りの準備 ②町区別児童会	②下校指導 ・コースを分かりやすいよう ・名札にコース別のシールを				
下校時刻	12:00	14:20	14:50	14:50			
特記事項							

【○環境構成　※支援　・準備資料等】
○視覚支援に必要な物を準備しておく。
○下校グループの確認、印付け。
○朝、一日のスケジュールを示しておき、帰りには家庭への連絡。
※教師との一対一の関係を大切にし、一人ずつに言葉かけを丁寧に行う。
※幼稚園や保育園での体験を生かし、「できる」という気持ちを支えにして、
・学年便りの準備　配布物の確認。
・紙芝居や絵本の準備。
・活動が早く終わった児童へのぬりえ、学級文庫の準備。
・保育園で習った手遊び歌の提示。

第２週　平成２９年４月１７日～２１日

	17	18	19	20	21		
	（月）	（火）	（水）	（木）	（金）	（土）	（日）
今週のねらい	体験的な活動を通して、学級の友だちと仲良く関わろうとすることができる。						
行事						参観日 ①朝の準備 ②朝読書 ③朝の会 国語（みんなのせかい）	
朝	①朝の準備 ②朝読書・自由帳 ③朝の会 火曜日と木曜日は職員朝会があるため、支援員や図書館司書に読み聞かせをしてもら						
1	国語（みんなのせかい） ・大きな声で詩を読む。 ・第１場面：見つけたことを発表	国語（みんなのせかい） ・大きな声で詩を読む。 ・第２場面：見つけたことを発表 ・なぞり書き	国語（みんなのせかい） ・大きな声で詩を読む。 ・第３場面：見つけたことを発表 ・なぞり書き	算数（かずとすうじ）	歯科検診		
2	生活（学校探検） ・紹介 ・じゃんけん ・探検	算数（かずとすうじ）	学活（６年生とのペアの顔合わせ） ・自己紹介 ・じゃんけん列車 ・ボールゲーム	国語 ・図書館の 方（オリエ テーション			
3	学活（そうじの仕方） ・掃除場所 ・拭き方	図工（自己紹介カード作り） ・自分の顔 ・すきなもの（クレパス）	心電図検査	国語 （みんなのせ ・大きな声で 読む。 ・第４場面： たことを発表 ・なぞり書き			
4	（給食の準備） １１：４０～			図工 ・自己紹介カ （給食の準 １１：５０			
5	（帰りの準備） 帰りの準備が早くできた場合 ・読み聞かせ　・じゃんけん列車 けんゲーム・朝の会についての指導 紹介カードの練習などを行う。						
下校時刻	14:40	14:40	14:30	14:4			
特記事項							

帰りには家庭への連絡。
、少しずつ友だちとの関わり
きる」という気持ちを支え
つようにする。（自己紹介、
前を掲示する。

より具体的に

第３週　平成２９年４月２４日～２８日

	24	25	26	27	28		
	（月）	（火）	（水）	（木）	（金）	（土）	（日）
今週のねらい	学校めぐりなどの活動を通して、友だちとの関わりを深め、学校の施設や人に愛着を持つことができる。						
行事	参観日の振替休業日	家庭訪問		全校遠足	家庭訪問		
朝		①朝の準備 ②朝読書 ③朝の会 火曜日と木曜日は職員朝会があるため、支援員や図書館司書に読み聞かせをしてもら					
1		算数（かずとすうじ） ・おはじきを使って４と５の分解	国語（あいうえおのうた） ・大きな声で詩を読む。 ・「こ」の練習		国語（あいうえおのうた） ・「あ」の歌作り ・「い」の練習		
2		国語（あいうえおのうた） ・大きな声で詩を読む。 ・「し」の練習	算数（１０までのかず） ・ノートに１から５まで の数字を書く。 ・ブロックを使って、数作り		算数（１０までのかず） ・数を数える。 ・カードを使って、大きさ比べ		
3		書写 ・教科書、ノートのお話 ・なぞり書き	生活（せんせいとなかよし） ・なかよくなる方法 ・ワークシートの書き方		図工（いっしょにおさんぽ） ・道具の確認 ・粘土となかよし ・動物の親子が散歩しているよ		
4		生活（やさいとなかよし） ・育てたことのある野菜 ・育てたい野菜	生活（せんせいとなかよし） ・自己紹介の仕方（先生と、友だちと）		図工（いっしょにおさんぽ） ・動物の親子が散歩しているよ		
5		国語 ・図書の貸し出し	学活 ・帰りの準備 ・個人写真の撮影		体育（ならびっこ、かけっこ） ・校庭で50メートルを走る。		
下校時刻		15:00	15:00	15:00	15:00		
特記事項					※振休明：先生とな 友だちとなるために、 ウイグをもつ		

【○環境構成　※支援　・準備資料等】
○視覚支援に必要な物を準備しておく。
○下校グループの確認、印付け。
○朝、一日のスケジュールを示しておき、帰りには家庭への連絡。
※教師との一対一のつながりを基盤として、少しずつ友だちとの関わりを増やし新しい集団になれる。
※幼稚園や保育園での体験を生かし、「できる」という気持ちを支えにして、安心感を持って活動や学習をする。
・学年便りの準備　配布物の確認。
・保育園で習った手遊び歌の提示。
・学校めぐりに向けて校内に呼びかける。
・家庭訪問の準備。

週案を作成する際には、教師の意識化を図るために、学習を以下のように色分けをしています。

桃色：幼児期の体験を生かした学習
黄色：学校の生活に関する学習
緑色：生活科を中心とした合科的・関連的な学習
水色：教科等を中心とした学習

１週目の黄色（生活に関する学習）や緑色（生活科を中心とした学習）から、次第に水色（教科）の時間が多くなることが分かります。また、子どもの集中時間に合わせて、１単位時間を分割しながら、弾力的に運用しています。

幼児期に培った力が生かせたり、安心して人間関係が構築できたりするような援助や環境の構成を留意点として記載しています。

視覚的カリキュラム

H29年度　醇風小学校　視覚的カリキュラム　　第1学年2組

生活・総合との関連　／　地域の学習材（人）　／　地域の学習材（出かけたこと）　／　1．2年生の交流　／　園との交流

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数
国語	・みんなのせかい ・はきはきあいさつ ・よろしくね ・じをかこう ・ほんがたくさん	・あいうえおのうた ・あめですよ ・ふたとぶた ・ともだちにはなそう ・とんことんとん ・ねことねっこ	・ことばあそび ・あひるのあくび ・ぶんをつくろう ・おばさんとおばあさん ・きいてつたえよう ・「は」「へ」「を」をつかってぶんをかこう	・どうやってみをまもるのかな ・小川やといしゃ	・こんなことしたよ ・おおきなかぶ ・ほんのひろば ・えにっきをかこう	・あるけあるけ/木 ・はなしたいなききたいな ・かんじのはなし ・かいがら ・かぞえうた	・サラダでげんき ・かたかなをかこう ・ほんはともだち ・わたしのはっけん ・よう日と日づけをおぼえよう	・いろいろなふね ・おもい出してかこう ・「すきなものクイズ」をしよう	・ことばあそびうたをつくろう ・おとうとねずみチロ	・みみずのたいそう ・むかしばなしをたのしもう ・おはなしをつくろう ・歯がぬけたらどうするの	・「じゃんけんやさん」をひらこう ・まとめてよぶことば ・スイミー	・かたちのにているかん字 ・「おもいでブック」をつくろう	306
算数	・オリエンテーション ・かずとすうじ	・なんばんめ ・いくつといくつ	・いろいろなかたち ・ふえたりへったり ・たしざん（1） ・ひいざん（1）	・20までのかず	・よみとるさんすう ・とけい（1） ・おおきさくらべ（1）		・3つのかずのけいさん ・たしざん（2）	・かたちづくり ・ひきざん（2）	・0のたしざん ・ものとひとのかず	・大きいかず	・とけい（2） ・100までのかずのけいさん ・おなじかずずつ	・おおきいほうすくないほう ・おおきさくらべ（2）	136
行事・特活	入学式 全校遠足	交通安全教室	プール開き 新体力テスト	なかよし集会			前期終業式 後期始業式	醇風フェスティバル	なかよし集会 創立記念式	給食週間	なかよし集会 めざまし集会	6年生を送る会 卒業式 修了式	
生活	スタートカリキュラム 花ややさいをそだてよう　・あさがおをうえよう②　・夏野菜をうえよう②　・あさがおと夏やさいをそだてよう。 みんなとなかよし（2） ともだちたくさんつくろう（2） ・わたしのがっこうわたしのきょうしつ②		なつとなかよし（7） おもしろいあそびがいっぱい（5） ・どんなあそびが」あるかな① ・すなあそびをしよう② ・しゃぼんだまあそびやみずあそびをしよう② ・いろみずあそびをしよう② なつはたのしいことがいっぱい（2） ・たのしみだね、みんなとすずすなつやすみ②			あきとなかよし（13） あきはたのしいことがいっぱい（13） ・できたよ、むしのうち② ・むしのふしぎをみつけた④ ・たのしいね、あきのあそび③ ・きれいだね、おもしろいね④ ・どんなあき、こんなあき②		ふゆとなかよし（18） ふゆをみつけたよ（7） ・ふゆがやってきた② ・いろいろあるね、ふゆのくらし② ・こんなものができたよ③ みんなかぜの子（8） ・かぜであそんだよ④ ・つめたいね、たのしいね② ・おもしろいね、ひかりとかげ② はるをさがそう（3） ・小さい「はる」見つけた③				102
	みんなとなかよし（19） ともだちたくさんつくろう（2） ・おにいさん　おねえさん　よろしくおねがいします②		わたしのがっこうどんなところ（7） ・がっこうたんけんにしゅっぱつしよう② ・せんせいとなかよくなろう② ・こうていでもみつけたよ① ・きいておしえてみつけたこと②		わたしのつうがくろ（10） ・まちのようすをおしえてもらおう ・がっこうにくるみちでみつけたよ② ・みんなにまもられているんだね② ・みんなのこうえんだね② ・こうえんでみつけたよ②		あきとなかよし（12） あきとふれあおう（6） ・むしたちはどんなところにいるのかな、みつけよう③ ・あきがいっぱいだね② ・どんないろ、どんなにおい、どんなおと②	つくろうあきのおくりもの（6） ・おしえてあげたいな、たのしいあき④ ・おしえてあげるね、たのしいあき②	ふゆとなかよし（14） かぞくでいっしょにおしょうがつ（5） ・あたらしいとしをむかえるよ② ・へんしん、むかしあそび名人③	もうすぐ2年生（9） ・たのしかったよ1年かん③ ・ようこそあたらしい1年生④ ・ありがとうわたしたちのきょうしつ②		
学習の地域材	校区探検に出かける 鹿野街道コース、 大森神社コース	公園に出かける1 玄好町公園	野菜づくり 田中和子さん、野村好子さん、米谷みずほさん,岡本敦子さん	ちまきづくり 田中和子さん、米谷みずほさん、野村好子さん、竹内邦子さん、岡本敦子さん、岡本芳子さん、山内知子さん、松岡照子さん				むつみ保育園 みたから保育園	公園に出かける2 玄好町公園	むつみ保育園 みたから保育園	むかしのあそび （児童のおじいさん、おばあさん）	体験入学 入学予定の園児	
音楽	・うたでなかよしになろう	・はくをかんじてあそぼう	・はくをかんじてリズムをうとう	・どれみでうたったりふいたりしよう				・ようすをおもいうかべよう	・いろいろなおとをたのしもう	・にほんのうたをたのしもう	・おとをあわせてたのしもう		68
図工	・おひさまにこにこ ・すきなものなあに	・ひもひもねんど ・みんなでかざろう	・ちょきちょきかざり ・にじうおとあそんだよ	・すなやつちとなかよし	・コロコロぺったんシャカシャカ ・ごちそうパーティーをはじめよう！	・みてみておはなし ・でこぼこはっけん！		・のってみたいないきたいな	・おもちゃをつくろう	・いろいろペッタンかみはんが	・なにがでてくるかな	・コロコロゆらりん	68
体育	・からだほぐしのうんどう ・ゆうぐあそび	・てつぼうあそび ・おにあそび	・どうぶつランド ・水あそび ・のりものランド		・かけっこ・リレー ・ボールなげ			・マットあそび	・とびばこあそび	・ようぐをつかったあそび	・うごきをつくるあそび	・ボールけりゲーム	102
道徳	・たのしいがっこう ・あいさつ「おはようございます」	・どうしてそうするの ・バムのおかたづけ ・きんのおの	・はしのうえのおおかみ ・めだかのめぐ ・ぼくのあさがお ・あたらしいいのち	・はち っ ・わた いせ ・はな									

幼児期に培った力を生かすにはどのような教育課程や学習展開が有効かについて検討を重ね、生活科を中心に各教科を関連させた視覚的カリキュラムへ反映させました。この視覚的カリキュラムは全学年で編成し、生活科や総合的な学習を核に教科間の関連を積極的に図ることで、幼児期から低学年、低学年から中学年以降の教育への円滑な接続が図られるようにしています。

接続期の保育・教育の実際

カリキュラムをつなぎ、交流活動を園の遊びに発展させることで、**思考力や探究心などの学びの芽生えを育むという保育者の意識が高まりました。**

『おもちゃまつり』（交流活動）
　１年生が作ったどんぐり迷路で楽しく遊びました。

交流活動を遊びにつなぐ

『どんぐり迷路を作ってみよう』
　１年生の工夫を真似たり、友だちと相談したりしながら作る姿が見られました。

学び方をつなぐ

　ごっこ遊び等を通して、必要な物を考え**夢中で制作**したり、どうしたら遊びが楽しくなるか**話し合ったり**、異年齢児とのやりとりの中で**折り合い**をつけたりする力が育ちます。

　生活科を中心に、**体験や人との関わりの中での気付きを意識的に引き出す活動**を構成し、**気付きの質を高めたり、学びに向かう力を伸ばしたりしています。**

【担当者より】

　鳥取市では、「ふるさとを思い　志を持つ子」の育成をめざして、平成２３年度から小中一貫教育に取り組み、各中学校区で小中９年間を見通した教育活動を展開してきました。この成果を、幼保小連携に広げるために本事業における醇風小学校区の実践をもとに「幼保小連携推進リーフレット」を作成しました。鳥取市内各園、小学校、中学校などに配布するとともに、園長会、副園長会、校長会等でも研修し、各学校の幼保小連携のための研修資料としていく計画です。

　内容は、醇風小学校区の連携の体制づくり、職員の交流、接続カリキュラムの作成と実践や効果などについてです。今後、各中学校区での幼保小連携が積極的に図られるように支援していきたいと考えています。

〈実践５〉　境　港　市

境港市では、幼保小連携・接続に関する取組として、これまで生徒指導と特別支援教育における連携を中心に取り組んできました。近年は、様々な背景を有している子どもたちについて、幼保小をつなぐ役割として、教育委員会に籍を置く「特別支援コーディネーター」が連携の中心を担っています。

平成２８年度には、「子どもの学び」に視点を置いた滑らかな接続を進めるために、「体力づくり」の観点で、中浜小学校となかはま保育園が連携して実践に取り組みました。

組織をつなぐ

人をつなぐ

接続期の幼児・児童の特性を理解して、「体力づくり」の観点で連携を進め、接続カリキュラムの編成に取り組みました。双方の教職員がお互いの子どもの年齢における発達段階・特性等を理解することで、「園児・児童の成長」「発達段階に応じた指導内容」等についても連携を進めることができるものと考えています。

教育をつなぐ

保小連携　接続カリキュラム

（鳥取県境港市立なかはま保育園・中浜小学校）

（めざす児童像）	（保小の連携事業）
1. 豊かな心をもち，思いやりのある子（徳） 2. 自ら学び，自ら考え，表現する子（知） 3. 体を鍛え，健康で明るい子（体） 4. ねばり強く，たくましい子（情）	○保育園交流（年長児と5年生による交流活動），低学年との交流 ○新入学説明会 ○保小連絡会，保小連携事業の一環で，相互授業参観等 ○市民運動会などさまざまな行事や活動での交流

定着させたい力および活動・遊び	小学校生活へつながる保育・教育活動：5歳（境港市立なかはま保育園　年長　）		保育園での経験を生かした指導の工夫：6歳（境港市立中浜小学校　1年生　）
○自律した生活の基礎 ○食育 ○運動・安全	○落ち着いて話を聞く時間を長くする。 ○1日の生活の流れを知らせ，見通しを持たせる。 ○午睡のない生活リズムを確立する。 ○食事の大切さを知り，マナーを守って食べる。 ○様々な遊びや運動に関心を持ち，友だちと工夫して遊ぶ。 ○友だちと体を十分に動かして遊びを楽しむ。 ○あいさつや返事，ルールを守るなど，接続を意識した指導を行う。	生活する力	○安全に過ごすための生活のきまりを理解して，気をつけて生活しようとする。 ○時間や時計を意識して見通しを持って行動しようとする。 ○給食の配膳や食事のマナーが分かり，楽しく食べられるようになる。 ○自分の目標を持って，意欲的に運動遊びをすることができる。 ○目的に応じて遊具や用具を選び，安全に使えるようになる。
○協同 ○自己発揮 ○規範（きまり）	○きまりやルールを伝え合って，共有して遊ぶ。 ○自分の役割に応じた行動がとれるようになる。 ○みんなで力を合わせてやり遂げる喜びを感じることができる。 ○自分たちで決めたルールを大切にしながら遊びや活動を発展させる力がつく。 ○共同の遊具や用具を大切にし，ゆずりあって使えるようになる。	かかわる力	○新しい友だちとかかわる楽しさを覚え，進んで友だちや先生とかかわり，学校に行くのが楽しみになる。 ○当番や係の仕事をすることの意味が分かり，友だちと協力できるようになる。 ○相手の気持ちに気づくようになり，互いの思いや考えを言葉で伝え，友だちとかかわることができるようになる。 ○上級生に助けられながら学校生活に慣れ，小学生の一員としての自覚と自信をもてるようになる。 ○学校にも安全に過ごすためのきまりがあることを知り，守ろうとするようになる。
○意欲 ○思考・創造 ○表現	○身近な自然や社会の事象に興味・関心を持って関わる。 ○試したり工夫したりして，遊びを深める。 ○ルールのある運動遊びを数多く経験させる。 ○室内外で好きな遊具で遊ぶ。 （砂場，芝生グラウンド，固定遊具，ゲーム，サッカー，ドッジボール，かけっこ，リレー，運動会ごっこ，とび箱，竹馬，フラフープ，ケンケンパ，しっぽ取りなど）	学ぶ力	○学習に必要なきまりを知り，守ることができる。（学習規律） ○生活の中で文字や数字，標識などに関心を持ち，それらを取り入れたり用いたりして，工夫して遊んだり，学んだりする。 ○友だちといっしょに学ぶ楽しさを知り，自分以外の人の考えを取り入れたり，参考にしたりする。 ○考えたことや感じたことを友だちや先生に分かるように話せるようになる。 ○活動をふり返り，楽しかったことや頑張ったこと，工夫したことなどに気づき，満足感を味わう。 ○「できた，わかった」と感じるような，いろいろな動きや運動遊びをする。 （体ほぐし，遊具鉄棒，かけっこリレー遊び，鬼遊び，動物ランド，水遊び，とびっこ遊び，平均台とび箱遊び，バランス遊び，がんばりっこ，

遊びや運動を体験する中で、『**できた、わかった**』と感じることが**学ぶ意欲**につながると考えます。

今回の公開授業で取り組んだ「遊びの要素を含んだ基礎的な体力づくりの活動」を柱の一つとして、**保育園での「遊び」から小学校への「体育科」への接続**を発展させていきたいと考えています。

第１学年　体育科学習指導案

１．単元名　　「なかはまジャンピングランドでたのしもう！」（とび箱遊び）

２．単元の目標

（１）とび箱遊びに進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。【関心・意欲・態度】

（２）とび箱を使ったいろいろなとび箱遊びの工夫ができる。【思考・判断】

（３）いろいろな条件のとび箱を、いろいろなとび方でとぶことができる。【技能】

３．単元の評価規準

（ア）関心・意欲・態度	（イ）思考・判断	（ウ）技能
①いろいろなとび箱に、いろいろなとび方で、意欲的に挑戦する。 ②順番を守って運動する。 ③とび箱や場の安全を確かめて運動する。 ④自分や仲間の安全を確かめて運動する。	①自分の力に合ったためあてをもつことができる。 ②いろいろなとび箱遊びの工夫ができる。 ③いろいろなとび方の練習のしかたがわかる。	①低いとび箱をできるとび方でとべる。 ②新しいとび方でとぶことができる。 ③いろいろな条件のとび箱を、いろいろなとび方でとぶことができる。

４．本時の学習と指導

（１）ねらい

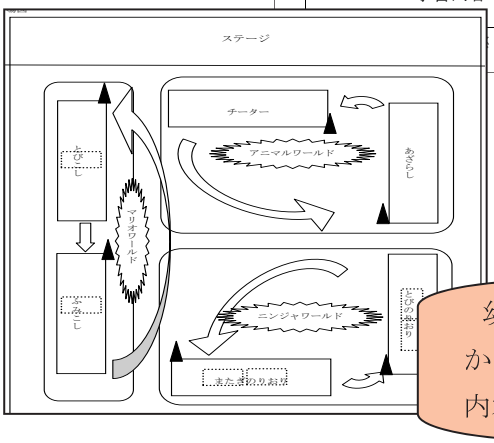
いろいろな場で遊びながら、とび箱をとびこしたりふみこしたり、手で体を支えてまたぎのったりおりたりすることができる。

（２）準備

笛、アンプ（CD）、マット、踏み切り板、とび箱、コーン、ポイント（こつ）カード

（３）展開

学習内容・活動	指導上の留意点



（・**ワールドの名前**：技のポイント）

・**アニマルワールド**

あざらし：両手で体をしっかり支える

チーター：前を見て両手で体を支えて跳ぶ

・**マリオワールド**

とびこし：かたあしでふみきって、たかく跳ぶ

ふみこし：リズムよくとび箱をふんで両足で着地する

・**ニンジャワールド**

またぎのりおり：両足でふみきってのり、とび箱を強く押しておりる

両足をひきつけてとび箱にのり、両足をそろえて着地する

幼児期に培った力をどのように小学校の教科学習で生かしていくのか協議を行い、園の運動遊びで実践できる内容の動き、興味・関心を高める場の設定を考えました。

【担当者より】

今回の取組で、幼児期の子どもの特性について、相互の教職員の理解が深まりました。また、子どもの学びをつなぐ具体的なツールとして、接続カリキュラムを編成することができました。今後は、子どもの学びに視点を置いた滑らかな接続について、集団の中での学習規律や教科・領域等に関する連携体制整備を進める必要性を感じています。そのためにも、この接続カリキュラムを改善しながら、中浜小学校区内の他の園との連携や市内の各小学校における幼保小の連携に生かしていきたいと考えています。

小学校や保育園の現場の教職員の現状は大変多忙です。そのような中で、お互いが行き来することによって連携を深めることは、大変難しい現状があります。これからの幼保小の連携をより進めるために、人的配置を含めた業務改善は大変重要な課題であり、今後の取組の重点としていきます。

園と小学校の教職員が子どもの姿を語り合ったり、お互いの指導内容や支援の方法などを情報交換したり、学びの連続性・一貫性について協議したりすることにより、お互いの教育・保育の良さを確認し、相互理解が深まります。

以下、園と小学校教職員の合同研修の例を紹介します。

研修例 1

入学前後の子どもの姿をもとに教育・保育を考える

園で行っている生活や遊びを通して大切にしている点・小学校の生活や学習で大切にしている点などについて、互いに協議することで、相互理解を深めていくことができます。

《研修の進め方》園・小学校教職員の合同研修会の例（KJ 法）

●附箋に各自の考えを書く。

園の教職員・・・・・「園で入学前に重点的に育てたい姿」

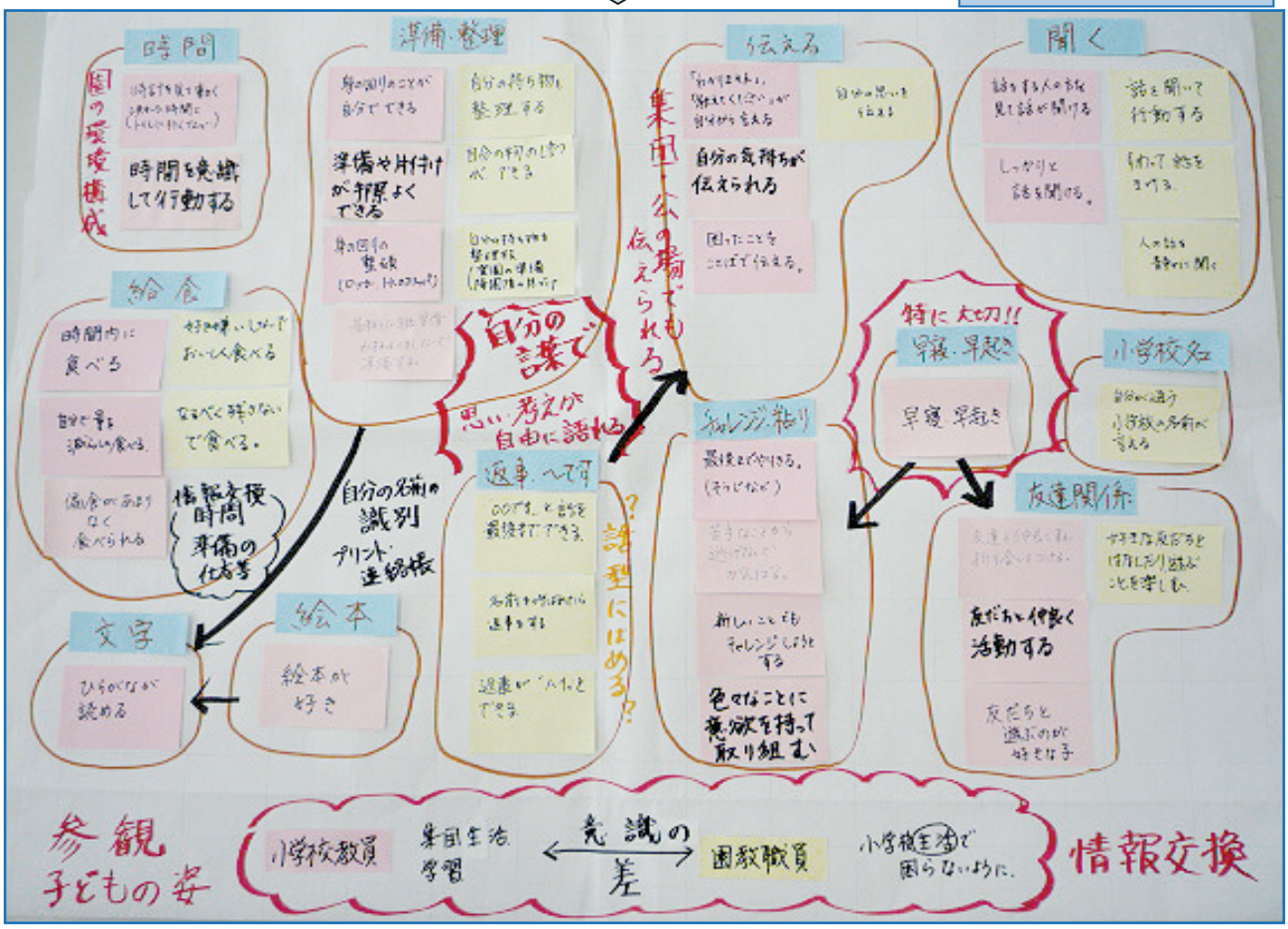
小学校の教職員・・・「入学までに育ってほしい姿」

●それぞれの意見を理由もつけて話し合う。

園　小学校

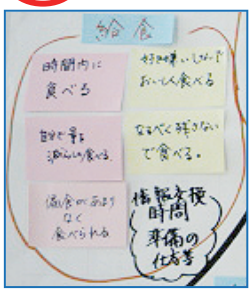
相互理解を深める
研修例①②③へ

協議をまとめた模造紙



相互理解を深める研修例①②③

① ちがいがうまれる理由について考える。（例えば、「給食」について）



★園は「おいしく」「残さず」、小学校は、「時間内」となっているのはなぜ？

・園と小学校の教職員がそれぞれどんなことを大切にし、どんな指導をしているのかについて話す。

・園と小学校の生活や学びを「つなぐ」ための指導のあり方を協議する。

（「生活リズム」「登降園・登下校」等のテーマで話し合うこともできます。）

＊「尊重すべき違い」（P７）を踏まえた取組を協議することにつながります。

② 園や小学校の生活や遊び・学習の内容等について、情報交換する。

★保育や授業で大切にしていることは何？

・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「小学校学習指導要領」を紹介し合う。

・全体的な計画、教育課程、指導計画、デイリープログラム・生活時程等を紹介し合う。

＊幼児期の教育・小学校教育の目標や内容を学ぶことが相互理解につながります。

③ 園と小学校の今後の指導に生かすための協議を行う。（保育体験・授業体験後）

★お互いの指導方法について、「取り入れたい」「引き継ぎたい」「まねしたい」ことは何？

・保育体験・授業体験等で見つけた園と小学校の指導方法について紹介し合う。

・それぞれ大切にしている指導法、環境構成等について説明する。

・自園・自校における接続期の指導のあり方について考える。

＊園と小学校での「個の育ち」「集団としての育ち」について共通理解することになり、その育ちをつなぐための指導の在り方を確認することにつながります。

園と小学校では、教職員の意識に違いがあることが分かりました。協議することで互いの教育・保育の目標や内容、指導方法等について理解することができました。

＊研修参加者の感想より

園や小学校で大切にしていることや子どもの様子について協議するよいきっかけとなりました。小学校入学当初は、安心できる環境や人間関係をつくることが必要な理由が分かりました。

＊研修参加者の感想より

◎お互いの教育内容や指導の重点、指導方法等について、相互理解を深めるためには、具体的な子どもの姿や実際の取組等をもとに協議することが大切です。

◎お互いの指導の重点や指導方法を知ることで、一人一人の子どもの育ちや学びがよく見えるようになり、園と小学校それぞれの教育・保育を見直し、改善することにつながります。

研修例２

幼児期の教育と小学校教育の「資質・能力」のつながりを考える

幼児期の遊びの中で見られた学びの基礎となる力が、小学校以降にどうつながっていくのか考える手がかりとして、保育・授業参観等をもとにして様々な研修会で相互理解を深めていくことができます。

園

《研修の進め方》園の教職員のみの研修の場合【参考：◆例１◆】

- ●保育（保育場面映像の視聴も可）を参観し、その一場面の幼児の姿から、幼児期に育みたい資質・能力について書き込みを行う。
- ●その内容について共有する。
- ●育ちと学びの連続性などについて確認し、小学校へのつながりを大切にした保育について考える。

◆例１◆　園の遊びの場面の姿で考える

平成29年11月担当者合同研修会（幼児教育センター・市町村等担当者計23名）協議のまとめ
「鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集・DVD」「鳥取県『遊びきる子ども』を育む取組事例集」より

事例　4歳児　「みんなで『かえるの運動会ごっこ』をしよう」　［幼児の行動から資質・能力を考える］

玉入れのかごをまっすぐに立たせたくて、何度も、何度もテープを貼ったり箱をたしたりして試行錯誤しながら粘り強く作るが、いくらやってもうまくいかない。長い時間の試行錯誤のあと、気付いた友達が手伝うことにより、安心した表情で一緒に作り出すようになった。

幼児にとっての「試行錯誤」の意味・学びは

知識及び技能の基礎

- ・箱の大きさや重さ、かごの高さを実感
- ・まっすぐの感覚（安定・不安定）
- ・空間認知
- ・性質を生かした素材選び
- ・材料の使い方、指先の使い方・

思考力・判断力・表現力等の基礎

- ・バランスをとるための工夫を考える力
- ・となりのかごと比べる力、観察力、認知力
- ・違う方法を試す、よい方法を探る力
- ・手伝ってもらうとうまくいくかもという予測する力
- ・友達に伝える力

上記の学びを支えたものは

①どうしても完成させたい、絶対作るという気持ち【意欲】【挑戦】【粘り強さ】【忍耐力】
②うまく作れないという感情【悲しさ】【葛藤】
③かごをまっすぐ立てたいという感情【目標】
④成功したら楽しめる、今までの経験からこうすればできるという気持ち【見通し】【自信】
⑤どうしたらできるかという感情【探究心】【試行錯誤】
⑥ここを任されている、自分が作るのだという気持ち【役立ち感】【責任感】
⑦友達と一緒に遊びたい、喜んでほしいという気持ち【願い】【人との関わり】【協同性】
⑧自分が完成させたら友達が喜んでくれるという気持ち【期待感】　等

学びに向かう力・人間性等（非認知的能力）

幼児の主体的な遊びが展開できるようにする教師の援助や環境の構成

◎事例の幼児の姿が見られるに至るまでの遊びの経過や思い等について、見取りに基づいたより丁寧な説明をしながら研修することが大切です。

◎幼児期における資質・能力はそれぞれを切り離して考えるものではなく、それぞれが重なり合いながら身に付けていく力です。

幼児期の主体的な活動である遊びを通して身に付けた力が、小学校の学びを支えていることがわかりました。「心が動く」遊びを大切にしていきます。

＊研修参加者の感想より

《研修の進め方》

園・小学校の合同研修の場合　園　小学校

【参考：◆例１◆・◆例２◆】

●保育（保育場面映像の視聴も可）または小学校の学習を参観し、その一場面の子どもの姿から、資質・能力について書き込みを行う。

●その内容について共有する。

●幼児期から小学校へつながる資質・能力について話合い共有する。

●育ちと学びの連続性などについて確認し、つながりを生かした保育・教育等について考える。

小学校　《研修の進め方》

小学校教職員のみの研修の場合

【参考：◆例２◆】

●小学校の学習場面の姿をもとに、幼児期からつながる児童の資質・能力について話合い、共有する。

●育ちと学びの連続性などについて確認し、つながりを生かした保育・教育等について考える。

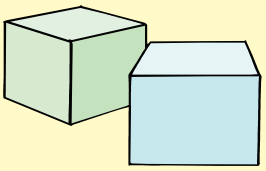
◆例２◆　小学校の学習場面の姿で考える

２年：算数「はこを作ろう」（東京書籍２下）

平成 29 年 12 月担当者合同研修会
（幼児教育センター・市町村等担当者　計２８名
協議のまとめ

知識及び技能

・箱の面や辺、頂点の数について知る。
・正方形や長方形の面で構成される箱の形を理解し、それらを構成したり分解したりする。　等



思考力・判断力・表現力等（数学的な考え方）

・図形を構成する要素（面の形、大きさ、辺の長さ等）に着目し、構成の仕方を考える。
・身のまわりのものの形を図形として捉える。　等

学びに向かう力・人間性等（関心・意欲・態度）

・箱の形を作るために、線を引いたり、切ったり、テープで留めたりを繰り返す姿（①④⑤）
・自分の箱を完成させたいという目標（③）
・友達と教え合いながら一生懸命に作りあげようとする姿（⑦）

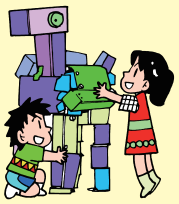
上記の（　　）内は、幼児期における「学びに向かう力・人間性」の数字

４年：図画工作「ゆめのまちへようこそ」「日本文教出版」（３・４下）

平成 29 年 12 月担当者合同研修会
（幼児教育センター・市町村等担当者　計２８名
協議のまとめ

知識及び技能

・表現方法に合わせて材料や用具を適切に扱う。
・前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせて表す。



思考力・判断力・表現力（発想や構想）

・表したいことや用途などに合わせて、形や色、材料などを生かしながらどのように表すかについて考える。

学びに向かう力・人間性等

・作りたいもののイメージをもち、箱を組み合わせたり接着の方法を考えたりして試行錯誤する姿（①②③④⑤）
・完成させるために一緒に相談したり、手伝ったりしている姿（⑥⑦⑧）

上記の（　　）内は、幼児期の「学びに向かう力・人間性等」の数字

◎「学びに向かう力」が土台となって、小学校での学習を支えています。
◎学びの土台となる力は、幼児期に培った様々な力とつながっています。

研修例３

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに子どもの姿のつながりを考える

園　小学校

《研修の進め方》園と小学校の教職員合同研修の例

●保育・授業（保育や授業場面映像の視聴も可）を参観し、そこで見られた子どもの姿について共有する。

●その姿を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に照らし合わせて考える。

◎小学校の学習を参観する場合、幼児期からつながる小学校での子どもの姿について話合い、共有する。

↓

育ちと学びのつながりや違いなどについて確認し、今後の取組を考える。

保育場面の子どもの姿の記録

砂遊びの一場面

《エピソード記録：砂場での遊びの様子》

・・・A 児は、「一緒に入れて」と他児に声をかけ★、一緒に川づくりを行う★ようになった。川づくりを行う中で、「ぼくが水をくんでくるよ。」「〇〇ちゃんは、深く掘っといてね。」と役割分担をしたり★（中略）。遊びが進み、温泉を作るという共通の目的が生まれ、水をためる方法を考える★ようになった。水の量や穴の深さ★等を試してみる★がうまくいかない。しかし、あきらめずに何度も挑戦する★。しばらくすると、ナイロン袋に水をためることができるという経験を思い出し、A 児は保育室のゴミ袋を使おうと提案★する。

★自立心　★協同性　★社会生活との関わり　★思考力の芽生え
★数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚　★言葉による伝え合い

小学校の姿へ

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

※参照Ｐ57．58

未満児	3歳	4歳	5歳	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
				健康な心と体
			★	自立心
			★	協同性
				道徳性・規範意識の芽生え
			★	社会生活との関わり
			★	思考力の芽生え
				自然との関わり・生命尊重
			★	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
			★	言葉による伝え合い
				豊かな感性と表現

〇幼児の姿はそれぞれが分けて考えられるものではなく、関係し合っているものです。
〇ここでは、上記保育場面の主な姿を取り上げて分類しています。

★園での遊びの姿をこのように分類することにより、小学校就学を意識して子どもの育ちや学びの状況を把握することができます。

★５歳児だけではなく、４歳児、３歳児、２歳児、１歳児、０歳児の姿の相互のつながりを見ていくことが大切です。

０歳児 ⇒ ⇐ １歳児 ⇒ ⇐ ２歳児 ⇒ ⇐ ３歳児 ⇒ ⇐ ４歳児 ⇒ ⇐ ５歳児

例えば

★園と小学校における「自立心」の姿のつながり★

園 5歳児

保育場面における★「自立心」の姿

- あきらめずに何度も挑戦する姿
- 自信に満ちた表情で提案する姿

→

小学校 3年生

国語科の学習場面における★「自立心」の姿

- 自分の考えを友達に提案、説明する姿
- 完成に向けて粘り強く取り組む姿

◎幼児期における姿が小学校にどのようにつながっているのかについて、具体的な姿（中学年・高学年の姿も）**をもとに共通理解を行う**ことが大切です。

学習場面の子どもの姿の記録

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、**小学校におけるスタート時の姿**です。

《個人記録：３年国語「町についてしらべてしょうかいしよう」》

Ａ児の班では、町のじまん発表会で何について発表するか相談することになった。Ａ児は昔から続く和菓子屋さんの秘密★についてまとめて発表することを提案する★。そのために必要な項目や方法、分担★等をみんなで相談し★★た。図書館の本を使って調べ、地域の方やお店の人にたずねて★記事を書いていた。原稿づくりの中で、「この文章はこう書いた方が分かりやすいよ。「何のことを言っているのか分からないよ。」★など、一生懸命説明をしよう★としていた。しかし、うまく進まないことも多く、気持ちが沈みそうになる様子も見られたが、完成させるため粘り強く取り組んでいた★。

★自立心　★協同性　★社会生活との関わり　★思考力の芽生え　★言葉による伝え合い

小学校におけるスタートの姿

１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生

○子どもの姿を１０の姿すべてに分類することや個別に取り出して指導することが目的ではありません。

○小学校における姿はそれぞれが分けて考えられるものではなく、関係し合っているものです。
○ここでは、上記学習場面の主な姿を取り上げて分類しています。

◎幼児期において、自発的な活動としての遊びを通して育まれた姿が、各教科等の学習に接続されることが大切です。
◎幼児期に身に付けた力が、小学校以降の学びの土台となります。低学年だけでなく、中・高学年、中学校へもつながっています。

全く違うと思っていた園と小学校の教育がつながっていることがわかりました。幼児期に身に付けた力を小学校でしっかりとつなぐことが教職員の役割だと感じました。　＊研修参加者の感想より

鳥取県内の幼保小連携の取組

園児が１年生教室の椅子に座り、１年生にいろいろな事を質問しています。

里帰り交流を行っています。１年生と一緒に活動することを通して、小学生の姿に憧れたり、協力して活動する喜びを感じたりしています。

中学校教員が園の遊びに参加。幼児期の発達を踏まえ、子どもたちの「やりたい」「できるようになりたい」という意欲を引き出す声かけや援助をしています。

散歩の行き先が小学校校庭。遊具で思いきり遊ぶことで、小学校生活への期待につながります。

幼稚園と保育園で年長児交流を年２回実施。互恵性のある交流にするため、担任間の連携を大切にしています。

１年生と年長児の交流活動。１年生の泳ぐ姿や優しく関わってくれる姿を見て、年長児の小学校への憧れの気持ちが高まります。

中学校の委員会活動を活用して、園児との交流を実施しています。

秋みつけを年長児、小学校１・２年生が一緒に行います。小学生の姿を手本にして、発表したり、調べたりして、年長児も生き生きと活動します。

小学校教員の保育体験を行い、幼児期の育ちについて学んでいます。

隣接の強みを生かし、行事や交流活動に加え、出会ったときに声をかけ合うなど、自然な交流が行われています。

委員会を中心として読み聞かせボランティアが保育園で絵本の読み聞かせを行っています。園と中学校が近くにあり、日頃から園児と中学生が交流を深めています。

小学校近くの森林で一緒に自然を満喫。帰りに学校図書館で本を借りるなど、何度も学校へ出かけるしかけがなされています。

資料編

《引用・参考とした資料》

〇小学校学習指導要領（文部科学省：平成 29 年 3 月 31 日）
〇中央教育審議会答申（中央教育審議会：平成 28 年 12 月 21 日）
〇幼稚園教育要領（文部科学省：平成 29 年 3 月 31 日）
〇幼保連携型認定こども園教育・保育要領（内閣府：平成 29 年 3 月 31 日）
〇保育所保育指針（厚生労働省：平成 29 年 3 月 31 日）
〇幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）
（幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方検討委員会：平成 22 年 11 月 22 日）
〇スタートカリキュラムスタートブック
（文部科学省・国立教育政策研究所：平成 27 年 1 月）
〇幼小接続期の育ち・学びと幼児教育の質に関する研究＜報告書＞
（国立教育政策研究所：平成 29 年 3 月）
〇幼児教育の成果を小学校教育へ
～幼稚園・保育所・こども園・小学校の連携推進に向けて～
（栃木県幼児教育センター：平成 28 年 3 月）
〇草加市幼保小接続期プログラム　～心豊かに充実した小学校生活に向けて～
（草加市教育委員会：平成 27 年 2 月）
〇滋賀県「学びの基礎指導の手引き」
（滋賀県教育委員会：平成 27 年 4 月）

参考資料１

平成 29 年 3 月 31 日告示のうち、本書にかかわる幼保小連携・接続に関する部分を中心に抜粋

※下線部：主な改訂（定）箇所

【幼稚園教育要領】

第１章　総則
　第３　教育課程の役割と編成等
　　５　小学校教育との接続に当たっての留意事項
　　(1) 幼稚園においては，幼稚園教育が，小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し，幼児期にふさわしい生活を通して，創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。
　　(2) 幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう，小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け，「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り，幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

【幼保連携型認定こども園教育・保育要領】

第１章　総則
　第２　教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等
　　１　教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画の作成等
　　（５）小学校教育との接続にあたっての留意事項
　　ア　幼保連携型認定こども園においては、その教育及び保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。
　　イ　幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼保連携型認定こども園における教育及び保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

【保育所保育指針】

第２章　保育の内容
　４　保育の実施に関して留意すべき事項
（２）小学校との連携
ア　保育所においては、保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。
イ　保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、第１章の４（２）に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めること。
ウ　子どもに関する情報共有に関して、保育所に入所している子どもの就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにすること。

【小学校学習指導要領】　　※下線部：主な改訂箇所

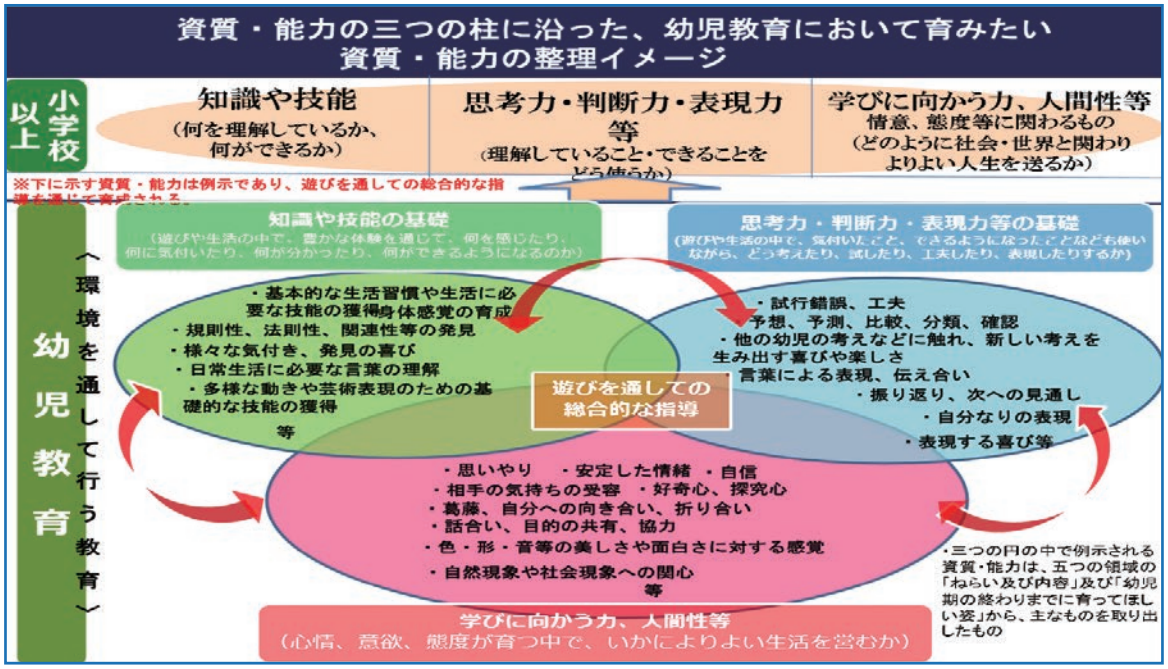
第１章　総則
　第２　教育課程の編成
　　４　学校段階等間の接続
　　教育課程の編成に当たっては，次の事項に配慮しながら，学校段階等間の接続を図るものとする。
　　(1)　幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより，幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し，児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。
　　また，低学年における教育全体において，例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が，他教科等の学習においても生かされるようにするなど，教科等間の関連を積極的に図り，幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に，小学校入学当初においては，幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが，各教科等における学習に円滑に接続されるよう，生活科を中心に，合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など，指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

第２章　各教科
　第５節　生活
　第３　指導計画の作成と内容の取扱い
　　１　指導計画の作成に当たっては，次の事項に配慮するものとする。
　　(4)　他教科等との関連を積極的に図り，指導の効果を高め，低学年における教育全体の充実を図り，中学年以降の教育へ円滑に接続できるようにするとともに，幼稚園教育要領等に示す幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮すること。特に，小学校入学当初においては，幼児期における遊びを通した総合的な学びから他教科等における学習に円滑に移行し，主体的に自己を発揮しながら，より自覚的な学びに向かうことが可能となるようにすること。その際，生活科を中心とした合科的・関連的な指導や，弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をすること。

※国語、算数、音楽、図画工作、体育、特別活動においても、上記と同様の記載がされている。

参考資料２

資質・能力の三つの柱に沿った、幼児教育において育みたい資質・能力の整理イメージ



中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会幼児教育部会

参考資料３

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

第１章総則
第２

幼稚園教育において育みたい資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化

第１章　総則
　第２　幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
　　１　幼稚園においては，生きる力の基礎を育むため，この章の第１に示す幼稚園教育の基本を踏まえ，次に掲げる資質・能力を一体的に育むよう努めるものとする。
　　(1) 豊かな体験を通じて，感じたり，気付いたり，分かったり，できるようになったりする「知識及び技能の基礎」
　　(2) 気付いたことや，できるようになったことなどを使い，考えたり，試したり，工夫したり，表現したりする「思考力，判断力，表現力等の基礎」
　　(3) 心情，意欲，態度が育つ中で，よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力，人間性等」
　　２　１に示す資質・能力は，第２章に示すねらい及び内容に基づく活動全体によって育むものである。

・幼稚園においては、幼稚園生活全体を通して、幼児の生きる力の基礎を育むことが重要。
・幼稚園教育の基本を踏まえ、幼稚園教育において育みたい資質・能力を育てることが大切。
・幼稚園教育において育みたい資質・能力は「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の３つ。
・資質・能力は個別に取り出して指導するものではなく、第2章に示すねらい及び内容に基づき、各幼稚園が幼児の発達の実情や幼児の興味や関心等を踏まえながら展開する活動全体によって一体的に育むもの。
・各幼稚園においては、実践における幼児の具体的な姿から改めて捉え、教育課程の編成等を図ること。

1

第１章総則
第２

幼稚園教育において育みたい資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化

第１章　総則
　第２　幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」
　　３　次に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は，第２章に示すねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿であり，教師が指導を行う際に考慮するものである

・**「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は**、第２章に示すねらい及び内容に基づいて、各幼稚園で，幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、幼稚園教育に育みたい資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿であり、特に５歳児後半に見られるようになる姿。
・遊びの中で幼児が発達していく姿をこれらの姿を念頭に置いて捉え、一人一人の発達に必要な体験が得られるような状況をつくったり必要な援助を行ったりするなど、**指導を行う際に考慮。**
・これらの姿が到達すべき目標ではないことや、個別に取り出されて指導されるものではないことに十分留意。
・幼児の自発的な活動としての遊びを通して、一人一人の発達の特性に応じて、これらの姿が育っていくものであり，全ての幼児に同じように見られるものではないことに留意。
・これらの姿は５歳児に突然見られるようになるものではないため，５歳児だけでなく、３歳児、４歳児の時期から，幼児が発達していく方向を意識して，それぞれの時期にふさわしい指導を積み重ねていくことに留意。
・これらの姿は幼稚園の教師が適切に関わることで，特に幼稚園生活の中で見られるようになる幼児の姿であることに留意。

2

平成２９年度鳥取県幼稚園教育課程等研究協議会文部科学省調査官資料

幼稚園教育要領
第１章　総則
第２　幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
３　次に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は，第２章に示すねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の幼稚園終了時の具体的な姿であり，教師が指導をする際に考慮するものである。

(1)　健康な心と体

幼稚園生活の中で，充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ，見通しをもって行動し，自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

(2)　自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で，しなければならないことを自覚し，自分の力で行うために考えたり，工夫したりしながら，諦めずにやり遂げることで達成感を味わい，自信をもって行動するようになる。

(3)　協同性

友達と関わる中で，互いの思いや考えなどを共有し，共通の目的の実現に向けて，考えたり，工夫したり，協力したりし，充実感をもってやり遂げるようになる。

(4)　道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で，してよいことや悪いことが分かり，自分の行動を振り返ったり，友達の気持ちに共感したりし，相手の立場に立って行動するようになる。また，きまりを守る必要性が分かり，自分の気持ちを調整し，友達と折り合いを付けながら，きまりをつくったり，守ったりするようになる。

(5)　社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに，地域の身近な人と触れ合う中で，人との様々な関わり方に気付き，相手の気持ちを考えて関わり，自分が役に立つ喜びを感じ，地域に親しみをもつようになる。また，幼稚園内外の様々な環境に関わる中で，遊びや生活に必要な情報を取り入れ，情報に基づき判断したり，情報を伝え合ったり，活用したりするなど，情報を役立てながら活動するようになるとともに，公共の施設を大切に利用するなどして，社会とのつながりなどを意識するようになる。

(6)　思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で，物の性質や仕組みなどを感じ取ったり，気付いたりし，考えたり，予想したり，工夫したりするなど，多様な関わりを楽しむようになる。また，友達の様々な考えに触れる中で，自分と異なる考えがあることに気付き，自ら判断したり，考え直したりするなど，新しい考えを生み出す喜びを味わいながら，自分の考えをよりよいものにするようになる。

(7)　自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して，自然の変化などを感じ取り，好奇心や探究心をもって考え，言葉などで表現しながら，身近な事象への関心が高まるとともに，自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また，身近な動植物に心を動かされる中で，生命の不思議さや尊さに気付き，身近な動植物への接し方を考え，命あるものとしていたわり，大切にする気持ちをもって関わるようになる。

(8)　数量や図形，標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で，数量や図形，標識や文字などに親しむ体験を重ねたり，標識や文字の役割に気付いたりし，自らの必要感に基づきこれらを活用し，興味や関心，感覚をもつようになる。

(9)　言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で，絵本や物語などに親しみながら，豊かな言葉や表現を身に付け，経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり，相手の話を注意して聞いたりし，言葉による伝え合いを楽しむようになる。

(10)　豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で，様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き，感じたことや考えたことを自分で表現したり，友達同士で表現する過程を楽しんだりし，表現する喜びを味わい，意欲をもつようになる。

【作成協力者】

（鳥取県幼児期の教育内容等深化・充実調査研究実行委員会委員）

氏　　名	職　名　等
肥後　功一	島根大学大学院 教育学研究科　教授 ＊鳥取県幼保小連携推進モデル事業アドバイザー ＊鳥取県幼児期の教育内容等深化・充実調査研究実行委員会委員長
中村　礼子	鳥取市教育委員会事務局学校教育課　主幹兼指導主事
福田早由里	倉吉市教育委員会事務局学校教育課　指導主事
砂流　誠吾	日野町教育委員会事務局教育課　課長兼指導主事
岡崎　浩一	若桜町教育委員会事務局　参事兼指導主事
西川美佐絵	鳥取市福祉保健部子ども家庭課　係長
柴田　年美	日野町立根雨小学校　教諭
泉　　孝子	倉吉市立西郷保育園　園長
矢部　紀子	若桜町立わかさこども園　園長
日野　彰則	認定こども園倉吉幼稚園　副園長

【事務局】

鳥取県教育委員会事務局
　　鳥取県幼児教育センター（小中学校課、東部教育局、中部教育局、西部教育局）
　　体育保健課
鳥取県福祉保健部子育て王国推進局子育て応援課

「鳥取県幼保小連携推進モデル事業」実施市町村

事業実施市町村 教育委員会	事業実施小学校・園
倉吉市	倉吉市全小学校区・全園 倉吉市立西郷小学校　：倉吉市立西郷保育園・ババール園・キンダーガーデン 倉吉東こども園 倉吉市立河北小学校　：倉吉市立上井保育園・ひかり保育園・あゆみ保育園 認定こども園鳥取短期大学附属こども園 倉吉市立明倫小学校　：倉吉市立倉吉西保育園・ひまわり保育園 認定こども園聖テレジアこども園 倉吉市立成徳小学校　：倉吉愛児園・めぐみ保育園・認定こども園倉吉幼稚園 倉吉市立上灘小学校　：どんぐり保育園・うつぶき保育園 倉吉市立小鴨小学校　：倉吉市立小鴨保育園・西倉吉保育園 倉吉市立上小鴨小学校：倉吉市立上小鴨保育園 倉吉市立北谷小学校　：倉吉市立北谷保育園 倉吉市立高城小学校　：倉吉市立高城保育園 倉吉市立社小学校　　：倉吉市立社保育園・向山保育園・みのり保育園 倉吉市立灘手小学校　：倉吉市立灘手保育園 倉吉市立上北条小学校：上北条保育園 倉吉市立関金小学校　：倉吉市立関金保育園
日野町	日野町全小学校区 ・日野町立根雨小学校　　・日野町立黒坂小学校 ・日野町立ひのっこ保育所
鳥取市	鳥取市立醇風小学校区 ・鳥取市立醇風小学校　　・鳥取市立みたから保育園 ・むつみ保育園　　・鳥取第二幼稚園・おひさま保育園
若桜町	若桜町全小学校区 ・若桜町立若桜学園小学校　・若桜町立わかさこども園
境港市	・境港市立中浜小学校　　・境港市立なかはま保育園

情報提供いただいた
幼稚園・保育所・認定こども園・地域型保育事業所・小学校等

表　紙：北栄町立北条小学校・北栄町立北条こども園
日野町立根雨小学校・日野町立黒坂小学校・日野町立ひのっこ保育所
鳥取市立醇風小学校・鳥取市立みたから保育園・むつみ保育園・
鳥取第二幼稚園・おひさま保育園
倉吉市立関金小学校・倉吉市立関金保育園
倉吉市立灘手小学校・倉吉市立灘手保育園
倉吉市立北谷小学校、倉吉市立北谷保育園
倉吉市立上小鴨小学校・倉吉市立上小鴨保育園
若桜町立若桜学園小学校・若桜町立わかさこども園
境港市立中浜小学校
第Ⅰ章：鳥取市立鹿野幼児センター　こじか園
鳥取市立福部未来学園小学校
第Ⅱ章：日南町保小合同研修会
（日南町教育委員会、日南町立日南小学校、日南町立にちなん保育園）
日野町立根雨小学校・日野町立黒坂小学校・日野町立ひのっこ保育所
江府町立江府小学校・江府町立子供の国保育園
米子市認定こども園あけぼの幼稚園・米子市立義方小学校
倉吉市上北条保育園・倉吉市立上北条小学校
伯耆町立岸本中学校・伯耆町立岸本小学校・伯耆町立八郷小学校
伯耆町立あさひ保育所・伯耆町立こしき保育所・伯耆町立ふたば保育所
米子市五千石保育園・東みずほ幼稚園・米子市立五千石小学校
鳥取市鳥取第三幼稚園・鳥取市立千代保育園・浜坂保育園・鳥取あすなろ保育園
日吉津村立日吉津保育所・日吉津村パジャちゅうりっぷ保育園・日吉津ベアーズ
米子市かもめ幼稚園・米子市立弓ヶ浜小学校
大山町立中山小学校・大山町立中山みどりの森保育園
湯梨浜町カリキュラム作成委員会
鳥取市立浜村保育園・鳥取市立浜村小学校
第Ⅲ章：鳥取県幼保小連携推進モデル事業実施市町村（Ｐ６０に記載）
第Ⅳ章：境港市聖心幼稚園
鳥取市鳥取第五幼稚園
米子市認定こども園あけぼの幼稚園・米子市立義方小学校
米子市にしき幼稚園・米子市河崎保育園
南部町立南部中学校・南部町立ひまわり保育園
米子市かもめ幼稚園・米子市立弓ヶ浜小学校
伯耆町立溝口保育所・伯耆町立溝口小学校
鳥取市立福部未来学園幼稚園・中学校
八頭町立郡家西小学校・八頭町立国中保育所
智頭町立智頭小学校・智頭町立ちづ保育園
岩美町立岩美南小学校・岩美町立みなみ保育所
三朝町賀茂保育園・三朝町立西小学校
琴浦町立東伯中学校・琴浦町みどり保育園
大山町立大山保育所・大山町立大山小学校